

平成 30 年度
「まちづくりのための市民アンケート調査」
報告書

平成 3 0 年 9 月

座間市企画財政部企画政策課

目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査仕様	1
	(3) 回収結果	1
	(4) 調査票の概要	1
2	回答件数属性別集計	4
	(1) 性別	4
	(2) 年齢別	4
	(3) 居住年数別	4
	(4) 居住地域別	5
3	調査結果の概要	6
	(1) 各施策の関心度について	6
	(2) 施策の重要性について	9
4	施策ごとの結果	11
	政策1 笑顔あふれる 健やかなまち	12
	1. 健康づくり	12
	2. 保健衛生	14
	3. スポーツ・レクリエーション	16
	4. 医療体制	18
	5. 国民健康保険	20
	6. 介護保険	22
	政策2 支え合い 思いやりに満ちた やすらぎのまち	24
	7. 地域・高齢者福祉	24
	8. 障がい者福祉	26
	9. 保育対策	28
	10. 子ども・子育て	30
	11. 生活困窮対策	32
	政策3 共に考え 共に歩む 安心のまち	34
	12. 市政広報	34
	13. 市民生活・広聴	36
	14. 男女共同参画	38
	15. 人権・平和	40
	16. NPO・ボランティア活動	42
	17. コミュニティ活動	44
	18. 市民参画	46
	19. 国内外交流	48
	20. 窓口サービス	50
	21. 交通安全	52
	22. 防犯	54

23. 危機管理・減災	56
24. 消防	58
政策4 のびやかに 豊かな心 はぐくむまち	60
25. 教育環境	60
26. 学校保健	62
27. 教育活動	64
28. 生涯学習	66
29. 市民文化	68
30. 青少年育成	70
政策5 暮らし快適 魅力あるまち	72
31. 公共交通	72
32. まちづくり	74
33. 景観形成	76
34. 公園・広場・緑地	78
35. 道路	80
36. 住宅環境	82
37. 基地対策	84
政策6 きよらかな水 大切に守るまち	86
38. 上水道	86
39. 下水道	88
政策7 地球にやさしい 活力あるまち	90
40. 環境保全	90
41. 湧水・地下水保全	94
42. 資源循環社会	96
43. 農業	98
44. 商・工業	100
45. 観光	102
政策8 未来志向 柔軟な発想 確かな行政経営	104
46. 戦略経営	104
46の2. シティプロモーション	106
47. 財政運営	108
48. 賦課・徴収	110
政策9 市民起点 的確な判断と行動 信頼される行政運営	112
49. 職員育成	112
50. 法務・情報公開	114
51. 電子自治体	116
52. 財務・財産管理	118
5 アンケート調査票	121

1 調査の概要

(1) 調査の目的

市では、目指すまちの姿を「ともに織りなす 活力と個性 きらめくまち」として、平成23年度から10年間の計画期間とした「第四次座間市総合計画」を策定しました。

この計画の実現に向け、現在、行政評価システムを活用した効率的で有効性の高い行政運営に努めており、今後も、市民と行政が「協働」のもとに取り組むことがますます重要になると考えています。

本アンケート調査は、市民の生活者としての視点から、市の取組に対する成果について調査するものであり、行政評価システム（外部評価）の一環として行うものです。

(2) 調査仕様

- ① 調査地域 座間市全域
- ② 調査対象 座間市内在住の満15歳以上の男女個人
- ③ 対象者数 4,000人
- ④ 抽出方法 住民登録から無作為抽出
- ⑤ 調査方法 郵送配付、郵送回収
- ⑥ 調査期間 平成30年4月27日～5月31日
- ⑦ 調査基準日（住民基本台帳抽出日） 平成30年3月20日

(3) 回収結果

- ① 標本数 4,000件
- ② 回収数 1,444票（回収率 36.1%）
- ③ 有効回収数 1,444票（有効回収率 36.1%）

(4) 調査票の概要

調査票の設問は、「第四次座間市総合計画」と「戦略プロジェクト」について、①各施策への関心度、②各施策を実現するための主体、③施策の重要性、④まちづくり指標の達成度、⑤属性、として構成しています（詳しくは巻末記載のアンケート調査票を御覧ください）。

なお、施策とは総合計画において体系化している市政推進分野です。

① 施策への関心度

各施策について、「あなたは『○○○』の施策について関心がありますか？」という設問で、市民の関心の分布を調査しています。

② 各施策を実現するための主体

各施策について、「『〇〇〇』の実現において、もっとも重要な役割を果たすべきとあなたが考えるものを選んでください。」という設問で、回答選択肢を「市、国・県、企業・NPO等、市民、関係団体」とし、施策の実現において重要となる主体をどのように考えているのかを調査しています。

③ 施策の重要性

53の施策について充実してほしい施策を5つまで選んでいただき、施策の重要性を調査しています。

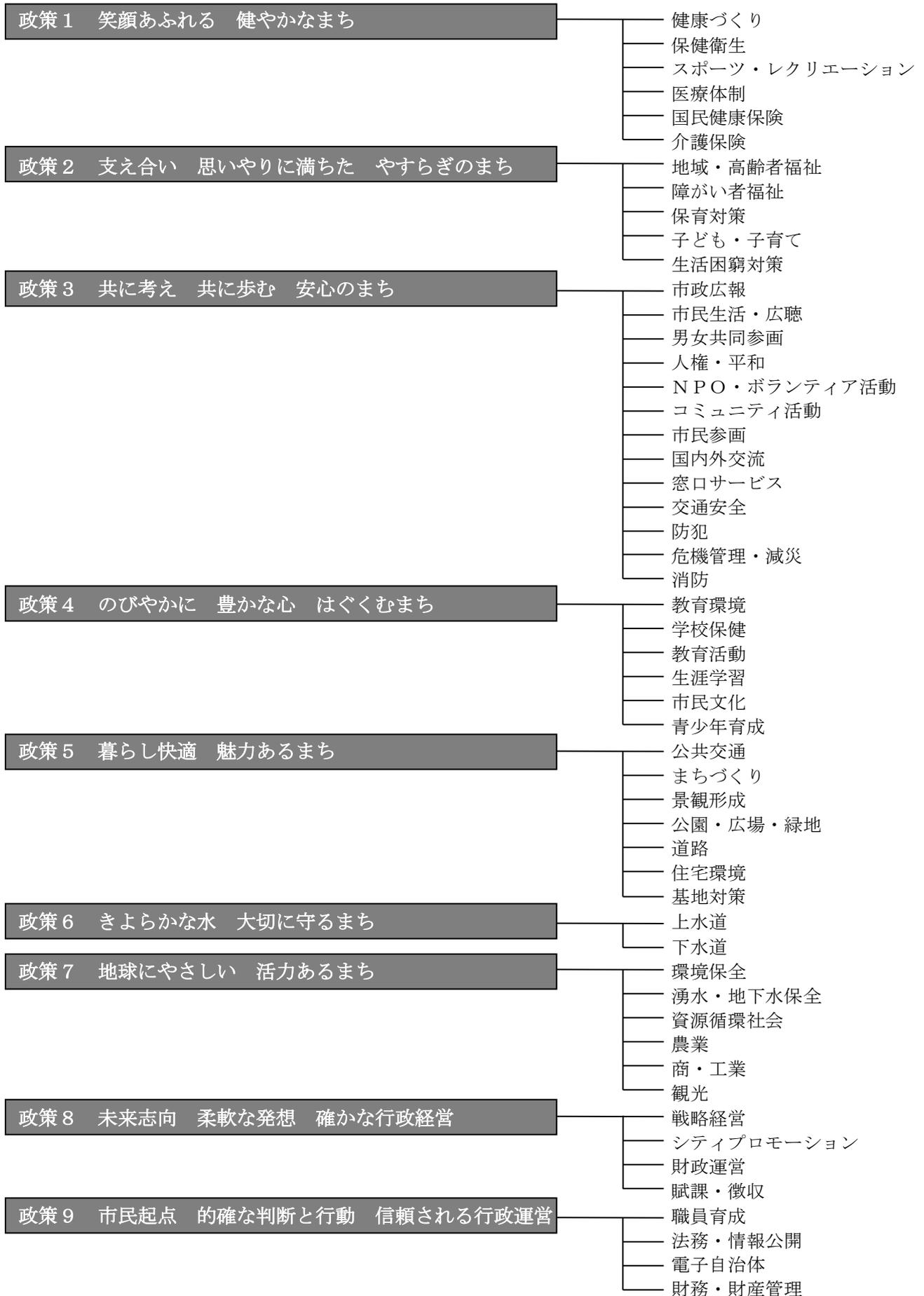
④ まちづくり指標の達成度など

まちづくり指標とは、「第四次座間市総合計画」において、それぞれの施策で達成したい「目指す姿」を、成果がわかるような数値目標として表したものです。本調査ではそのうち、市の行政活動への評価などのアンケート調査による指標について設問しています。

⑤ 属性

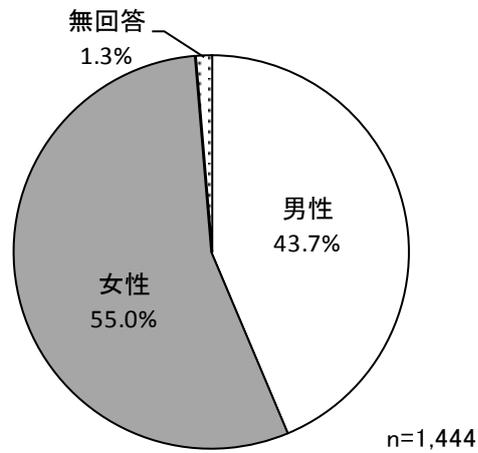
性別、年齢、居住期間、地区の4項目について設問をしています。

座間市の総合計画施策体系図

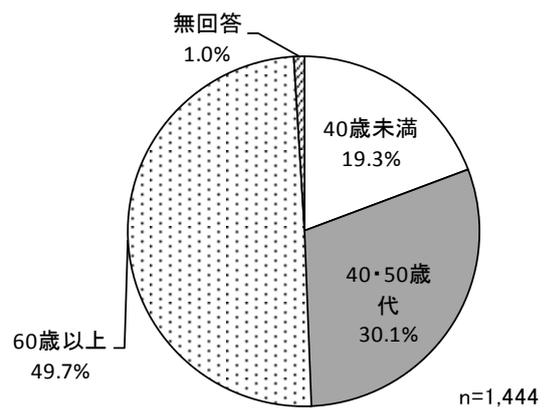
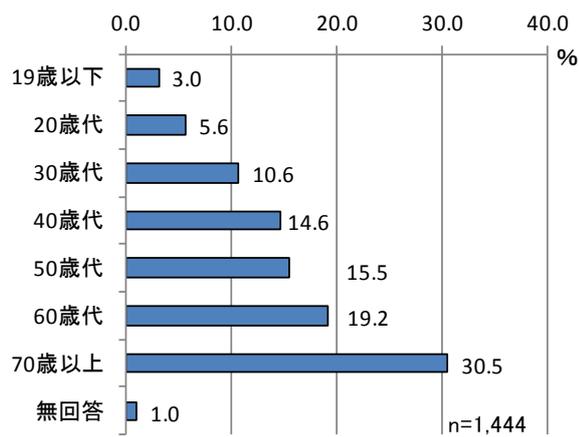


2 回答件数属性別集計

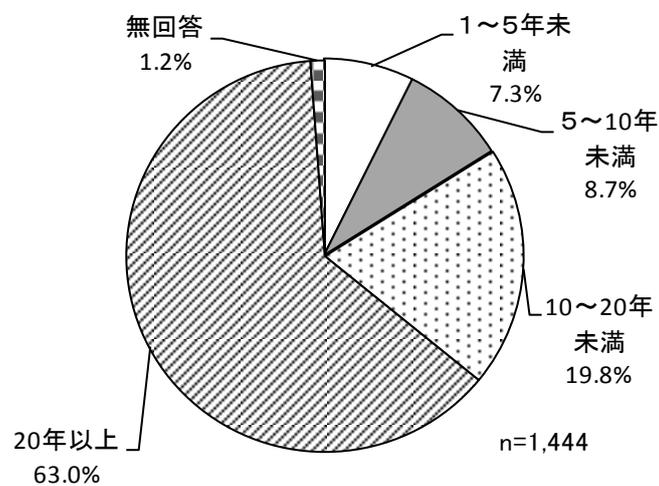
(1) 性別



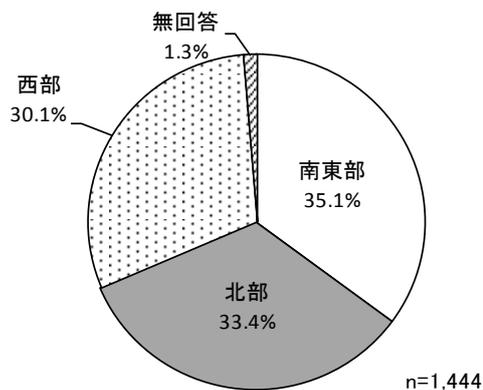
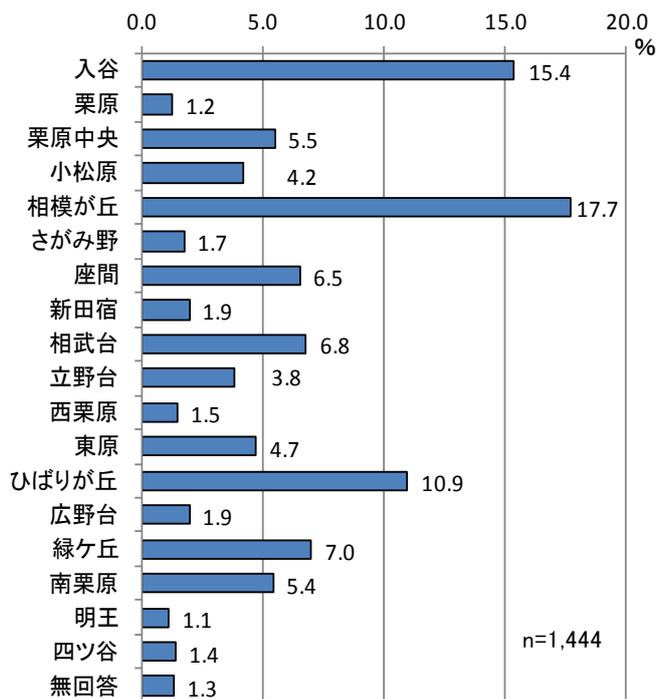
(2) 年齢別



(3) 居住年数別



(4) 居住地域別



注) 地域区分 南東部：栗原、栗原中央、小松原、さがみ野、西栗原、東原、ひばりが丘、南栗原
 北 部：相模が丘、相武台、広野台、緑ヶ丘
 西 部：入谷、座間、新田宿、立野台、明王、四ツ谷

3 調査結果の概要

(1) 各施策の関心度について

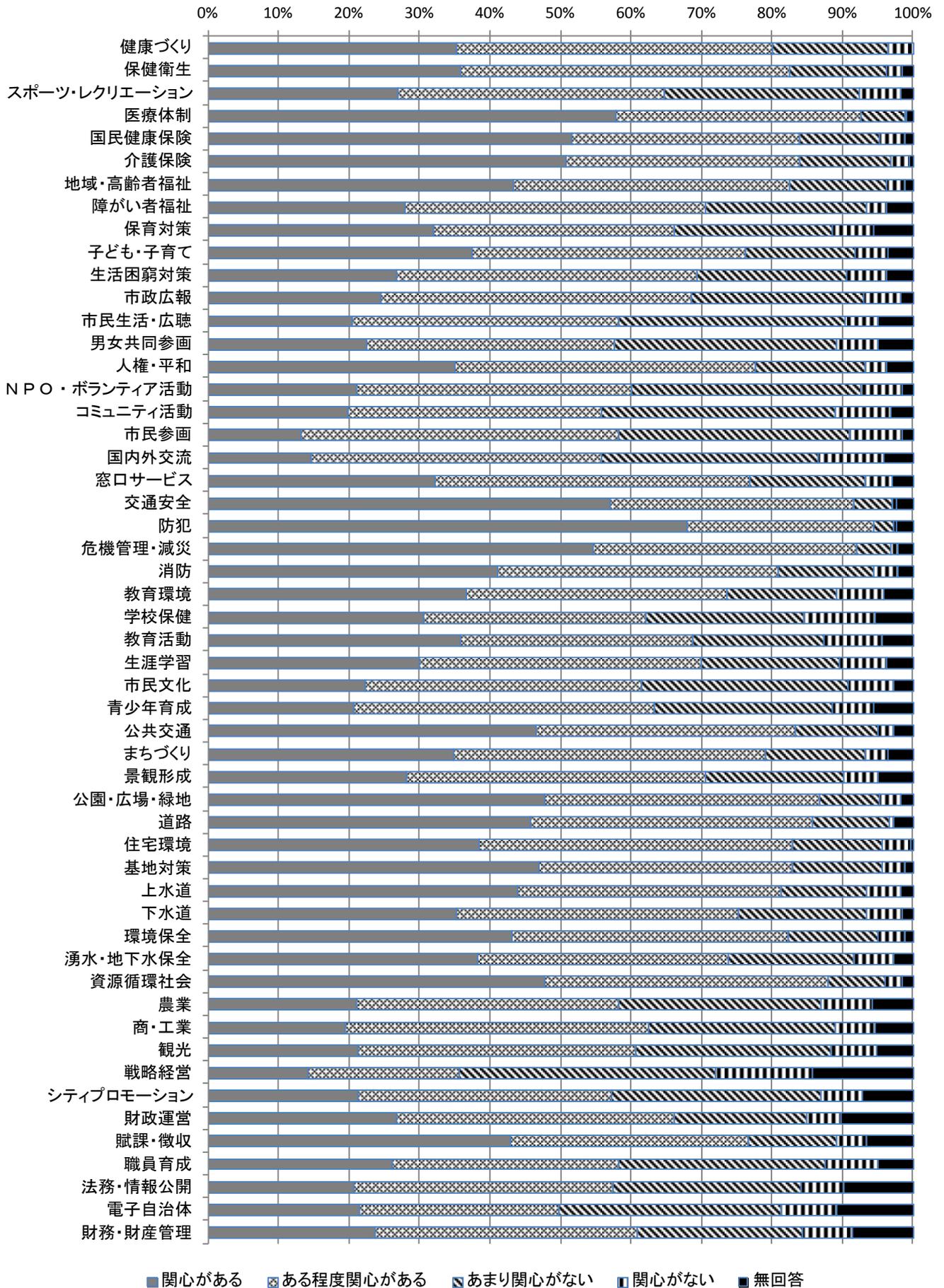
① 関心度の順位 ※関心度は「関心がある」「ある程度関心がある」の回答割合を合計したもの

順位	施策名称	関心度	関心がある (%)	ある程度 関心がある (%)	あまり 関心がない (%)	関心がない (%)	無回答 (%)
1	防犯	94.3	67.9	26.4	3.0	0.3	2.4
2	医療体制	92.6	57.9	34.7	6.2	0.3	0.9
3	危機管理・減災	91.9	54.7	37.2	4.8	1.2	2.1
4	交通安全	91.6	57.1	34.5	5.4	0.6	2.4
5	資源循環社会	88.0	47.8	40.2	7.9	2.6	1.5
6	公園・広場・緑地	86.7	47.7	39.0	8.4	3.0	1.8
7	道路	85.7	45.8	39.9	10.8	0.6	2.9
8	国民健康保険	83.9	51.6	32.3	11.3	3.6	1.2
8	介護保険	83.9	50.7	33.2	12.8	2.7	0.6
10	公共交通	83.1	46.5	36.6	11.7	2.4	2.7
11	住宅環境	82.8	38.5	44.3	12.8	4.1	0.3
11	基地対策	82.8	46.9	35.9	12.8	3.2	1.2
13	保健衛生	82.5	35.9	46.6	13.6	2.4	1.5
13	地域・高齢者福祉	82.5	43.3	39.2	13.6	2.7	1.2
15	環境保全	82.2	43.1	39.1	12.8	3.8	1.2
16	上水道	81.3	44.0	37.3	12.0	5.0	1.7
17	消防	80.7	41.1	39.6	13.5	3.6	2.1
18	健康づくり	80.1	35.3	44.8	16.3	3.6	0.0
19	まちづくり	78.9	34.8	44.1	14.1	3.3	3.6
20	人権・平和	77.7	35.0	42.7	15.4	3.0	3.9
21	窓口サービス	76.8	32.1	44.7	16.2	3.9	3.0
22	賦課・徴収	76.7	42.9	33.8	12.5	4.1	6.7
23	子ども・子育て	76.3	37.4	38.9	15.4	4.7	3.6
24	下水道	75.2	35.3	39.9	18.1	5.2	1.5
25	湧水・地下水保全	73.8	38.2	35.6	17.8	5.5	2.9
26	教育環境	73.5	36.6	36.9	15.6	6.6	4.2
27	障がい者福祉	70.6	27.9	42.7	22.8	2.7	3.9
28	景観形成	70.5	28.2	42.3	19.5	4.8	5.1
29	生涯学習	69.9	30.0	39.9	19.5	6.6	3.9
30	生活困窮対策	69.4	26.7	42.7	21.1	5.6	3.9
31	教育活動	68.7	35.7	33.0	18.6	8.1	4.5
32	市政広報	68.5	24.6	43.9	24.3	5.3	1.8
33	財政運営	66.2	26.8	39.4	18.7	5.0	10.2
34	保育対策	66.1	32.0	34.1	22.3	5.9	5.6
35	スポーツ・レクリエーション	64.7	27.0	37.7	27.6	5.9	1.8
36	青少年育成	63.3	20.7	42.6	25.2	5.7	5.7
37	商・工業	62.4	19.5	42.9	26.5	5.5	5.5
38	学校保健	62.1	30.6	31.5	22.2	10.2	5.4
39	市民文化	61.5	22.2	39.3	29.1	6.6	2.7
40	財務・財産管理	60.9	23.6	37.3	23.3	7.0	8.7
41	観光	60.7	21.3	39.4	27.7	6.4	5.2
42	NPO・ボランティア活動	60.0	21.1	38.9	32.6	5.9	1.5
43	農業	58.3	21.0	37.3	28.6	7.3	5.8
43	職員育成	58.3	26.2	32.1	29.2	7.6	5.0
45	市民生活・広聴	58.2	20.5	37.7	32.0	4.7	5.0
45	市民参画	58.2	13.2	45.0	32.7	7.5	1.5
47	男女共同参画	57.6	22.6	35.0	31.5	5.9	5.0
48	法務・情報公開	57.4	20.7	36.7	26.5	6.1	9.9
49	シティプロモーション	57.2	21.3	35.9	29.7	5.8	7.3
50	コミュニティ活動	55.8	19.9	35.9	33.2	7.7	3.3
50	国内外交流	55.8	14.7	41.1	30.6	9.3	4.2
52	電子自治体	49.9	21.6	28.3	31.5	7.9	10.8
53	戦略経営	35.6	14.3	21.3	36.4	13.7	14.3

② 属性別の関心度上位

	属性別	1位	2位	3位
性別	男性	防犯	交通安全	医療体制
	女性	防犯 危機管理・減災	-	医療体制
年齢	40歳未満	防犯	危機管理・減災 公園・広場・緑地	-
	40・50歳代	医療体制	防犯	資源循環社会
	60歳以上	医療体制	国民健康保険	防犯
居住地	南東部 (栗原、栗原中央、小松原、さがみ野、西栗原、東原、ひばりが丘、南栗原)	医療体制	防犯	危機管理・減災
	北部 (相模が丘、相武台、広野台、緑ヶ丘)	防犯	交通安全	危機管理・減災
	西部 (入谷、座間、新田宿、立野台、明王、四ツ谷)	防犯 危機管理・減災	-	公園・広場・緑地

③ 関心度の結果一覧



(2) 施策の重要性について

① 全体の順位

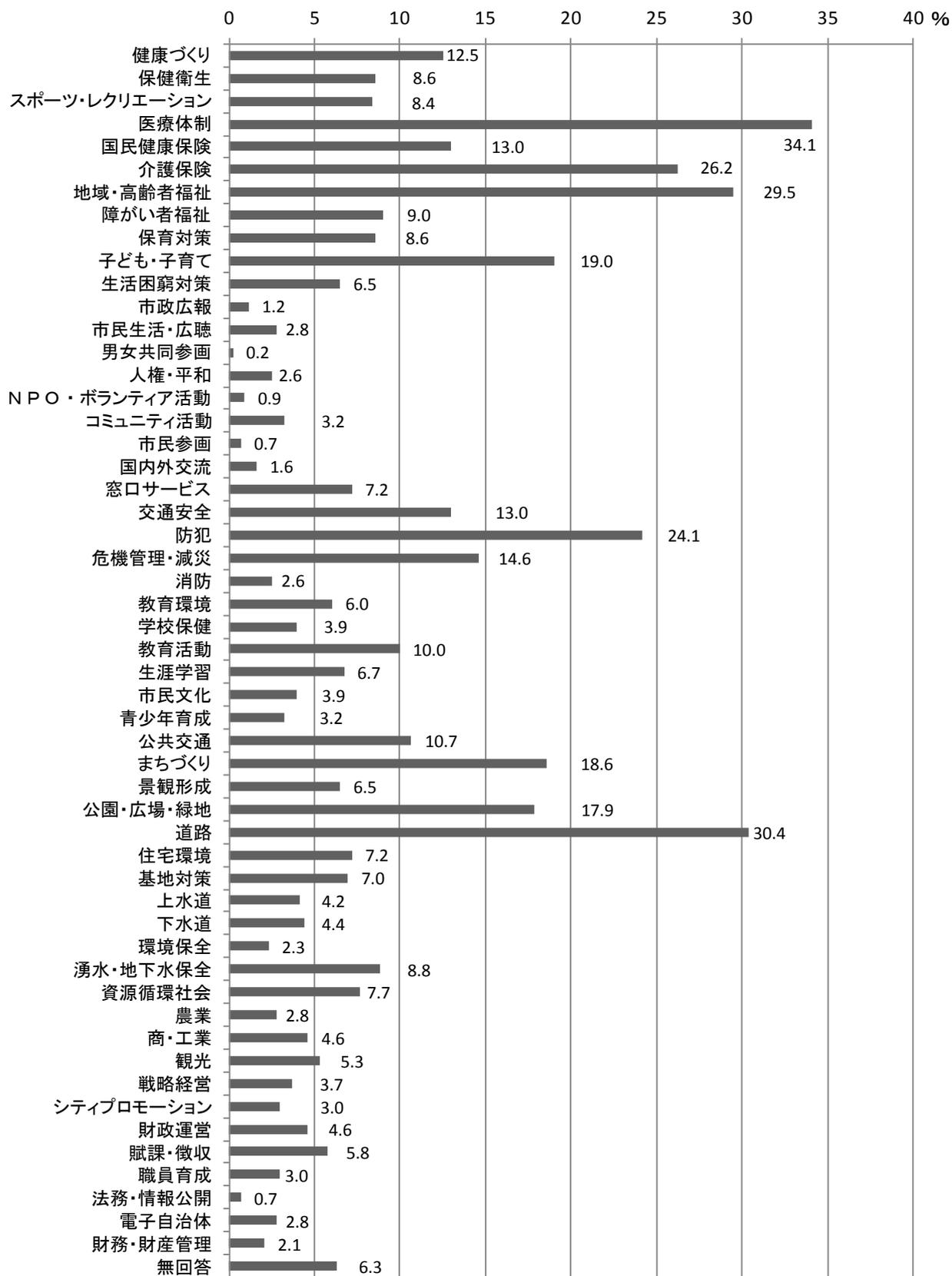
順位	施策名称	(%)
1	医療体制	34.1
2	道路	30.4
3	地域・高齢者福祉	29.5
4	介護保険	26.2
5	防犯	24.1
6	子ども・子育て	19.0
7	まちづくり	18.6
8	公園・広場・緑地	17.9
9	危機管理・減災	14.6
10	交通安全	13.0
10	国民健康保険	13.0
12	健康づくり	12.5
13	公共交通	10.7
14	教育活動	10.0
15	障がい者福祉	9.0
16	湧水・地下水保全	8.8
17	保育対策	8.6
17	保健衛生	8.6
19	スポーツ・レクリエーション	8.4
20	資源循環社会	7.7
21	住宅環境	7.2
21	窓口サービス	7.2
23	基地対策	7.0
24	生涯学習	6.7
25	景観形成	6.5
25	生活困窮対策	6.5
27	教育環境	6.0

順位	施策名称	(%)
28	賦課・徴収	5.8
29	観光	5.3
30	財政運営	4.6
30	商・工業	4.6
32	下水道	4.4
33	上水道	4.2
34	市民文化	3.9
34	学校保健	3.9
36	戦略経営	3.7
37	青少年育成	3.2
37	コミュニティ活動	3.2
39	シティプロモーション	3.0
39	職員育成	3.0
41	電子自治体	2.8
41	農業	2.8
41	市民生活・広聴	2.8
44	消防	2.6
44	人権・平和	2.6
46	環境保全	2.3
47	財務・財産管理	2.1
48	国内外交流	1.6
49	市政広報	1.2
50	NPO・ボランティア活動	0.9
51	法務・情報公開	0.7
51	市民参画	0.7
53	男女共同参画	0.2

② 属性別の重要性上位

	属性別	1位	2位	3位
性別	男性	医療体制	危機管理・減災	道路
	女性	医療体制	防犯	地域・高齢者福祉
年齢	40歳未満	子ども・子育て	医療体制	保育対策
	40・50歳代	医療体制	道路	防犯
	60歳以上	地域・高齢者福祉	医療体制	介護保険
居住地域	南東部 (栗原、栗原中央、小松原、さがみ野、西栗原、東原、ひばりが丘、南栗原)	子ども・子育て	道路	医療体制
	北部 (相模が丘、相武台、広野台、緑ヶ丘)	医療体制	道路	地域・高齢者福祉
	西部 (入谷、座間、新田宿、立野台、明王、四ツ谷)	医療体制	危機管理・減災	子ども・子育て

③ 施策の重要性についての結果一覧



4 施策ごとの結果

政策 1 笑顔あふれる 健やかなまち

1. 健康づくり

◆ 目指す姿 ◆

市民一人ひとりが、運動習慣を持ち、健全な食生活を実践するなど、健康に関する取組を実践し健やかな生活を営んでいます。

◆ 施策の方向 ◆

- 健康づくり事業の啓発
- 母子保健の充実
- 生活習慣病予防対策
- 市民健康センターの運営
- 関係団体の育成

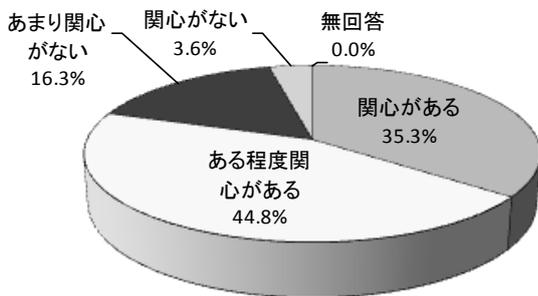
アンケート結果の概要

- ・年齢が高いほど関心度が高く、60歳以上では4割強が関心があるとしています。
- ・施策の実現に最も重要とされる主体は、市と市民がそれぞれ3割台となっています。
- ・運動習慣がない人が半数近くに達しています。

関心度

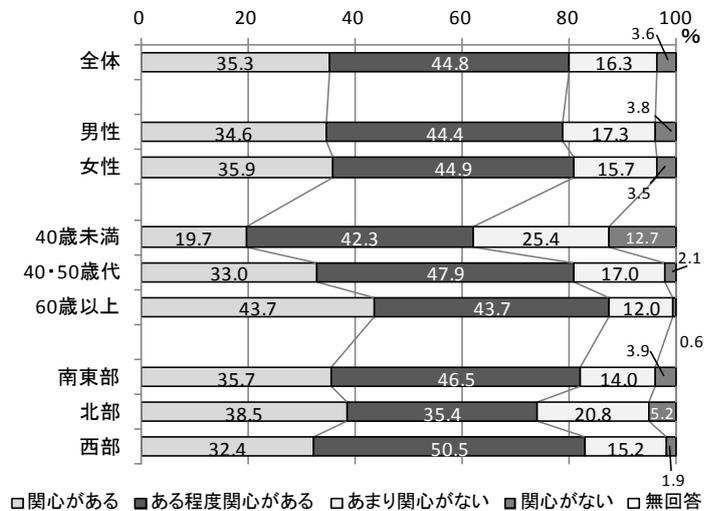
◇ 「健康づくり」への関心の有無

< 全体 >



「健康づくり」53施策中 18位 (80.1%)

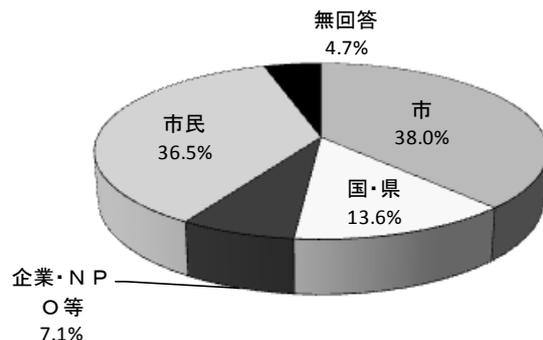
< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「健康づくり」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

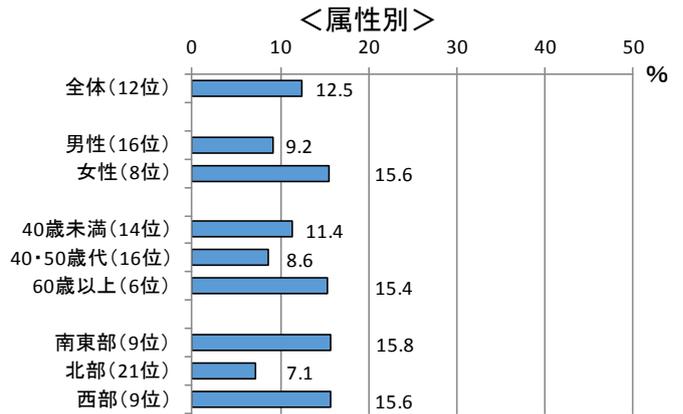


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「健康づくり」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

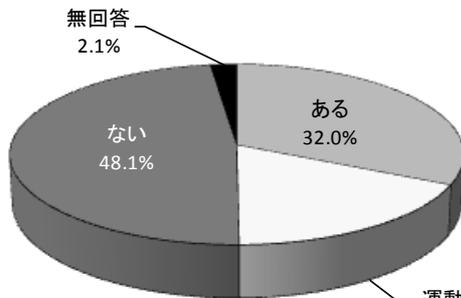
「健康づくり」53 施策中 12 位 (12.5%)



まちづくり指標の達成度

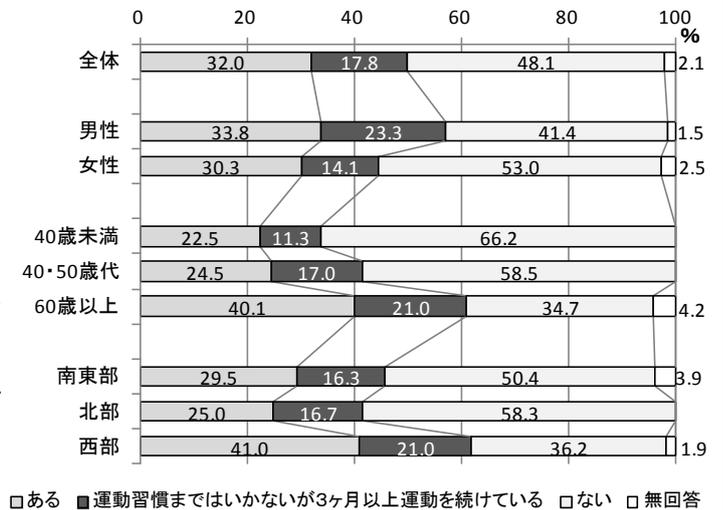
◇運動習慣（1回 30 分、週 2 回、1 年以上運動を継続している）を持つ市民の割合

<全 体>



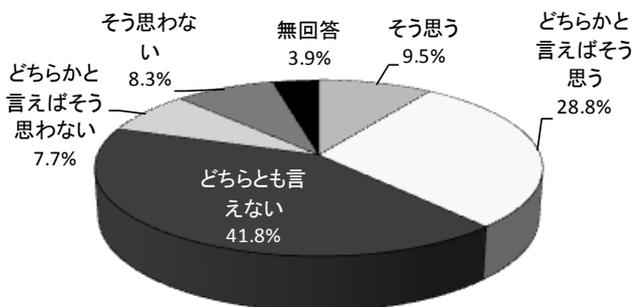
運動習慣ま
ではいかな
いが3ヶ月
以上運動を
続けている
17.8%

<属性別>

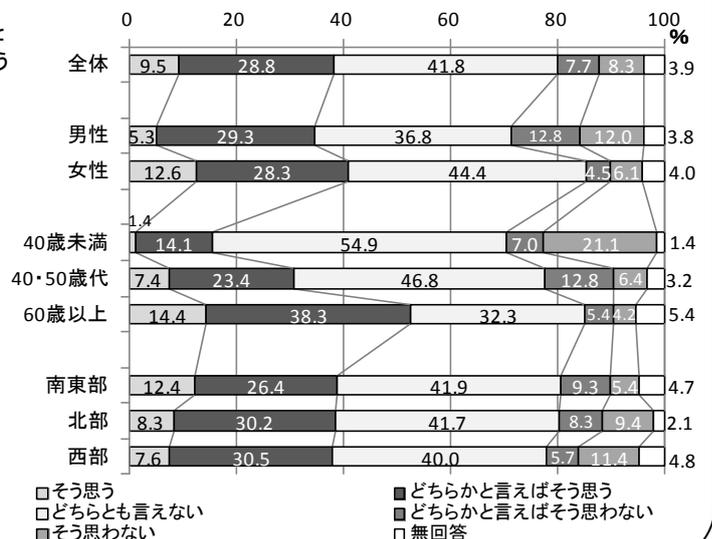


◇健康づくりのイベントや健康教育の実施などにより、運動習慣を持つ人が多くなってきていると
思う市民の割合

<全 体>



<属性別>



2. 保健衛生

◆ 目指す姿 ◆

市民は、新型インフルエンザなど新興感染症に対する正しい知識を持ち、市による予防体制やライフラインの確保について理解を深め、保健衛生の向上の中で、安心して生活を営んでいます。

◆ 施策の方向 ◆

- 予防接種の推進
- 感染症の知識普及
- 感染症の医療体制の構築
- 食中毒予防運動の推進
- 動物愛護思想の啓発
- 献血の推進
- 広域大和斎場の管理運営
- 薬物乱用防止

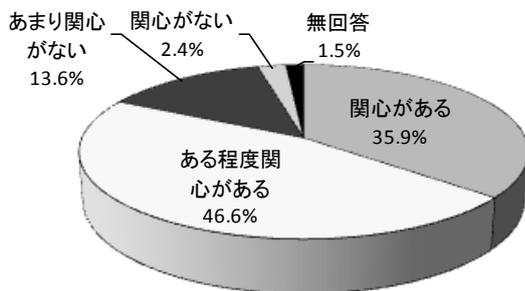
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割台、国・県が4割弱となっています。
- ・ 感染症対策の認知度は全体の4分の3を超え、市の感染症対策については約半数の人が必要な対策をしていると思っています。

関心度

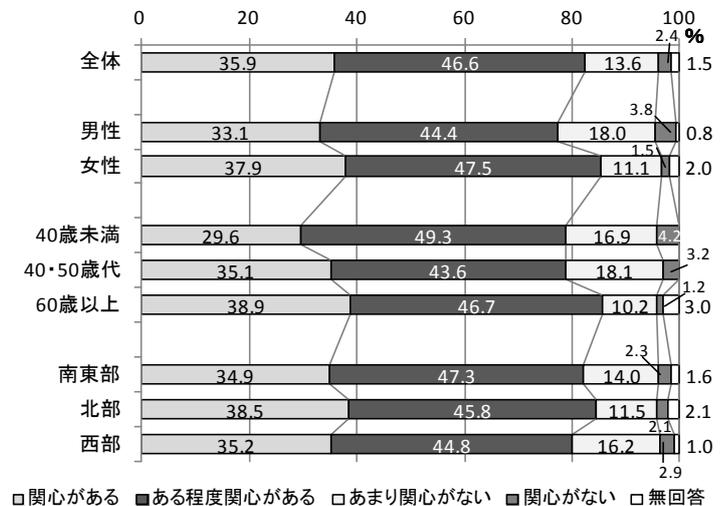
◇ 「保健衛生」への関心の有無

<全体>



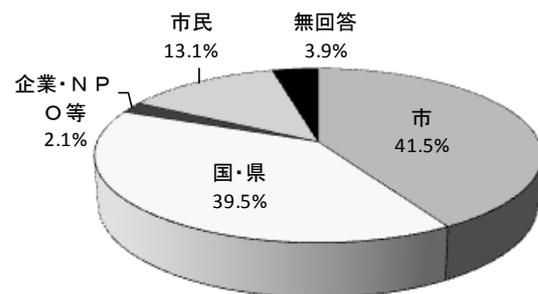
「保健衛生」53 施策中 13 位 (82.5%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「保健衛生」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

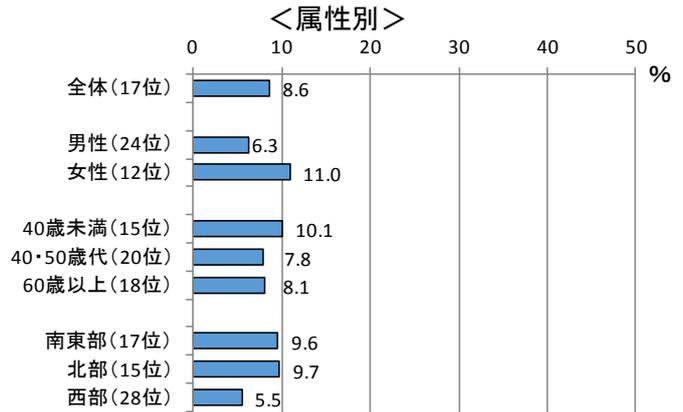


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「保健衛生」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

「保健衛生」53 施策中 17 位 (8.6%)

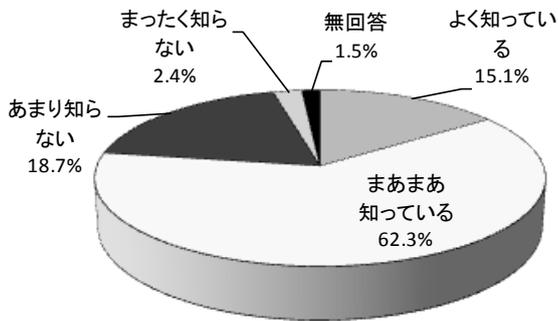


まちづくり指標の達成度

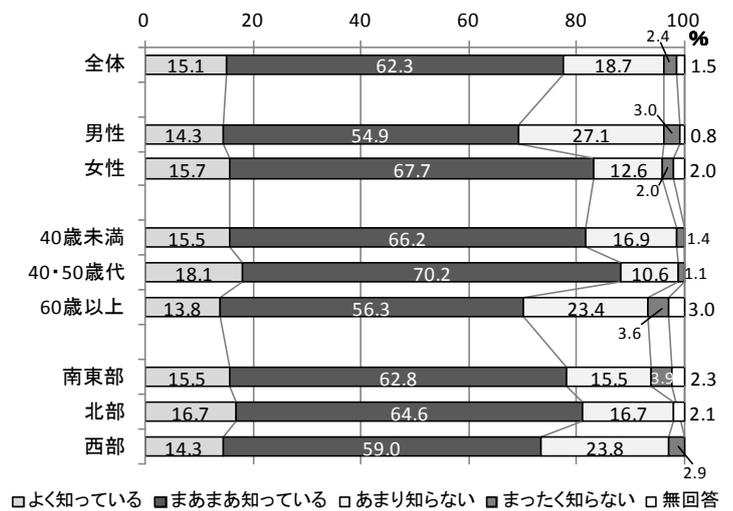
◇感染症対策の認知度

(「あなたは、エイズや性感染症、病原性大腸菌O157に対する予防方法を知っていますか?」)

<全体>

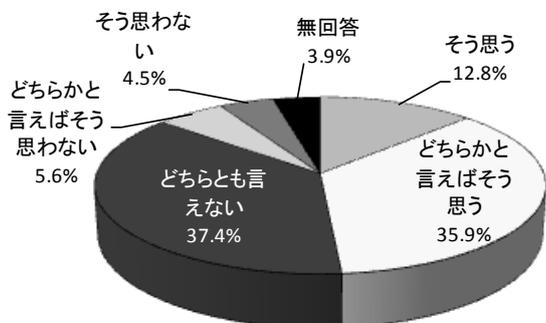


<属性別>

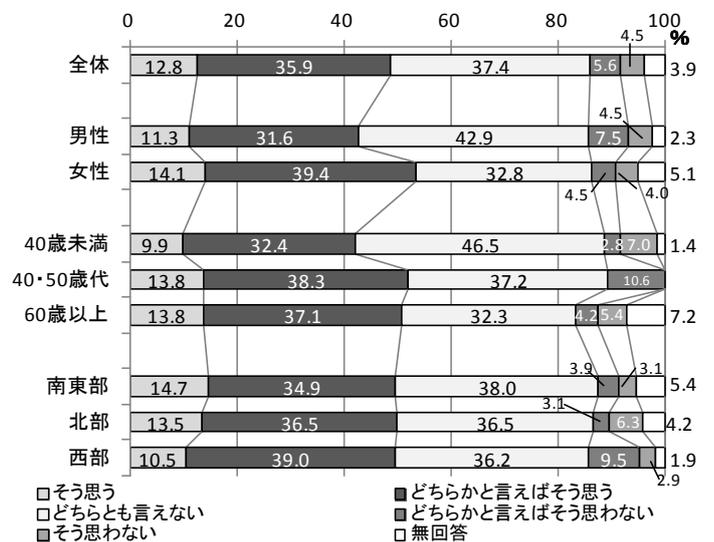


◇予防接種の実施などにより、必要な感染症対策が行われてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



3. スポーツ・レクリエーション

◆ 目指す姿 ◆

市民は、日常的にスポーツ・レクリエーションに親しみ、生き生きと明るく豊かで心身とも健康な生活を営んでいます。

◆ 施策の方向 ◆

- 施設の整備・充実 ○生涯スポーツの推進 ○指導者・団体の育成
- 地域の活動場所の確保 ○施設・イベント等の情報提供 ○総合運動施設の調査研究

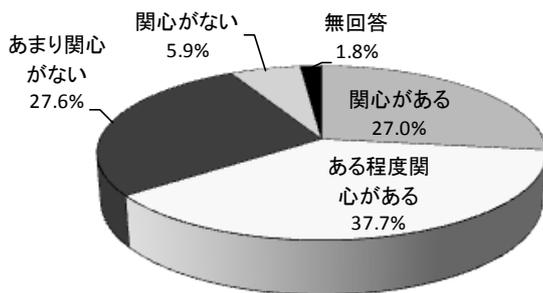
アンケート結果の概要

- ・施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割を超えています。
- ・スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会が増えてきていると思う人は全体で3割程度となっています。

関心度

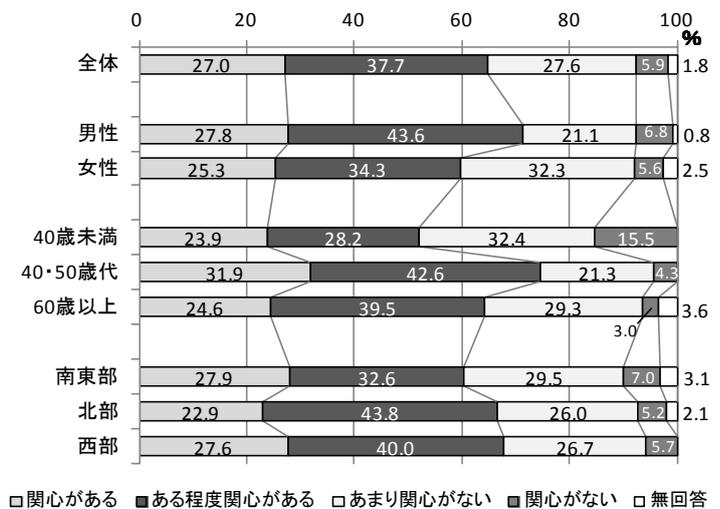
◇ 「スポーツ・レクリエーション」 への関心の有無

< 全 体 >



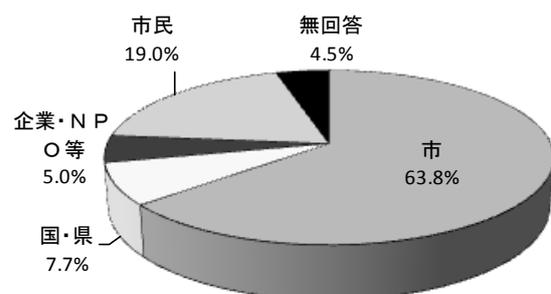
「スポーツ・レクリエーション」
53 施策中 35 位 (64.7%)

< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「スポーツ・レクリエーション」 の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



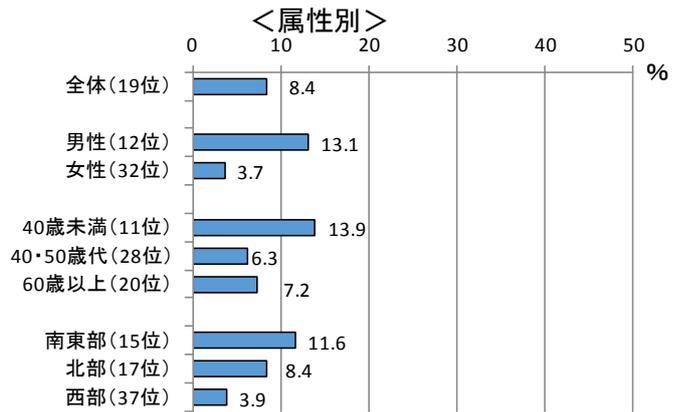
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「スポーツ・レク
リエーション」を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

「スポーツ・レクリエーション」

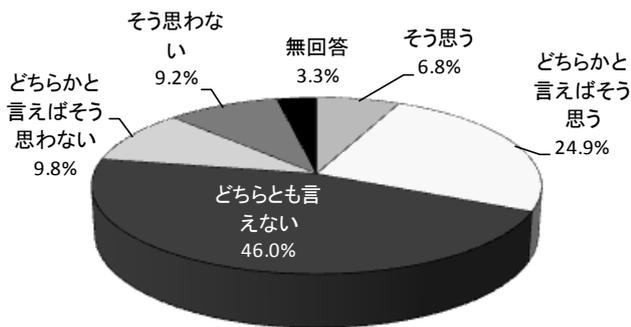
53 施策中 19 位 (8.4%)



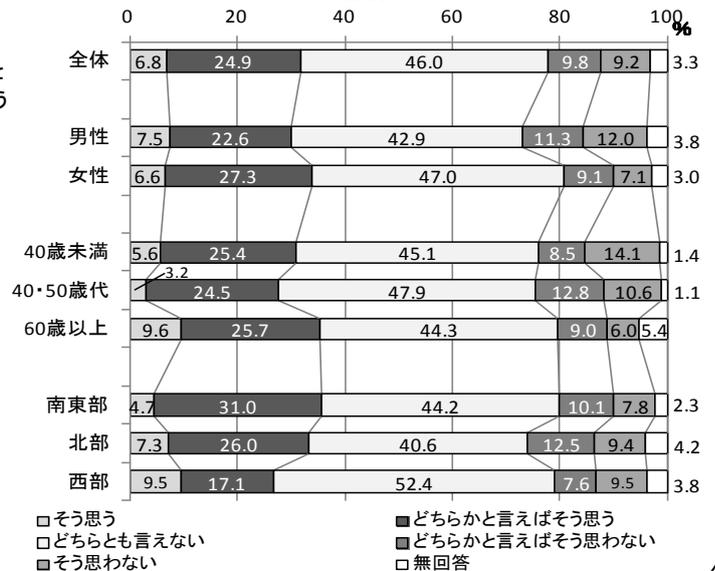
まちづくり指標の達成度

◇市民体育館などのスポーツ施設の設置・運営や放課後の学校施設（体育館や校庭）の開放などにより、
気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会が増えてきていると思う市民の割合

＜全 体＞



＜属性別＞



4. 医療体制

◆ 目指す姿 ◆

市民は、市内のかかりつけ医の存在や広域的な医療体制の整備により、適切な負担の下で安心して医療を受けることができます。

◆ 施策の方向 ◆

- 適正受診の啓発
- 広域救急医療体制の推進と充実
- 休日急患センターの管理運営
- 各種医療費の助成
- 災害時医療体制の充実

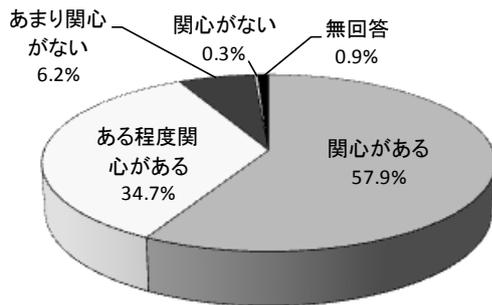
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が5割台、国・県が4割台となっています。
- ・ 6割近くの人が、医療サービスを必要な時に受けられるようになってきていると思っています。

関心度

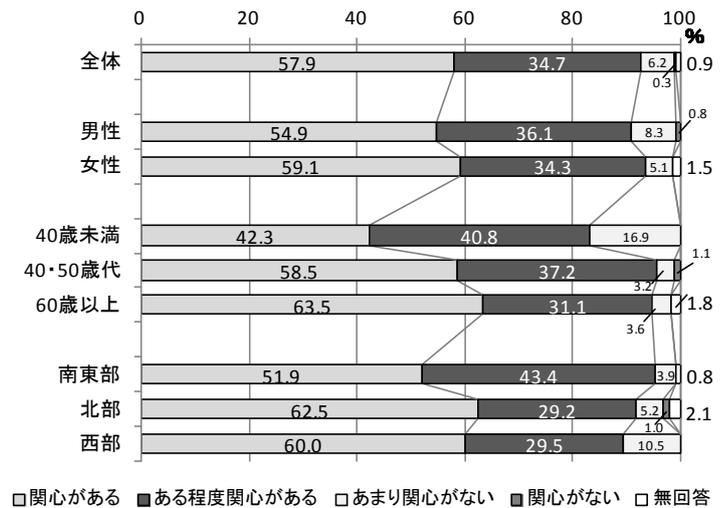
◇ 「医療体制」への関心の有無

<全体>



「医療体制」53 施策中 2 位 (92.6%)

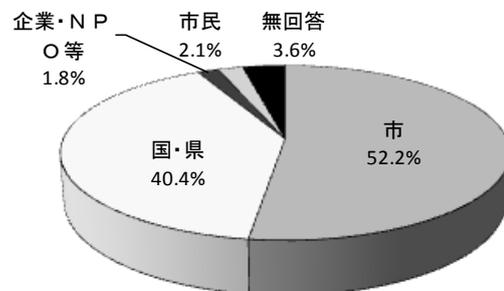
<属性別>



実現するための主体

◇ 「医療体制」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

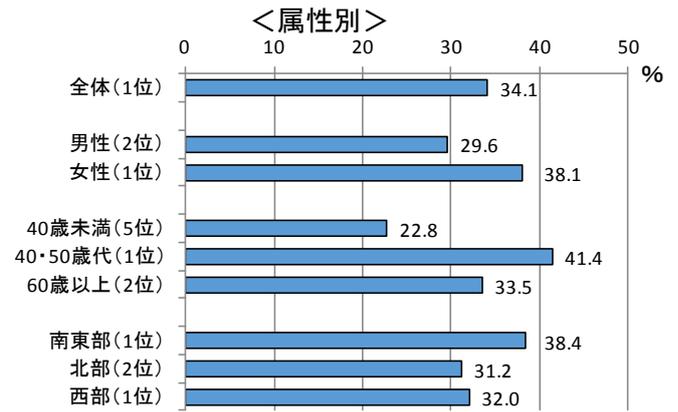


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「医療体制」
を選んだ市民の割合

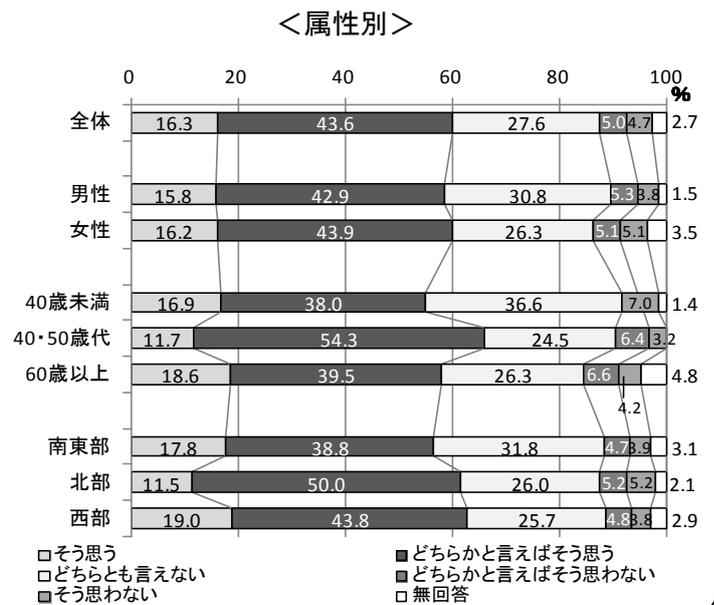
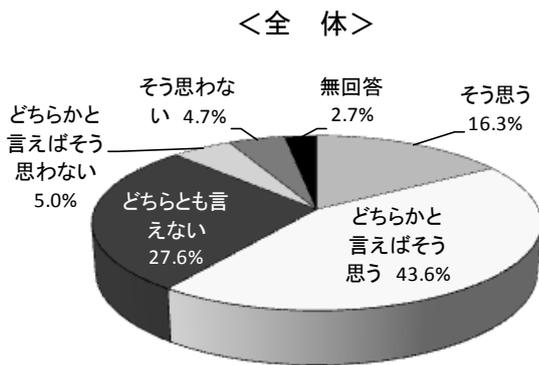
※53 の施策から5つまで選択

「医療体制」53 施策中1位 (34.1%)



まちづくり指標の達成度

◇休日急患センターや広域による救急医療体制の整備により、医療サービスを必要な時に受けられるようになってきていると思う市民の割合



5. 国民健康保険

◆ 目指す姿 ◆

市民は、加齢による傷病や疾病によっても、安心して適切な医療を受けることができる健全な運用がなされている保険制度を有しています。

◆ 施策の方向 ◆

○医療費の適正化

○保険税収納の確保

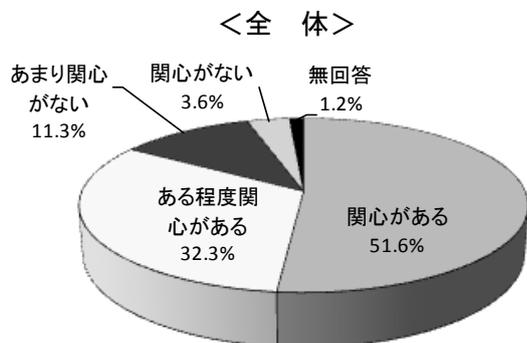
○国民健康保険制度の運用

アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が6割台、市が2割台となっています。

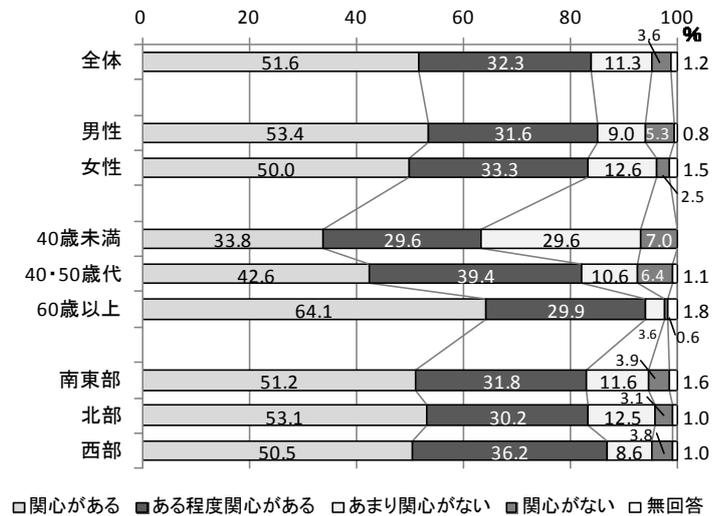
関心度

◇ 「国民健康保険」 への関心の有無



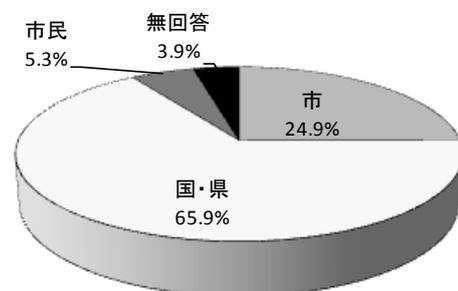
「国民健康保険」53 施策中 8 位 (83.9%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「国民健康保険」 の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

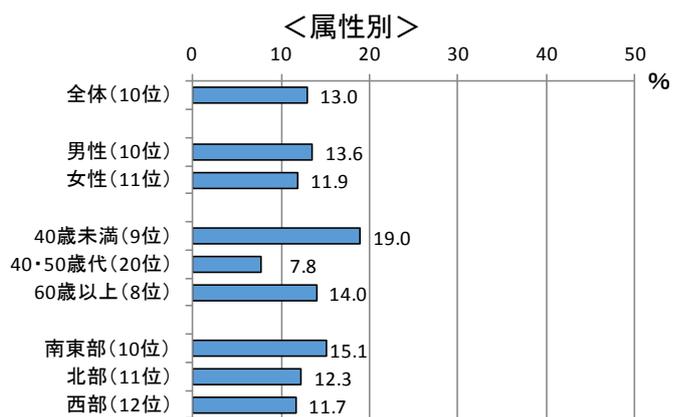


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「国民健康保険」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「国民健康保険」53 施策中 10 位 (13.0%)



6. 介護保険

◆ 目指す姿 ◆

座間市の高齢者は、介護予防対策により、尊厳を保ちながらその人らしい自立した生活を営むことができ、要支援や要介護状態になっても、在宅サービスや地域密着型サービスの充実により住み慣れた地域や家庭で安心して生活を続けることができます。

◆ 施策の方向 ◆

- 介護保険制度の運営 ○介護サービスの適切提供 ○情報や相談の提供体制の整備
- 介護予防対策の充実 ○地域全体で支える体制の構築 ○高齢者虐待防止対策の推進

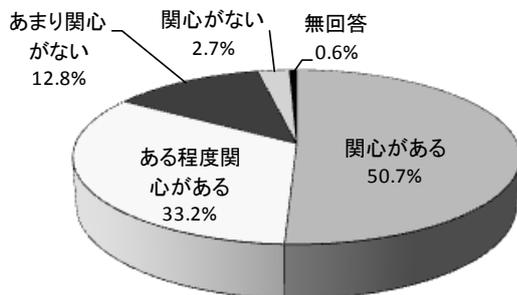
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が半数を超え、市は3割台となっています。
- ・ 高齢者や家族へ必要な支援が行われてきていると思う人は3割台で、年齢が高いほどその割合も高くなっています。

関心度

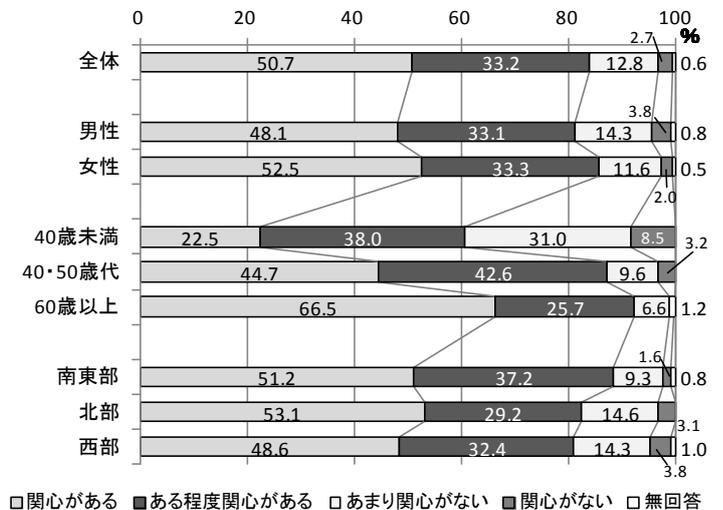
◇ 「介護保険」への関心の有無

<全体>



「介護保険」53 施策中 8 位 (83.9%)

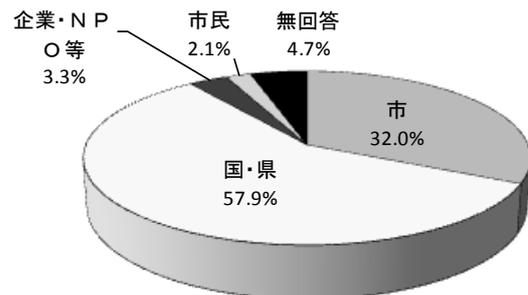
<属性別>



実現するための主体

◇ 「介護保険」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

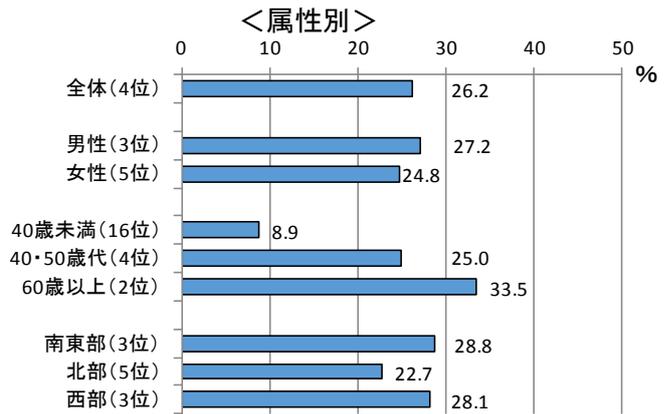


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「介護保険」
を選んだ市民の割合

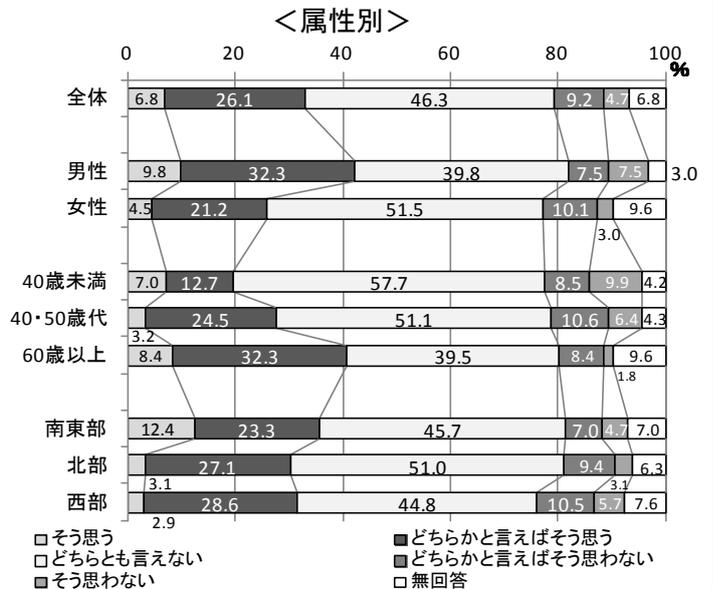
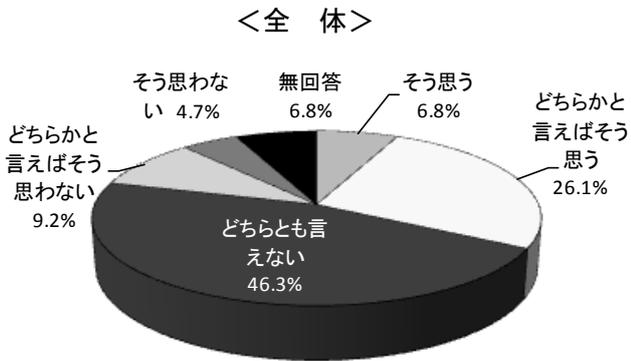
※53 の施策から 5 つまで選択

「介護保険」53 施策中 4 位 (26.2%)



まちづくり指標の達成度

◇介護保険制度などによる福祉サービスにより、高齢者や家族へ必要な支援が行われてきていると思う市民の割合



政策2 支え合い 思いやりに満ちた やすらぎのまち

7. 地域・高齢者福祉

◆ 目指す姿 ◆

高齢者をはじめ地域にかかわりを持つ機会が豊富な市民が、NPOやボランティア組織、地域の互いの助け合い活動などへ積極的に参加し、住み慣れたまちの中で、だれもが安心して生きがいを持ち充実した暮らしをしています。

◆ 施策の方向 ◆

- 地域の協体制の構築
- ボランティアの育成
- 福祉意識の普及啓発
- 高齢者の就労と生きがい対策
- 在宅高齢者の自立支援
- 高齢者の日常生活支援
- 福祉施設の維持管理
- 災害時の要援護者支援
- 福祉団体の地域活動支援

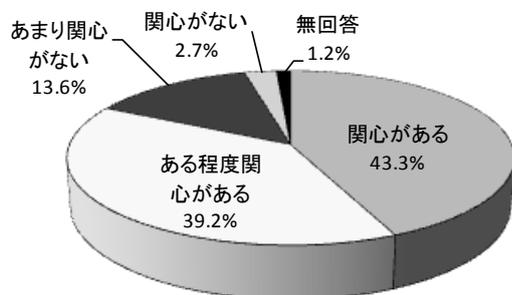
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数以上を占め、国・県が3割強となっています。
- ・ 市民ボランティアなどによる福祉サービスが充実してきていると思う人は2割台となっています。

関心度

◇ 「地域・高齢者福祉」への関心の有無

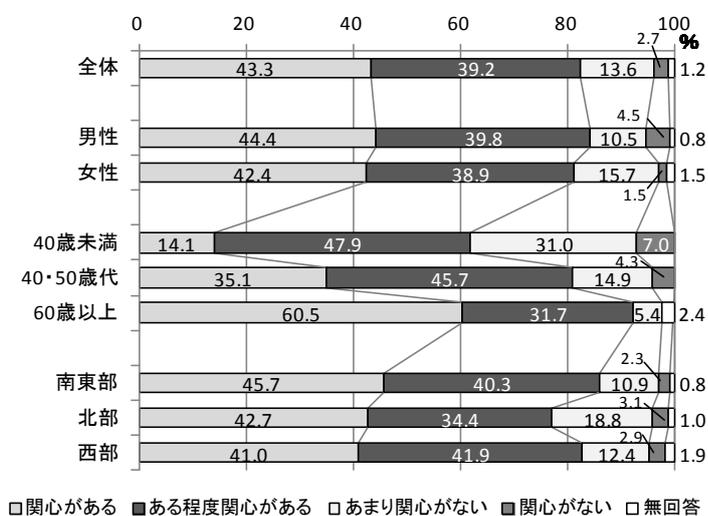
<全体>



「地域・高齢者福祉」

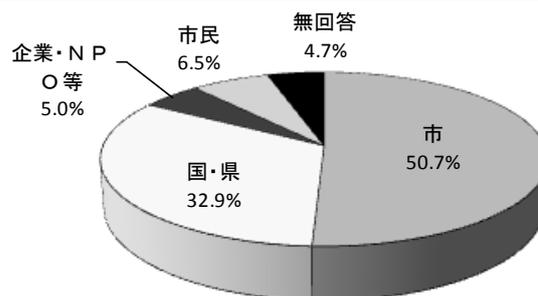
53 施策中 13 位 (82.5%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「地域・高齢者福祉」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

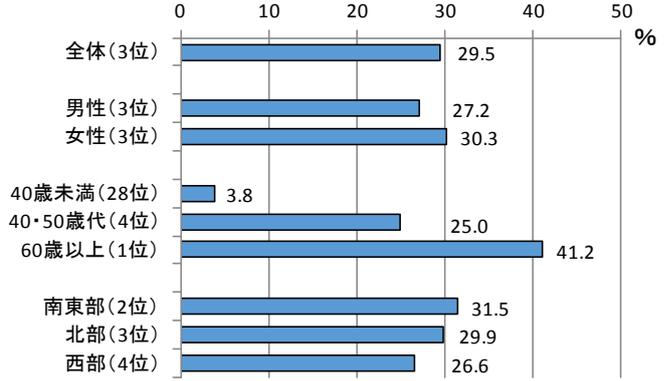
◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「地域・高齢者福祉」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「地域・高齢者福祉」

53 施策中 3 位 (29.5%)

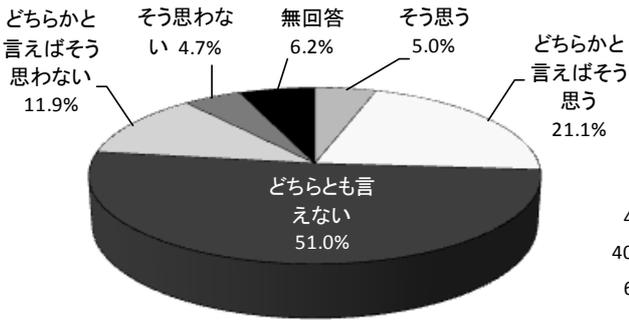
<属性別>



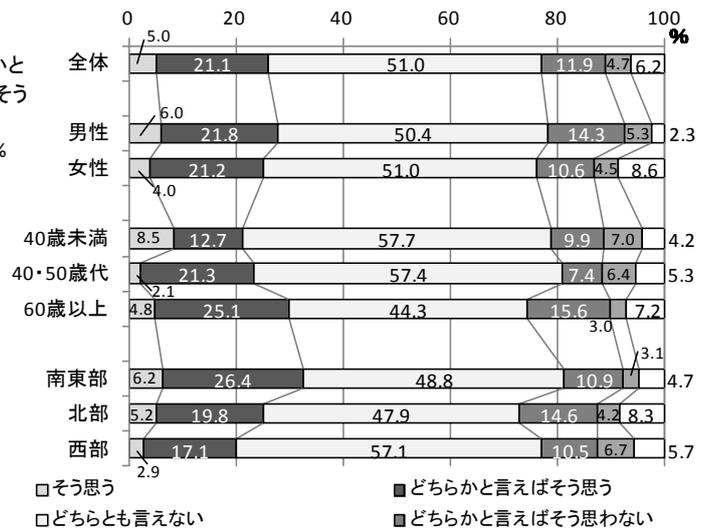
まちづくり指標の達成度

◇市が支援している社会福祉協議会などの活動により、市民ボランティアなどによる福祉サービスが
充実してきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



8. 障がい者福祉

◆ 目指す姿 ◆

座間市の障がい者は、ノーマライゼーションという障がい者福祉の基本理念の下、各々の個性に見合った就労環境が整うとともに、障がい福祉サービスを受けることで、その人らしい生活を営んでいます。

◆ 施策の方向 ◆

- 障がい者援護施設等の支援 ○地域福祉ネットワークの整備 ○生活用具等の援助
- 在宅福祉サービスの推進 ○障がい者の健康維持・生活安定
- 障がい者福祉の啓発 ○障がい者の文化・スポーツ活動の推進
- 権利擁護等の事業促進 ○自殺対策事業の推進 ○障がい者の就労支援
- 災害時の要援護者支援システム構築

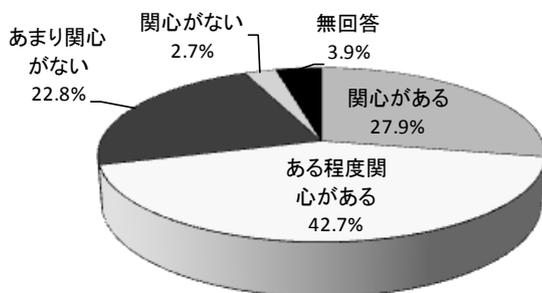
アンケート結果の概要

- ・施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が5割弱、市が3割台となっています。
- ・障がい者やその家族への必要なサービスが提供されてきていると思う人は、全体の約3分の1です。

関心度

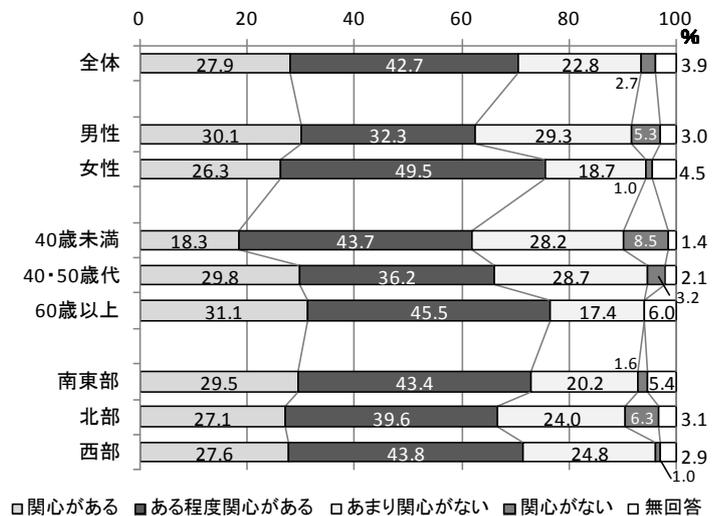
◇ 「障がい者福祉」 への関心の有無

< 全体 >



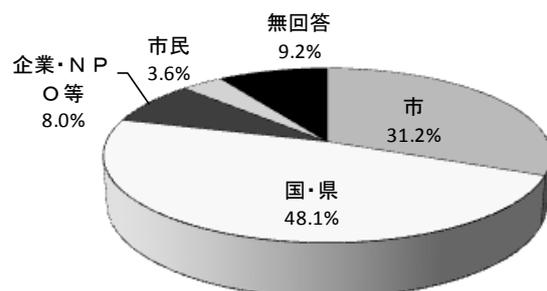
「障がい者福祉」 53 施策中 27 位 (70.6%)

< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「障がい者福祉」 の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

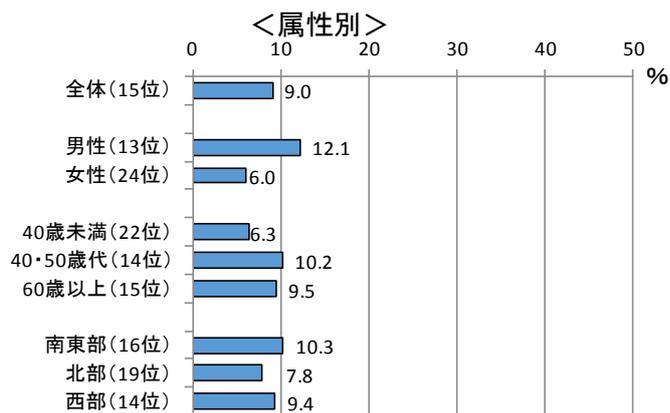


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「障がい者福祉」
を選んだ市民の割合

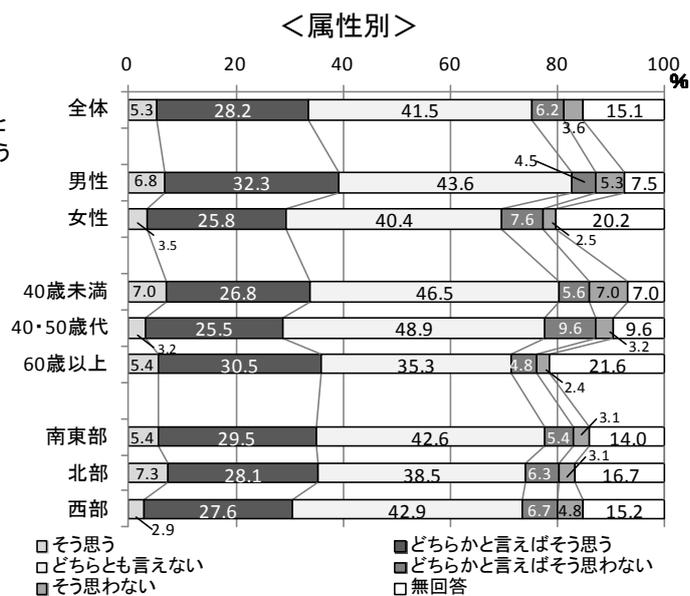
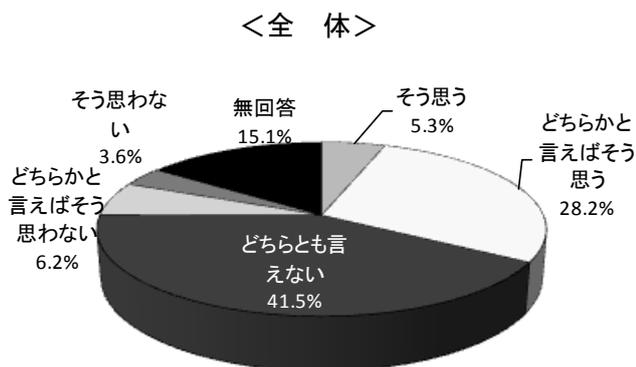
※53 の施策から 5 つまで選択

「障がい者福祉」 53 施策中 15 位 (9.0%)



まちづくり指標の達成度

◇もくせい園の運営や地域活動支援センターなどへの補助などにより、障がい者やその家族への必要なサービスが提供されてきていると思う市民の割合



9. 保育対策

◆ 目指す姿 ◆

子育て世代は、就労形態や所得の違いに左右されず、安心して子どもを預けられる環境を楽しんでいます。

◆ 施策の方向 ◆

- 保育園等の施設定員確保
- 保育内容の充実と保護者支援
- 私立保育園の支援
- 私立保育園との連携
- 小学校との情報連携強化
- 児童の健全育成

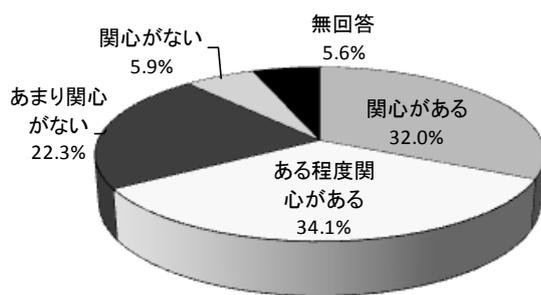
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市、国・県が共に4割強で並んでいます。

関心度

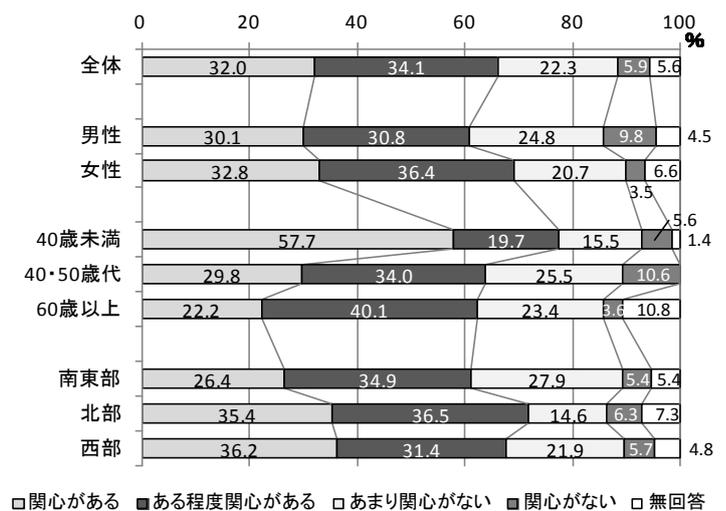
◇ 「保育対策」への関心の有無

<全体>



「保育対策」53 施策中 34 位 (66.1%)

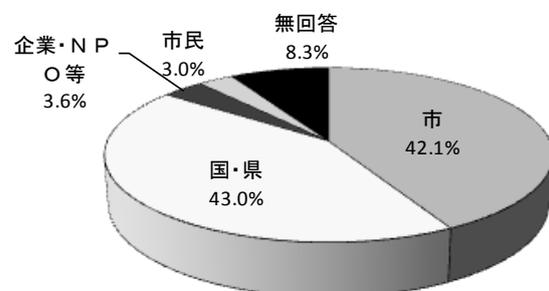
<属性別>



実現するための主体

◇ 「保育対策」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

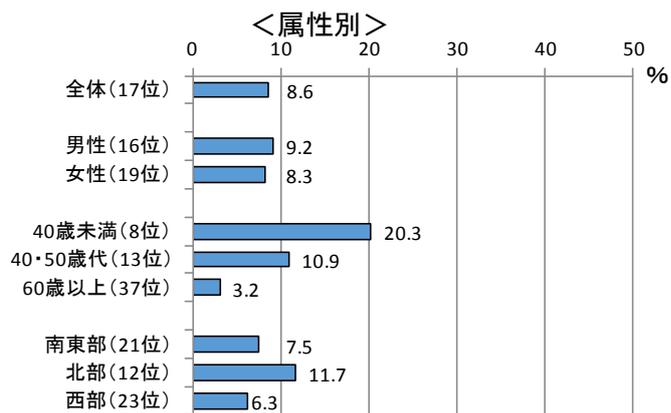


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「保育対策」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「保育対策」53 施策中 17 位 (8.6%)



10. 子ども・子育て

◆ 目指す姿 ◆

座間市の子どもたちは、両親の有無や経済的な理由などにより家庭の保育環境が悪化しても子育ての様々な仕組みに支えられて、健やかにはぐくまれています。結婚・出産の希望の実現や男女の働き方改革、放課後児童対策など、少子化対策を一体的に行い、地域の輪の中ですべての人が安心して子育てできるような環境が整備されています。

◆ 施策の方向 ◆

- 児童の生活保障の支援 ○児童ホームの運営 ○ひとり親家庭の支援
- 子育てしやすい地域環境の整備

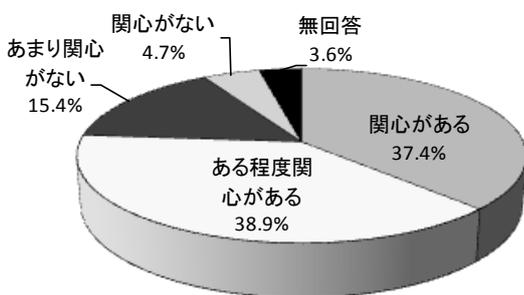
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数を超え、国・県が3割台となっています。
- ・ 市の取組により子育てしやすいまちになってきていると思う人は、3割程度となっています。

関心度

◇ 「子ども・子育て」への関心の有無

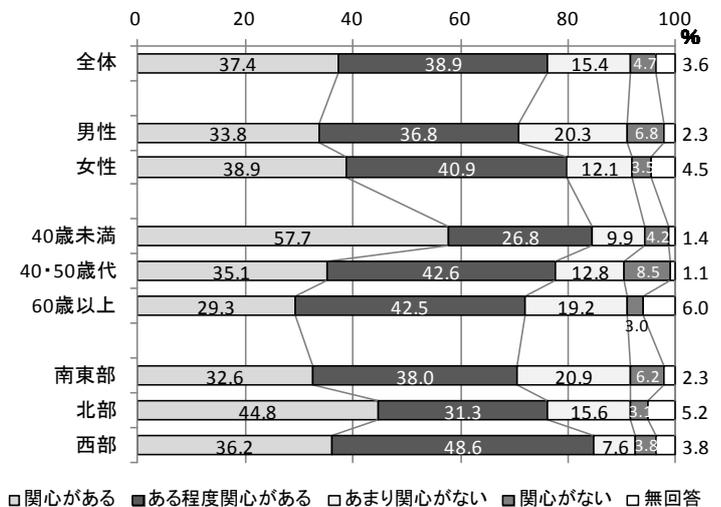
<全体>



「子ども・子育て」

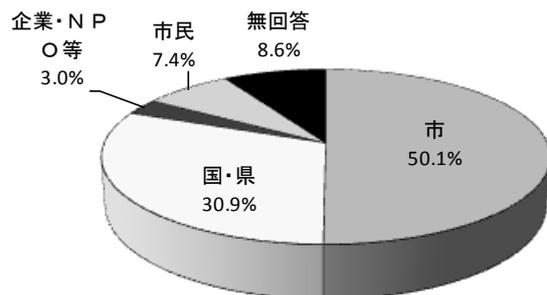
53 施策中 23 位 (76.3%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「子ども・子育て」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



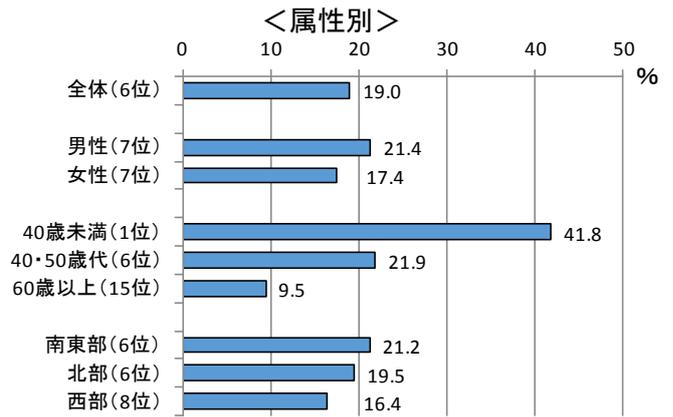
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「子ども・子育て」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

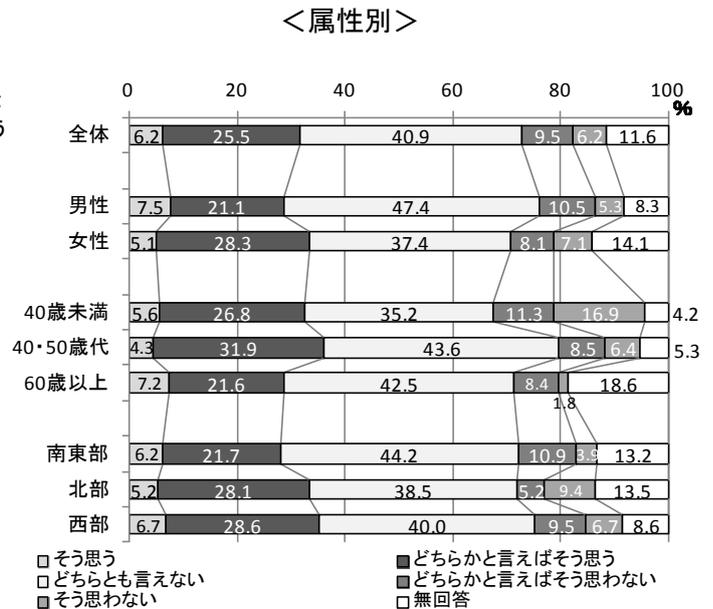
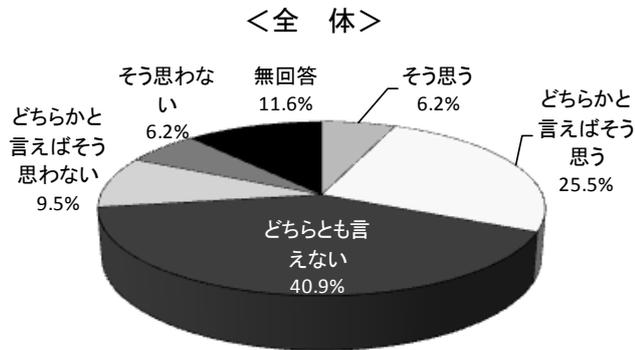
「子ども・子育て」

53 施策中6位 (19.0%)



まちづくり指標の達成度

◇保育所の運営、子育て支援センターの運営などにより、子育てしやすいまちになってきていると思う市民の割合



11. 生活困窮対策

◆ 目指す姿 ◆

市民は、経済的理由などにより生活困窮や住宅困窮に陥ったとしても、健康で文化的な暮らしが保障され、自立のための知識や技術を習得する環境が確保されています。

◆ 施策の方向 ◆

○生活保護世帯等の自立支援

○生活安定支援

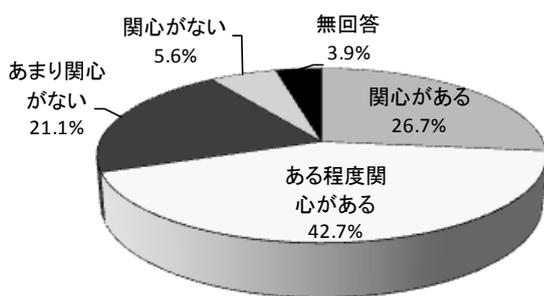
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が5割台、市が2割台となっています。

関心度

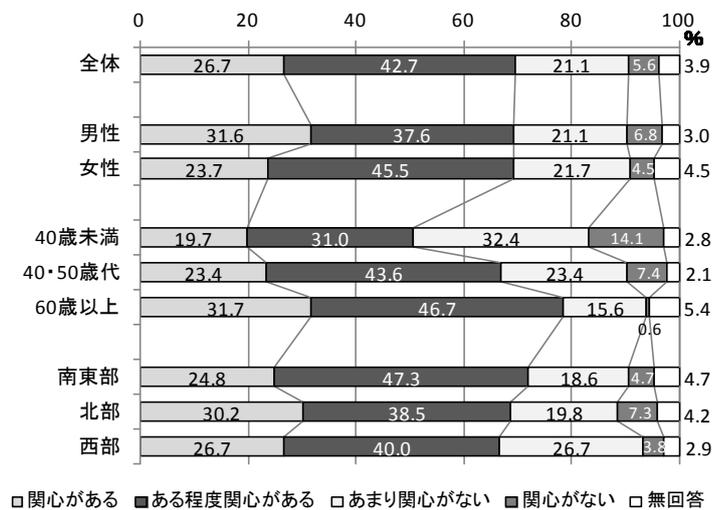
◇ 「生活困窮対策」 への関心の有無

< 全 体 >



「生活困窮対策」 53 施策中 30 位 (69.4%)

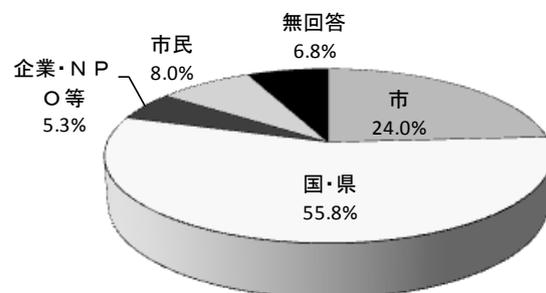
< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「生活困窮対策」 の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

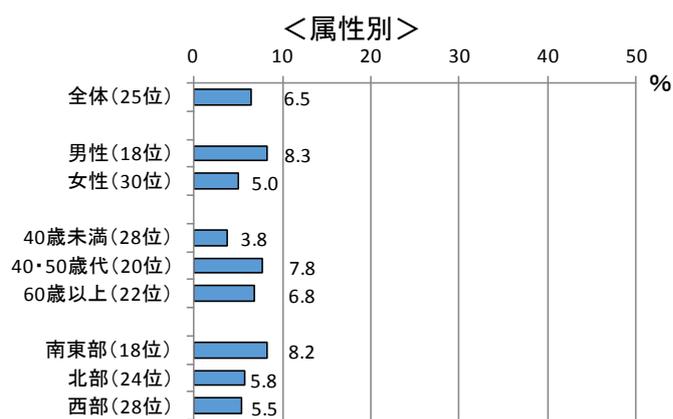


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「生活困窮対策」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「生活困窮対策」53 施策中 25 位 (6.5%)



政策3 共に考え 共に歩む 安心のまち

12. 市政広報

◆ 目指す姿 ◆

市民は、生活の質の向上やボランティア活動、自治活動などに生かすため、市政情報やまちづくりに関する情報を容易に入手できます。

◆ 施策の方向 ◆

○広報活動の展開

○情報提供体制の充実

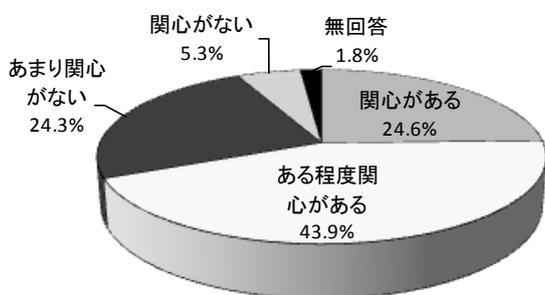
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が全体の約4分の3を占めています。
- ・ 市が発信する情報を、広報ざまやホームページ等で十分に得ていると思う人と、不十分であると思っている人は、共に4割台となっています。

関心度

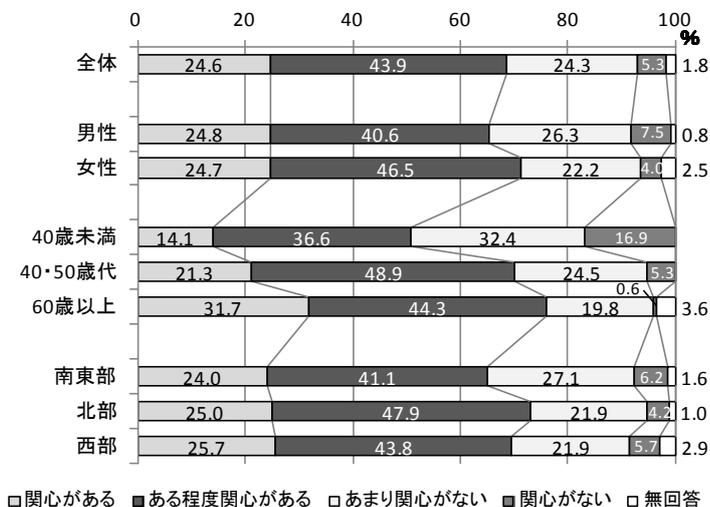
◇ 「市政広報」への関心の有無

<全体>



「市政広報」53 施策中 32 位 (68.5%)

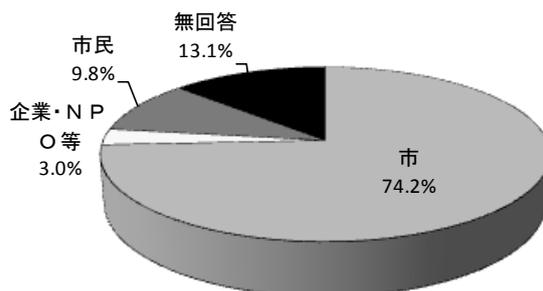
<属性別>



実現するための主体

◇ 「市政広報」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

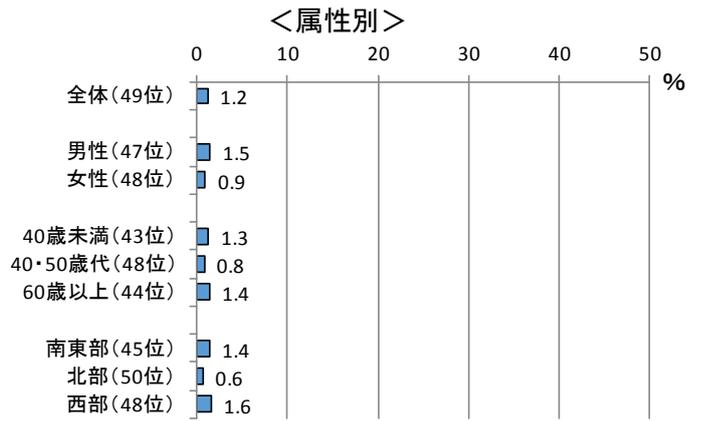


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「市政広報」
を選んだ市民の割合

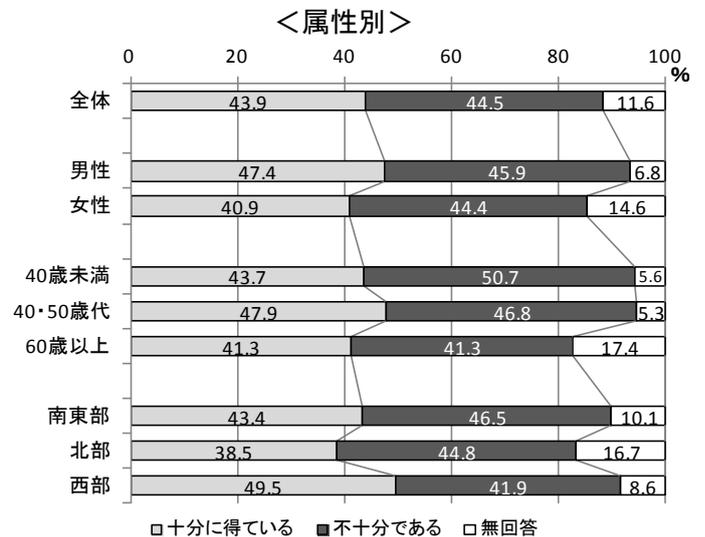
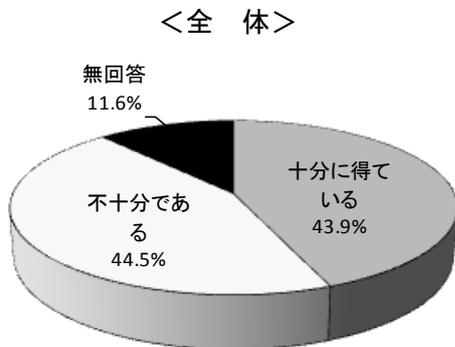
※53 の施策から 5 つまで選択

「市政広報」53 施策中 49 位 (1.2%)



まちづくり指標の達成度

◇市が発信する情報を、広報ざまや市ホームページ等で十分に得ていると思う市民の割合



13. 市民生活・広聴

◆ 目指す姿 ◆

市民は、消費生活問題等に対応した情報提供や助言を受け、トラブルに巻き込まれることなく、安全に安心して豊かな消費生活を営み、各種広聴機能の活用により意見・要望を届けることができます。

◆ 施策の方向 ◆

- 消費生活センター機能の充実
- 消費生活情報の提供
- 質的向上の啓発
- 消費者団体の支援
- 相談体制の充実
- 市民要望等の把握

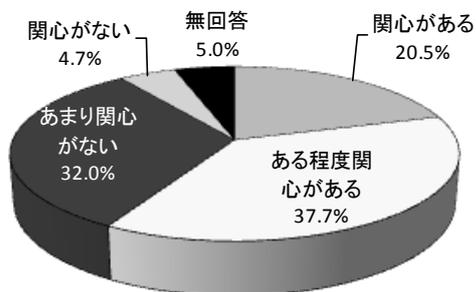
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が8割弱を占めています。
- ・ 消費生活に関する情報提供や相談が十分に行われてきていると思う人の割合や、消費生活センターの認知度は、年齢が高いほど高くなっています。

関心度

◇ 「市民生活・広聴」への関心の有無

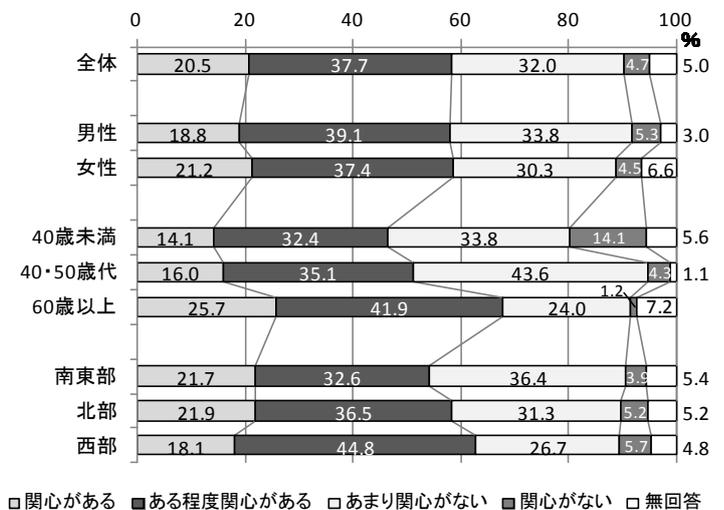
<全体>



「市民生活・広聴」

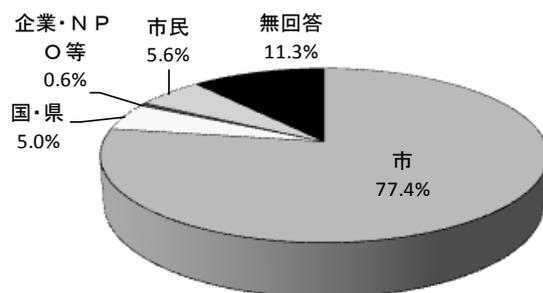
53 施策中 45 位 (58.2%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「市民生活・広聴」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

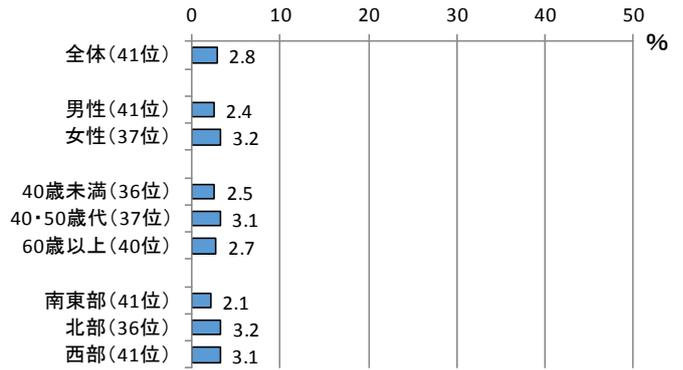
◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「市民生活・広聴」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「市民生活・広聴」

53 施策中 41 位 (2.8%)

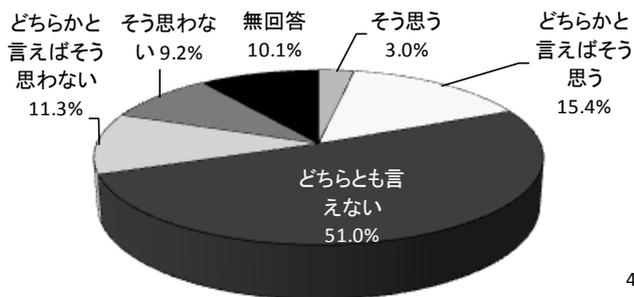
<属性別>



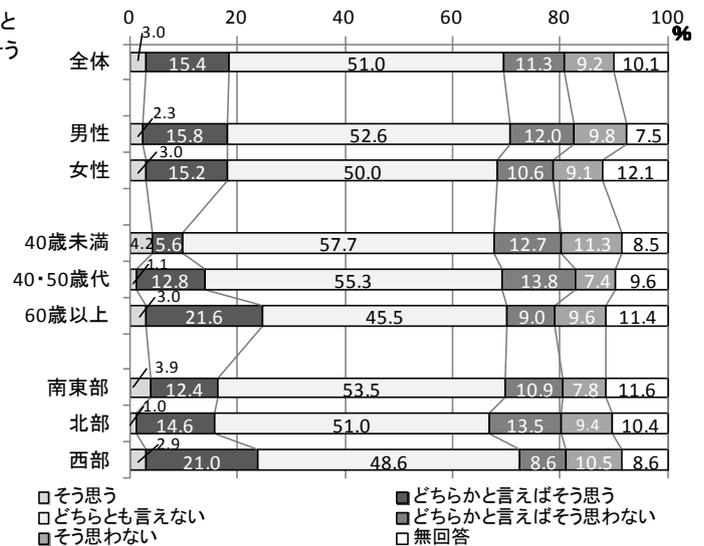
まちづくり指標の達成度

◇消費生活に関する情報提供や相談が十分に行われてきていると思う市民の割合

<全体>

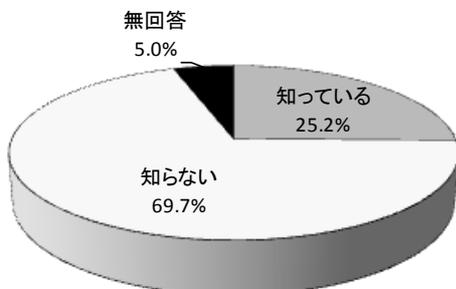


<属性別>

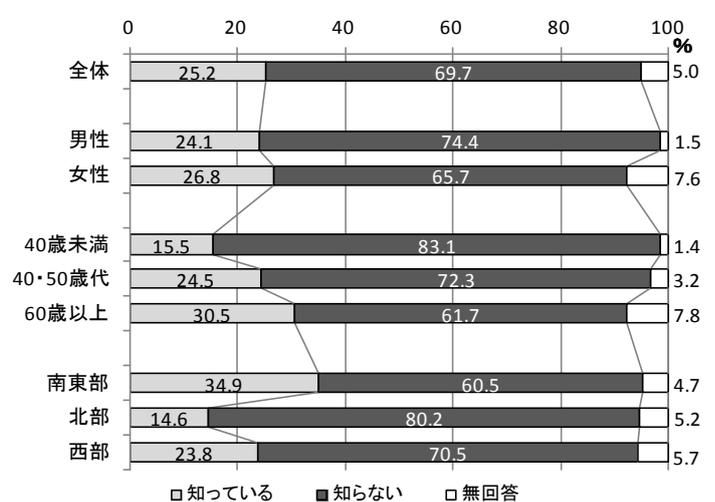


◇座間市消費生活センターの存在を知っている市民の割合

<全体>



<属性別>



14. 男女共同参画

◆ 目指す姿 ◆

市民は、男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわらずあらゆる分野に参画し、仕事と生活の調和の取れた生活を営んでいます。

◆ 施策の方向 ◆

- 性別役割分担意識の解消
- ODV（配偶者などからの暴力）被害者の支援
- ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
- 男女共同参画推進協議会等の運営
- 女性の市政等への参画促進
- 各種団体との連携・支援

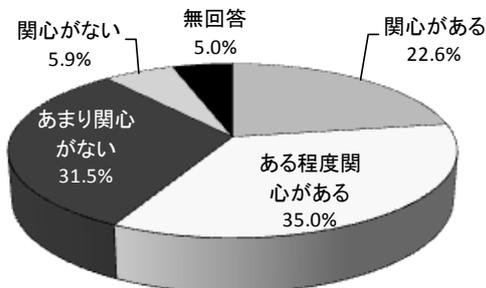
アンケート結果の概要

- ・施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が3割台、市が3割弱となっています。
- ・男女共同参画社会へ向けた情報提供や相談事業が十分に行われてきていると思う人は、1割台にとどまっています。

関心度

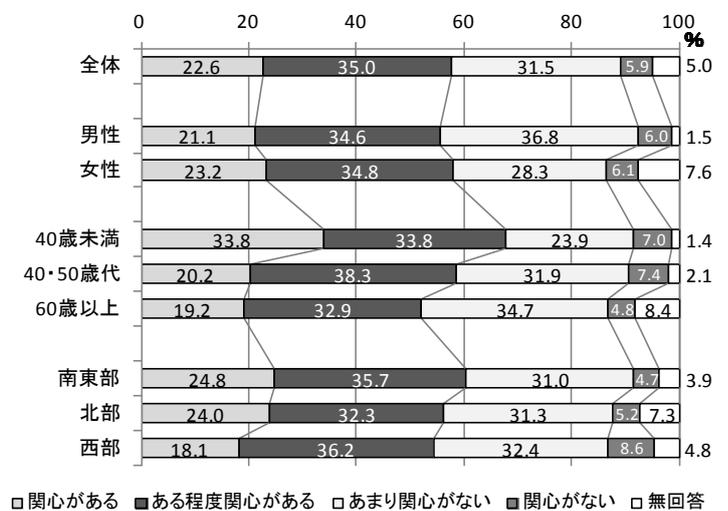
◇ 「男女共同参画」 への関心の有無

<全体>



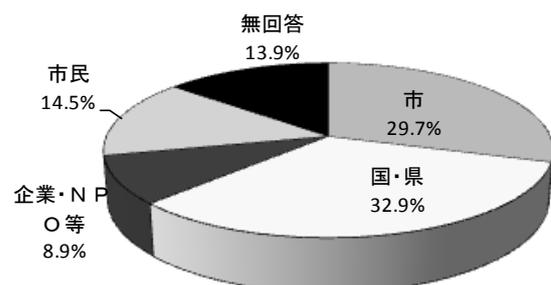
「男女共同参画」53 施策中 47 位 (57.6%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「男女共同参画」 の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



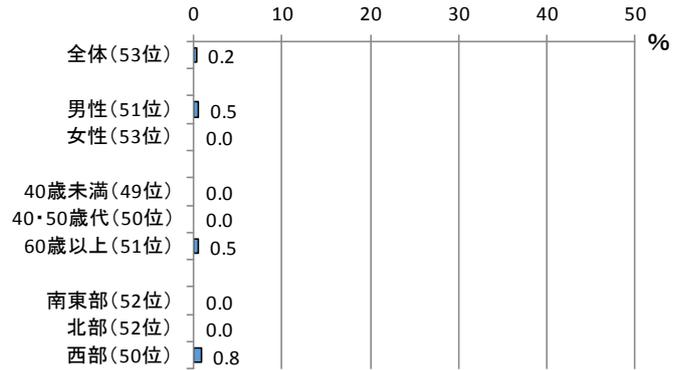
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「男女共同参画」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「男女共同参画」53 施策中 53 位 (0.2%)

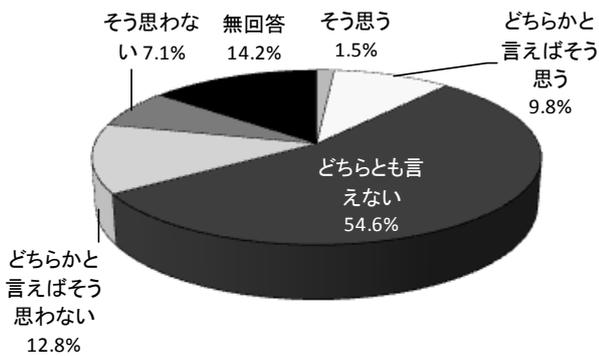
<属性別>



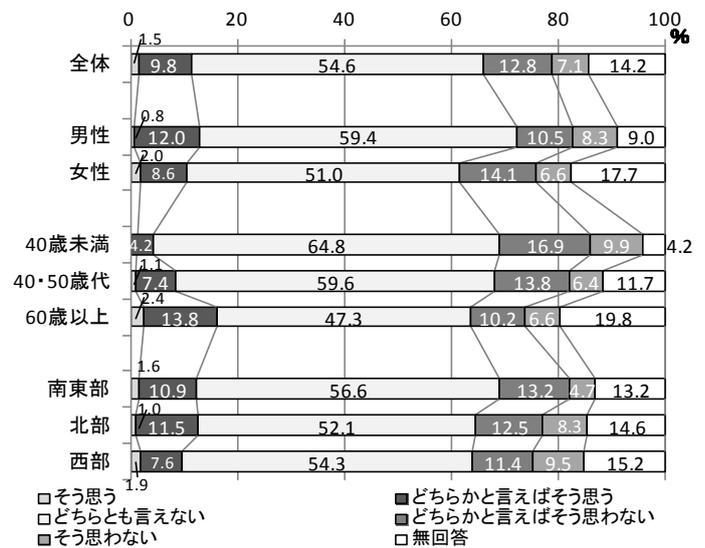
まちづくり指標の達成度

◇男女共同参画社会へ向けた情報提供や相談事業が十分に行われてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



15. 人権・平和

◆ 目指す姿 ◆

市民は、人権に対する理解を深め、国籍、人種、性別等による偏見や差別を解消するため活動しています。また、世界の恒久平和を願い活動を行っています。

◆ 施策の方向 ◆

- 人権教育・啓発活動の推進
- 人権相談体制の充実
- 核兵器廃絶への取組

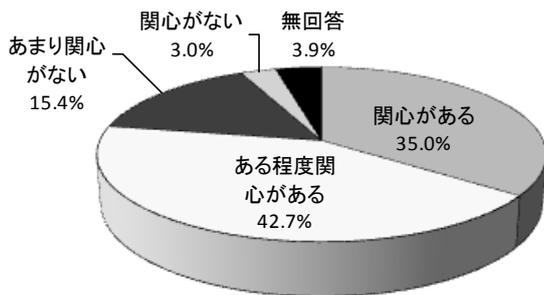
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が半数以上を占め、市民が約2割となっています。
- ・ 人権について考えたことのある人は、全体の4分の3近くに達しています。

関心度

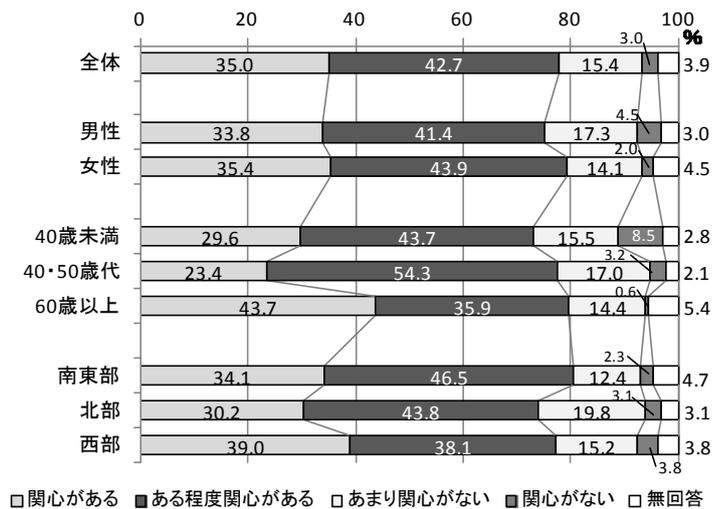
◇ 「人権・平和」への関心の有無

<全体>



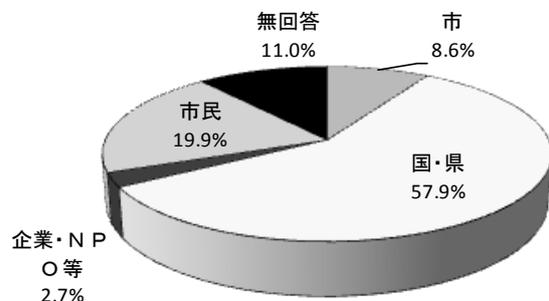
「人権・平和」53 施策中 20 位 (77.7%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「人権・平和」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

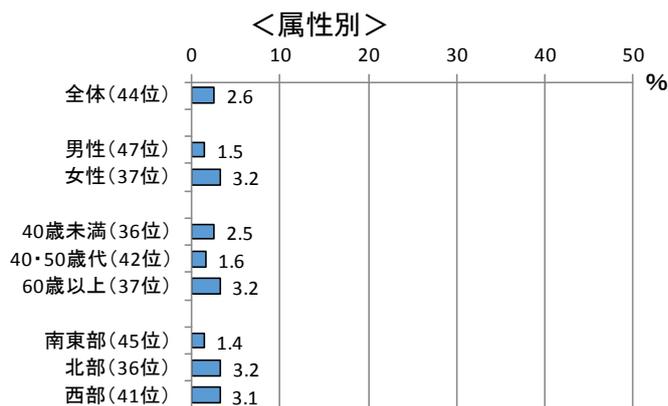


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「人権・平和」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

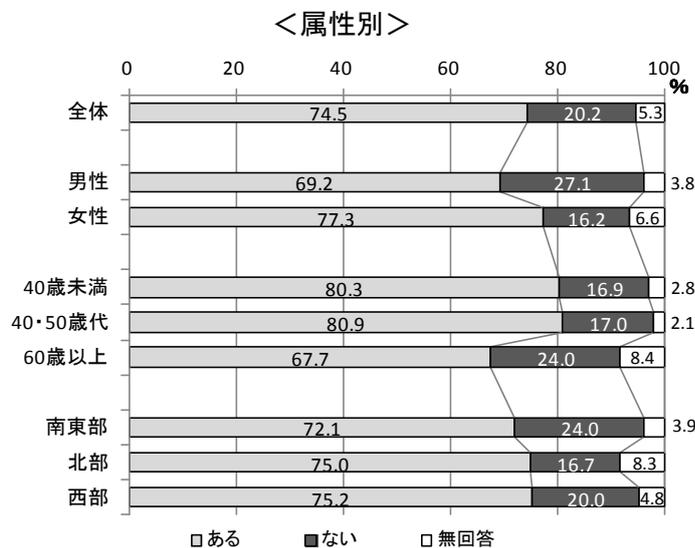
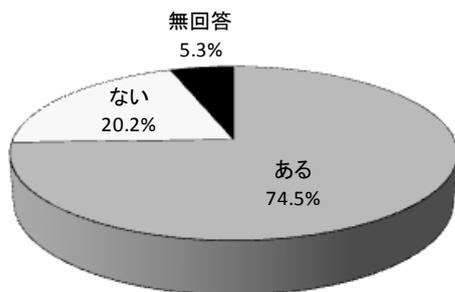
「人権・平和」53 施策中 44 位 (2.6%)



まちづくり指標の達成度

◇人権について考えたことがある市民の割合

<全 体>



16. NPO・ボランティア活動

◆ 目指す姿 ◆

「自分たちのまちは、自分たちで創り育てる」という意識の下、市民自らが「地域活動」や「社会活動」に積極的に参加し、市と協働して地域課題等の解決を図るなど、市民が主体となったまちづくりが進められています。

◆ 施策の方向 ◆

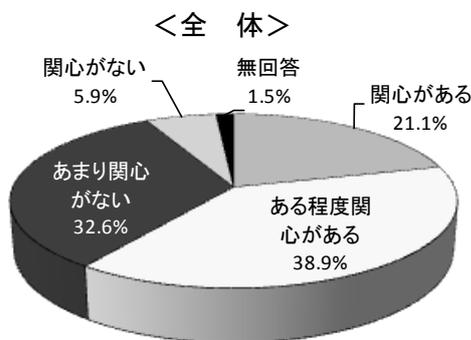
- 市民活動サポートセンターの機能充実
- 市民の公益的活動支援

アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、企業・NPO等、市民が2割台、サポートセンター、市、国・県が1割台となっています。
- ・ NPO・ボランティア活動に参加したことがある人は2割弱で、60歳以上の参加率が最も高くなっています。

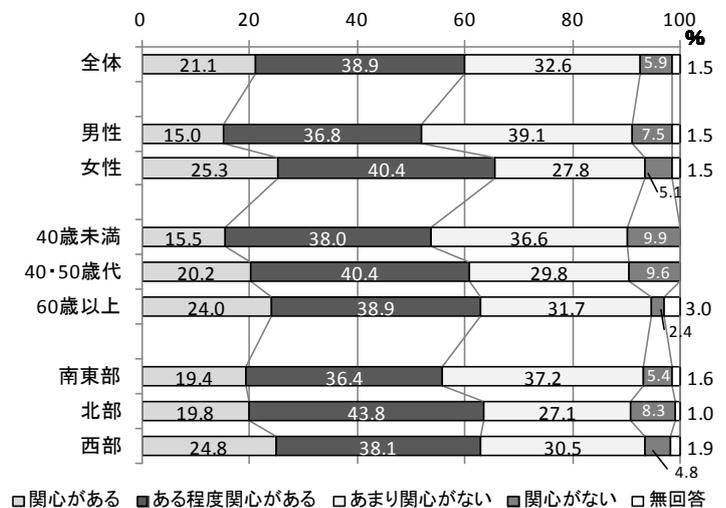
関心度

◇ 「NPO・ボランティア活動」への関心の有無



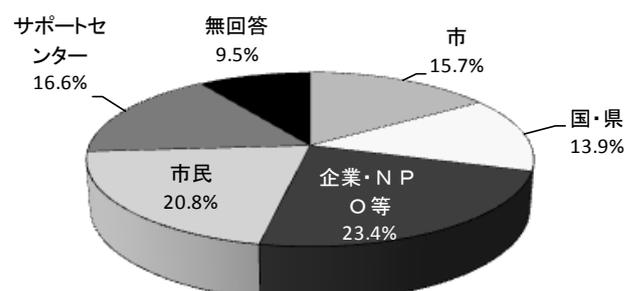
「NPO・ボランティア活動」
53 施策中 42 位 (60.0%)

＜属性別＞



実現するための主体

◇ 「NPO・ボランティア活動」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



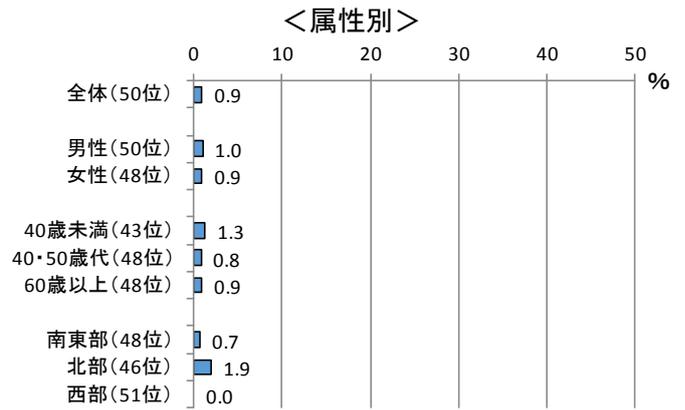
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「NPO・ボラン
ティア活動」を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

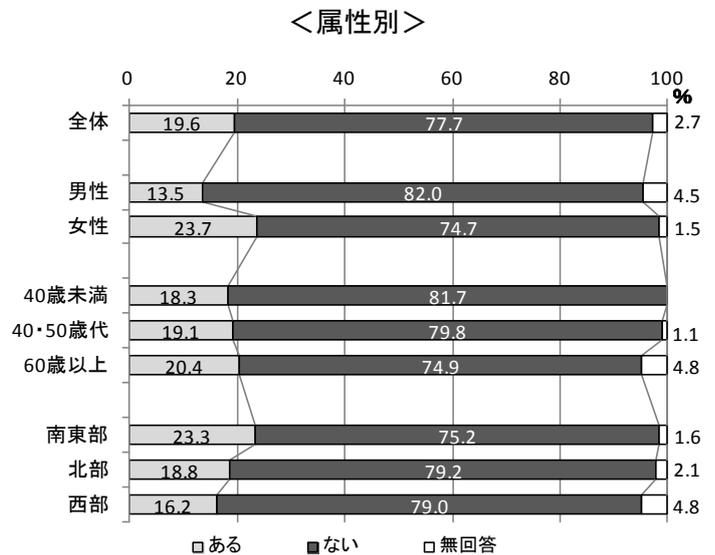
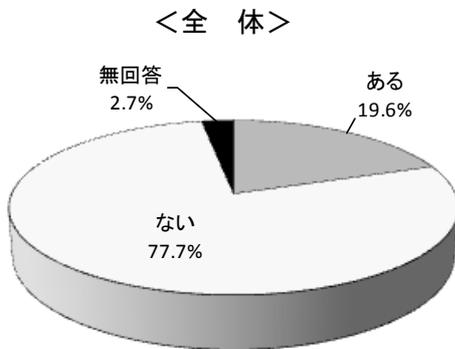
「NPO・ボランティア活動」

53 施策中 50 位 (0.9%)



まちづくり指標の達成度

◇「NPO・ボランティア活動」に参加したことがある市民の割合



17. コミュニティ活動

◆ 目指す姿 ◆

座間市内の各地域において様々な人が知り合い、世代を越えて人と人との交流がはぐくまれ、そうした交流により活性化している地域のコミュニティで暮らすことができます。

◆ 施策の方向 ◆

- 地域コミュニティのリーダー育成
- コミュニティ施設の維持管理
- 地域活動等の支援

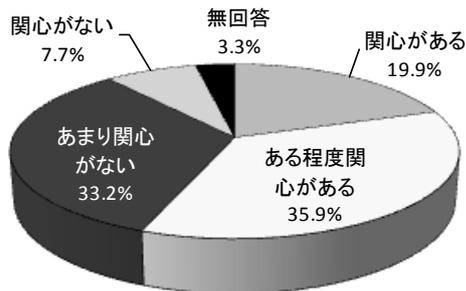
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市、市民がともに4割台となっています。
- ・ 市民の地域に対する愛着が深まり、連帯意識が強まってきていると思う人は2割弱となっています。

関心度

◇ 「コミュニティ活動」への関心の有無

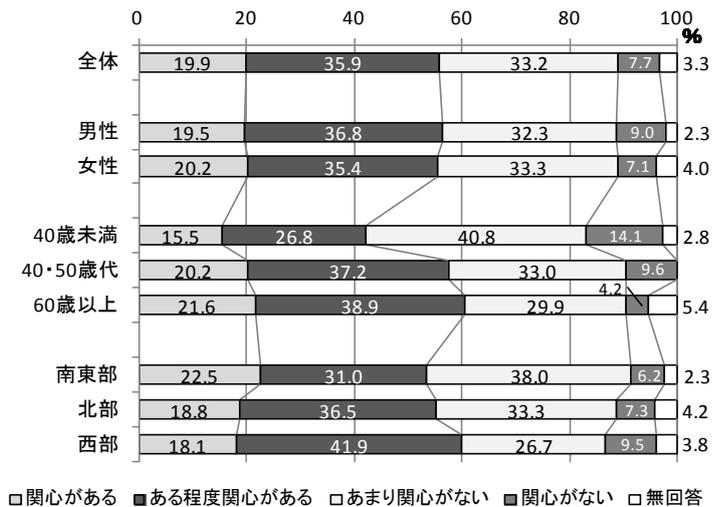
<全体>



「コミュニティ活動」

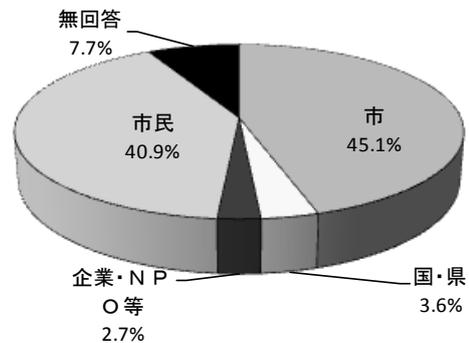
53 施策中 50 位 (55.8%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「コミュニティ活動」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



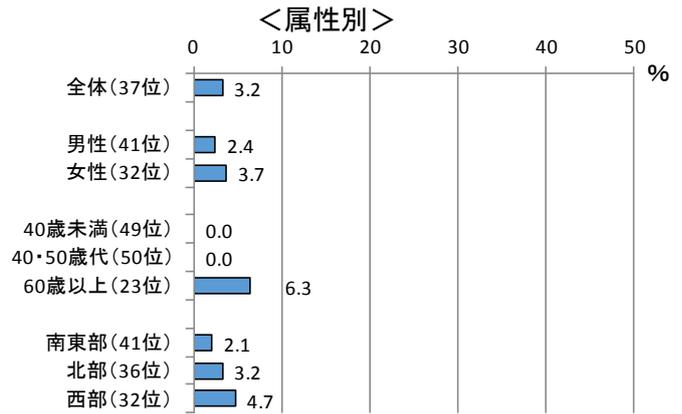
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「コミュニティ活動」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

「コミュニティ活動」

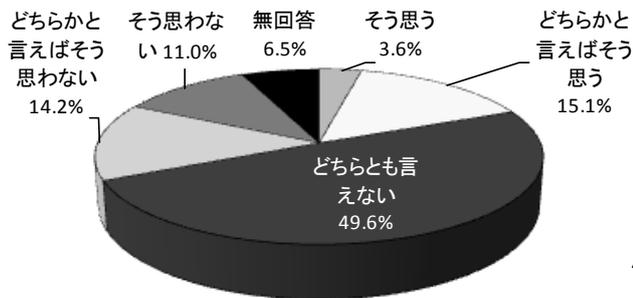
53 施策中 37 位 (3.2%)



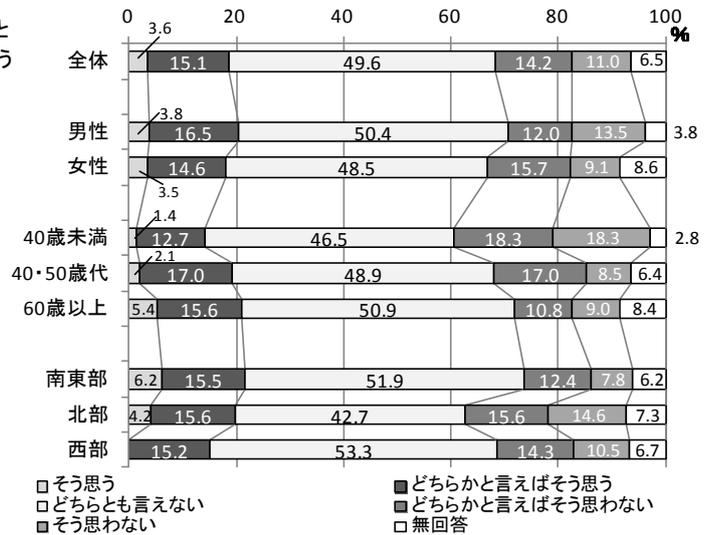
まちづくり指標の達成度

◇市民の地域に対する愛着が深まり、連帯意識が強まってきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



18. 市民参画

◆ 目指す姿 ◆

市民は、審議会等への参加機会の確保や各々の特性に応じた参加機会が提供されることで、積極的に市政への参画を行っています。

◆ 施策の方向 ◆

○市民参画機会の充実

○パートナーシップの推進

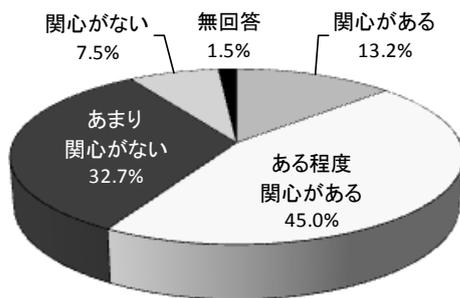
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割台、市民が3割台となっています。
- ・ 過去1年間に市が実施する事業に参加したことがある人は2割弱で、とくに60歳以上での参加率が高くなっています。市政の参加への機会が増えてきていると思う人は2割強となっています。

関心度

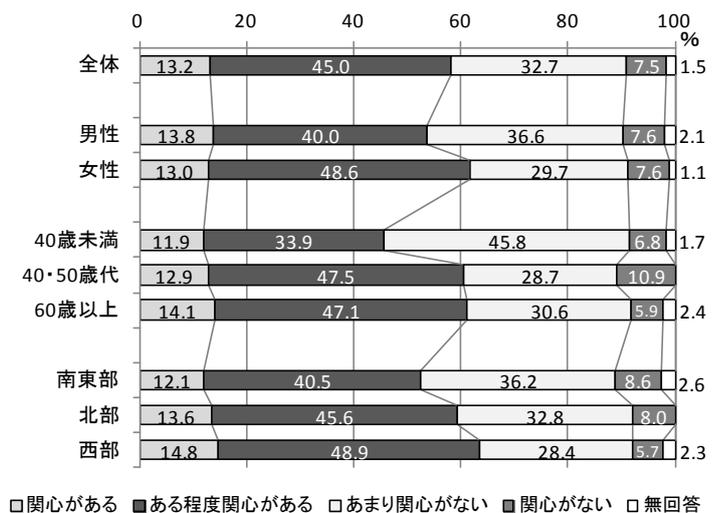
◇ 「市民参画」への関心の有無

<全体>



「市民参画」53施策中45位(58.2%)

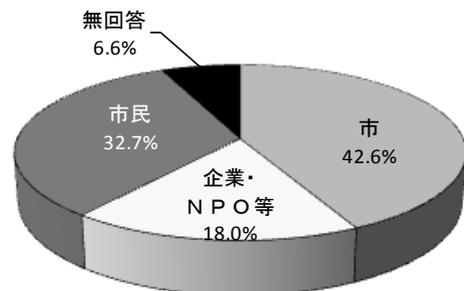
<属性別>



実現するための主体

◇ 「市民参画」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

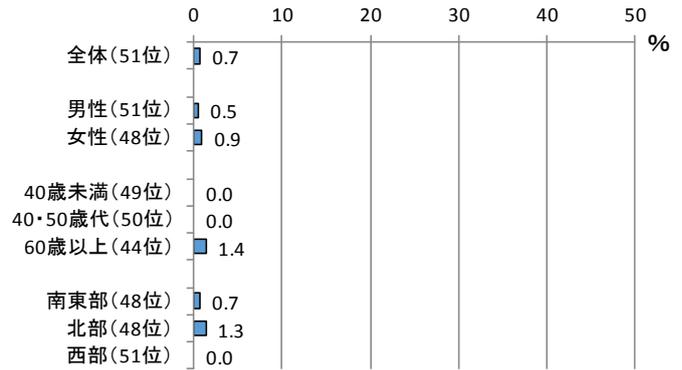


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「市民参画」
を選んだ市民の割合
※53 の施策から 5 つまで選択

「市民参画」53 施策中 51 位 (0.7%)

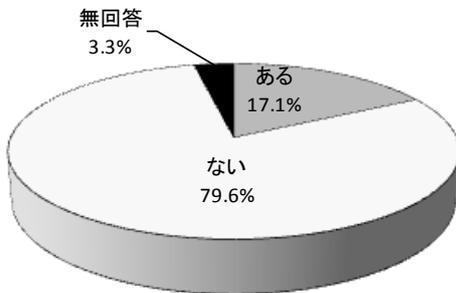
<属性別>



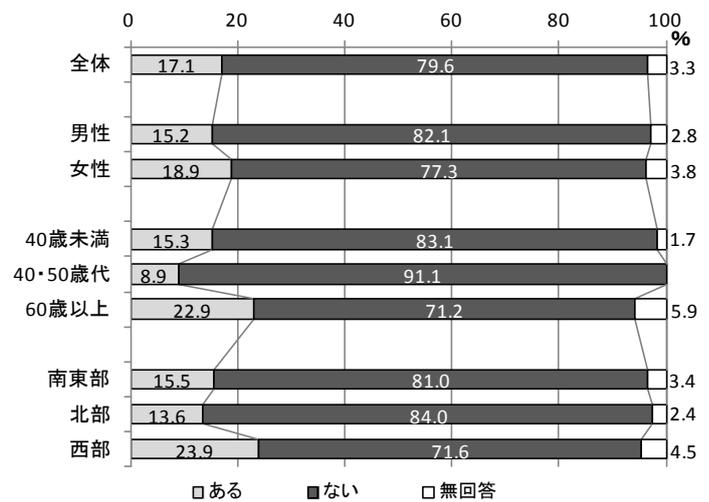
まちづくり指標の達成度

◇過去 1 年間に市が実施する事業に参加したことがある市民の割合

<全 体>

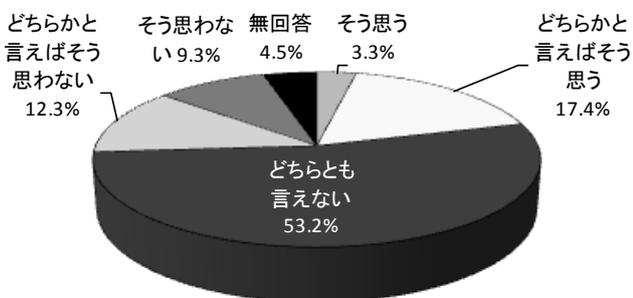


<属性別>

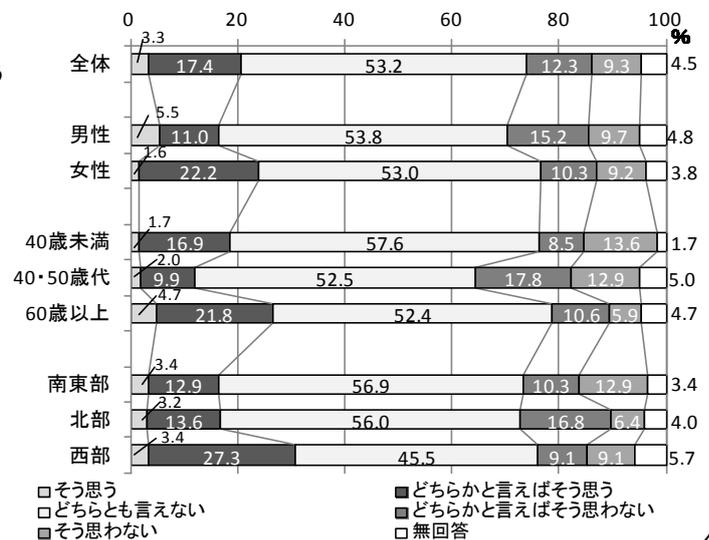


◇市政の参加への機会が増えてきていると思う市民の割合

<全 体>



<属性別>



19. 国内外交流

◆ 目指す姿 ◆

市民は、国内外の市民レベルの交流事業に積極的に参加し、視野を広げ、うるおいに満ちた生活を営んでいます。

◆ 施策の方向 ◆

- 市民による交流活動の支援
- 交流活動団体等の育成
- 居住外国人への市内体制づくり

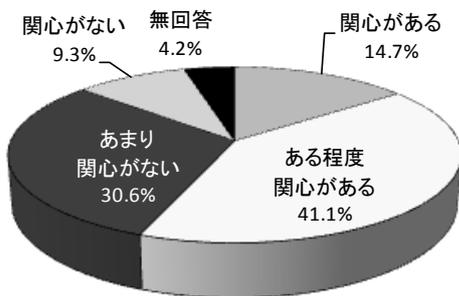
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が3割弱、国・県が2割台、市民、国際交流協会が約1割となっています。
- ・ 国内の他自治体との交流の輪をさらに広げたいと思う人は全体の約半数にのびります。

関心度

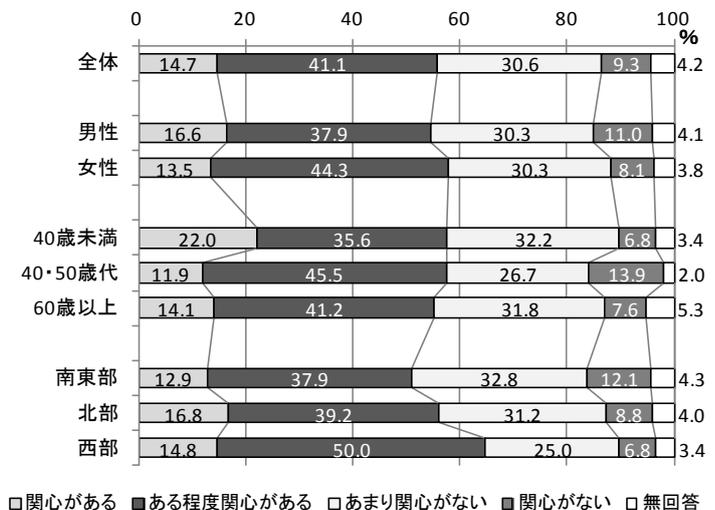
◇ 「国内外交流」への関心の有無

<全体>



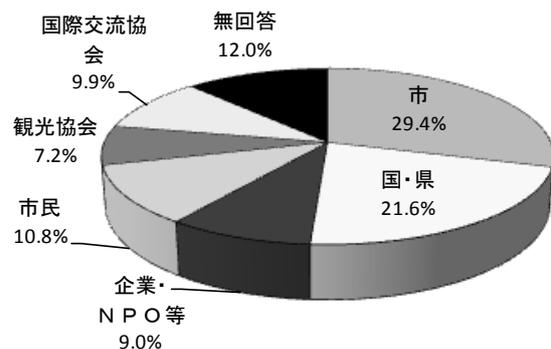
「国内外交流」53 施策中 50 位 (55.8%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「国内外交流」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



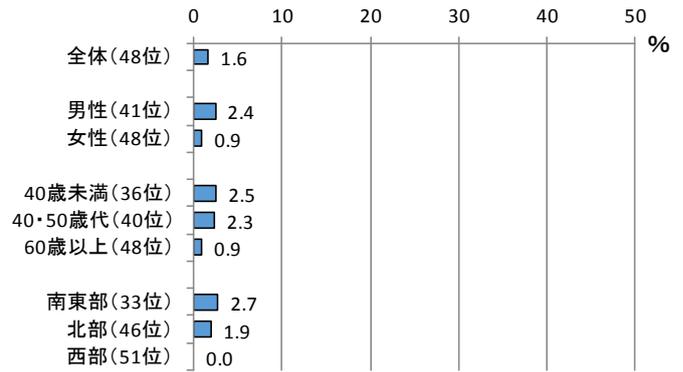
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「国内外交流」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「国内外交流」53 施策中 48 位 (1.6%)

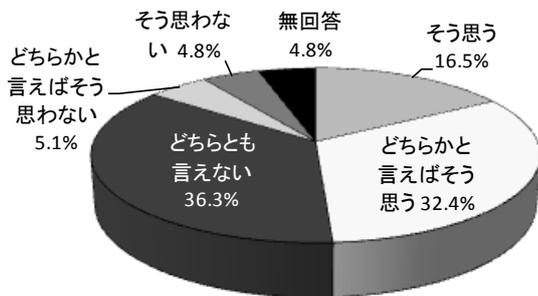
<属性別>



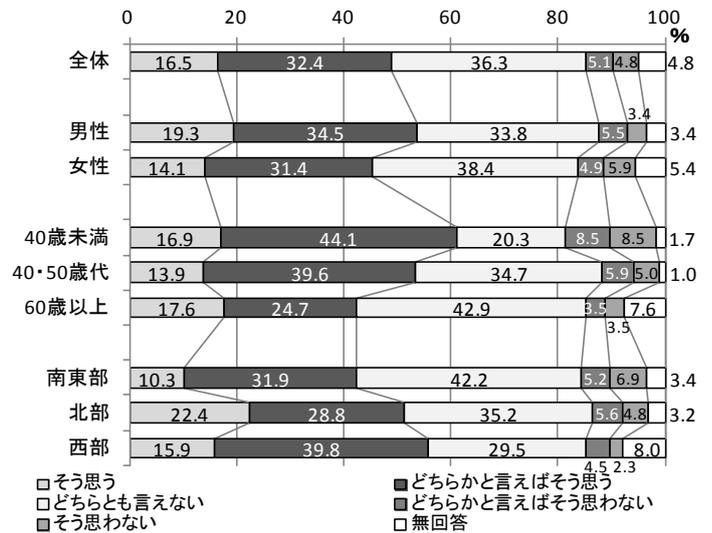
まちづくり指標の達成度

◇国内の他自治体との交流の輪をさらに広げたいと思う市民の割合

<全体>



<属性別>



20. 窓口サービス

◆ 目指す姿 ◆

市役所や市の出先機関等に訪れた市民は、円滑で効率的な職員の接遇により快適に各種市民サービスを受けています。

◆ 施策の方向 ◆

○職員スキルの向上と人材確保

○窓口サービスの充実

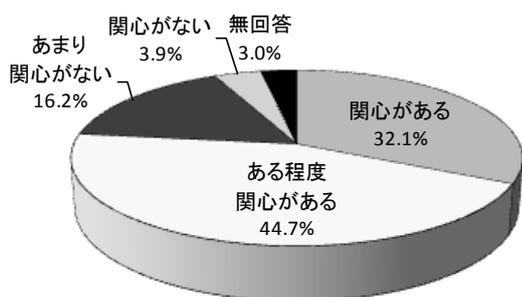
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市が8割弱を占めています。

関心度

◇ 「窓口サービス」への関心の有無

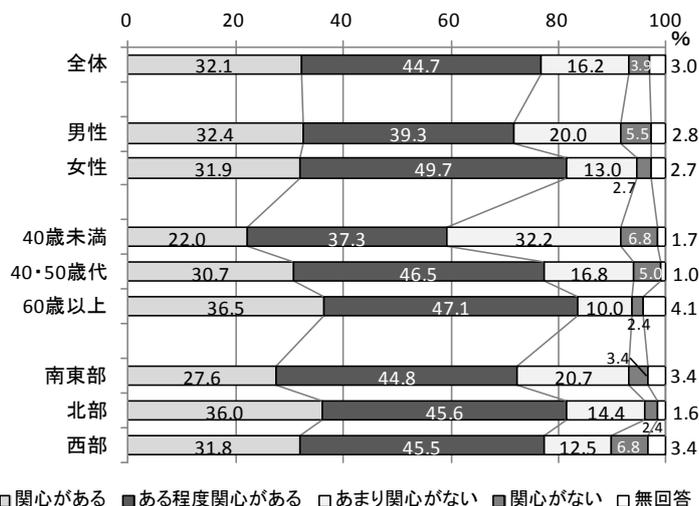
<全体>



「窓口サービス」

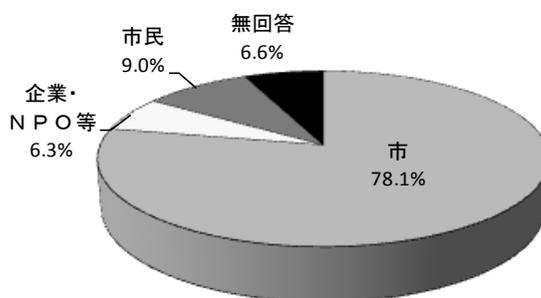
53 施策中 21 位 (76.8%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「窓口サービス」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



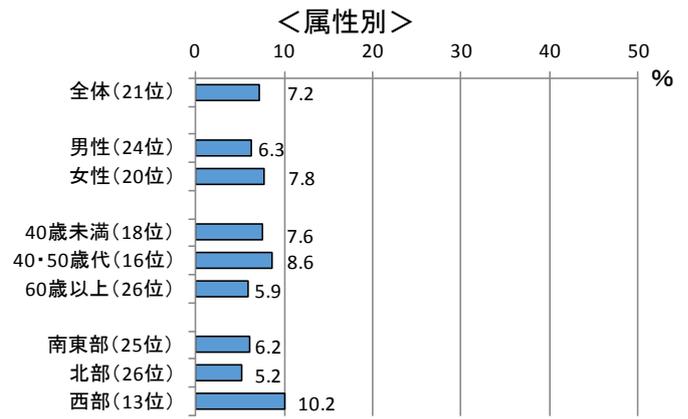
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「窓口サービス」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「窓口サービス」

53 施策中 21 位 (7.2%)



21. 交通安全

◆ 目指す姿 ◆

市民は、市、警察及び関係団体による交通安全対策や道路環境整備等により、交通事故の危険性が低い生活を送っています。

◆ 施策の方向 ◆

○交通安全施設の整備

○路上駐車対策の推進

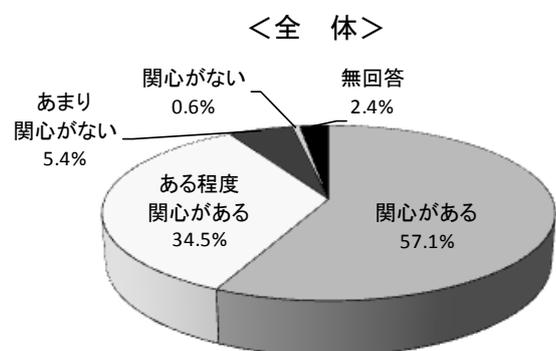
○交通安全教育と啓発

アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市と国・県が4割弱、市民が1割台となっています。

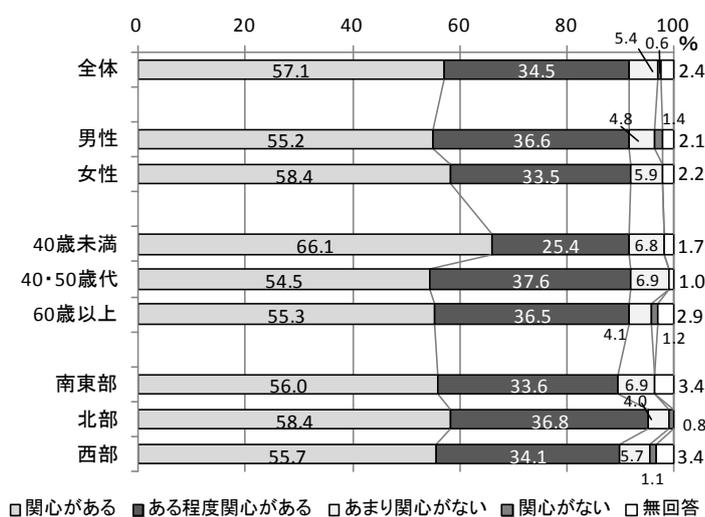
関心度

◇ 「交通安全」への関心の有無



「交通安全」53施策中4位(91.6%)

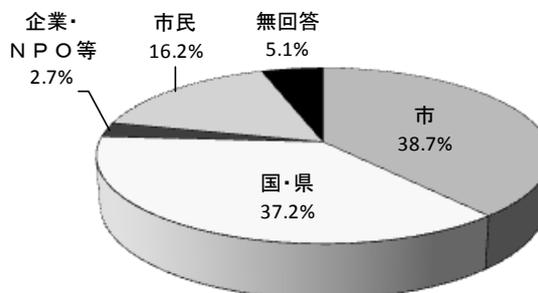
<属性別>



実現するための主体

◇ 「交通安全」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

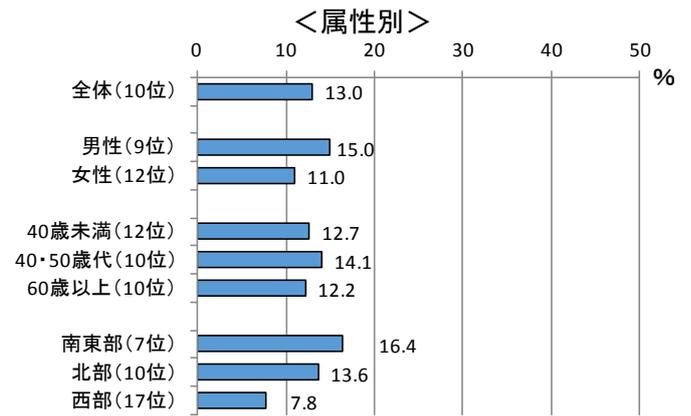


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「交通安全」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「交通安全」53 施策中 10 位 (13.0%)



22. 防犯

◆ 目指す姿 ◆

市民は、市が警察や関係団体と行う防犯活動を理解し、自らも地域の防犯活動に積極的に取り組むことにより、安全に安心して暮らしています。

◆ 施策の方向 ◆

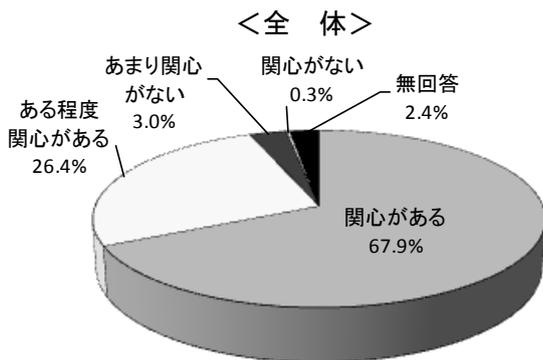
- 市民・警察等との連携
- 防犯活動団体の育成
- 防犯設備の整備
- 犯罪情報等の提供

アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割台、市民が3割弱となっています。
- ・ 4割以上の方が、地域住民による自主パトロールや防犯灯の整備などによって、安心して暮らせるまちになってきていると思っています。

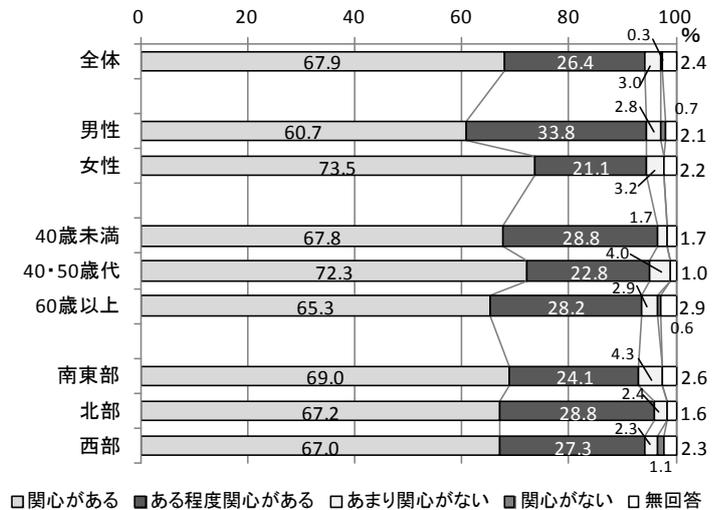
関心度

◇ 「防犯」 への関心の有無



「防犯」53 施策中 1 位 (94.3%)

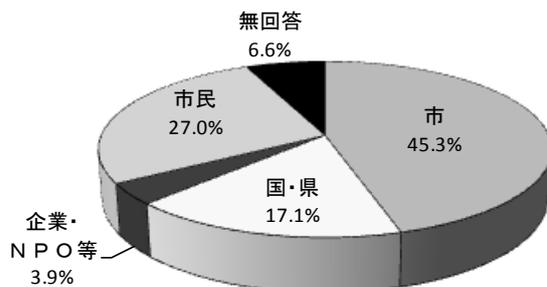
< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「防犯」 の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



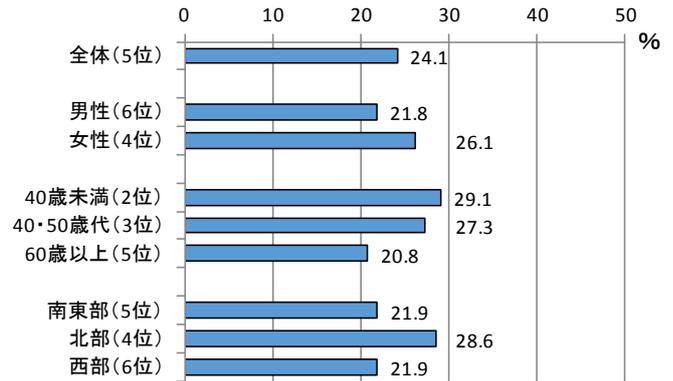
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「防犯」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「防犯」53 施策中 5 位 (24.1%)

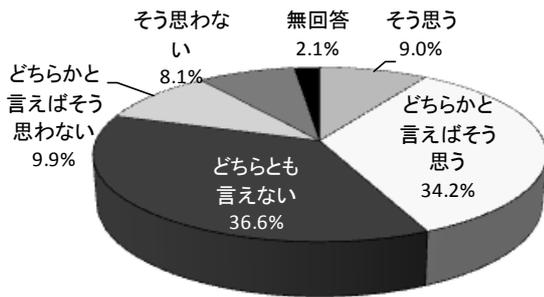
<属性別>



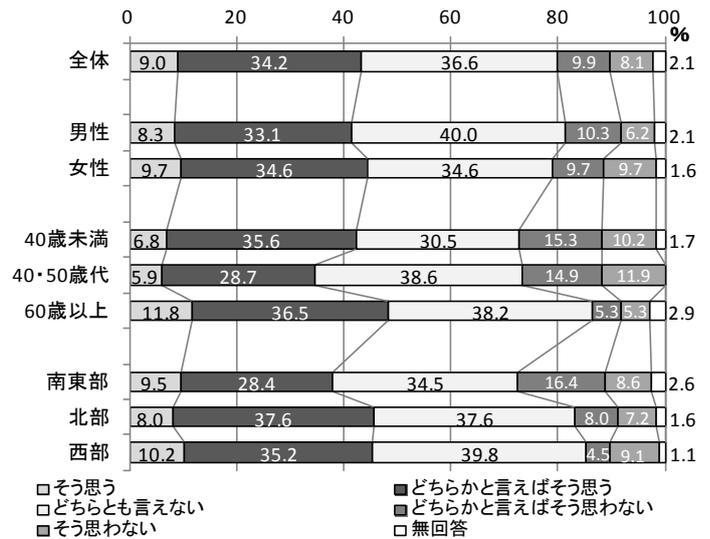
まちづくり指標の達成度

◇地域住民による自主パトロールや防犯灯の整備などによって、安心して暮らせるまちになってきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



23. 危機管理・減災

◆ 目指す姿 ◆

市民は、自らの生命、身体、財産を守るため、家庭では住宅の安全や食料等の確保を行い、地域では自主防災組織に参加し、自ら災害に備えています。突発的に発生する危険に対し、総合的かつ効果的に対応する管理体制、また、緊急時の意思決定過程において迅速な対応を図ることができる体制が整備されています。

◆ 施策の方向 ◆

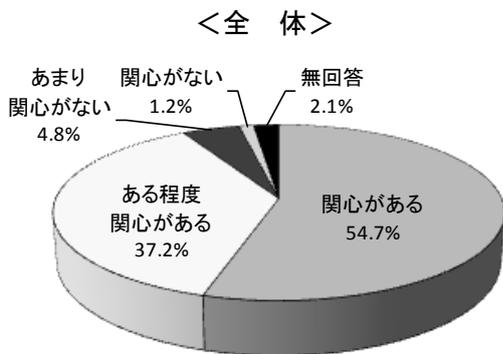
- 各種防災機材等の維持・更新
- 防災体制の整備
- 災害対応等の知識・技術の普及啓発
- 災害情報等の収集・提供

アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割を超え、市民、国・県が2割程度となっています。
- ・ 災害が起きたときに、住民同士が協力し合う体制づくりが進んでいると思う人は、2割台となっています。

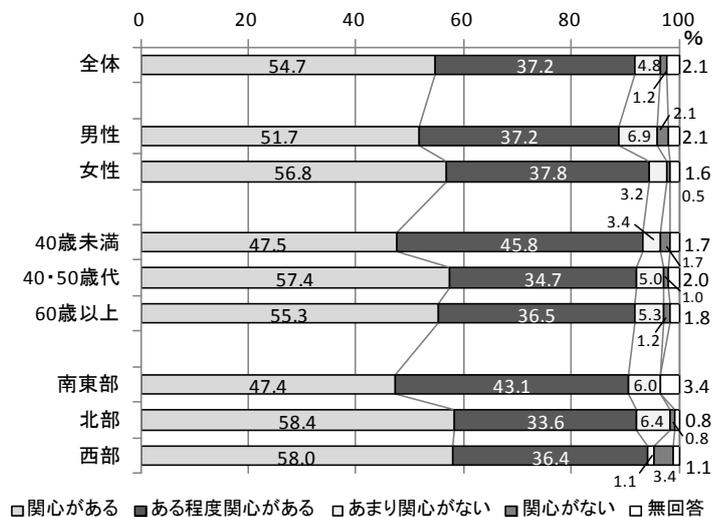
関心度

◇ 「危機管理・減災」への関心の有無



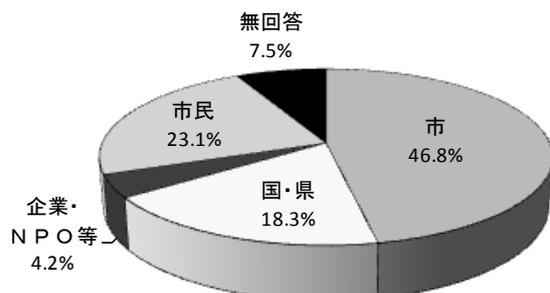
「危機管理・減災」53 施策中 3 位(91.9%)

<属性別>



実現するための主体

- ◇ 「危機管理・減災」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

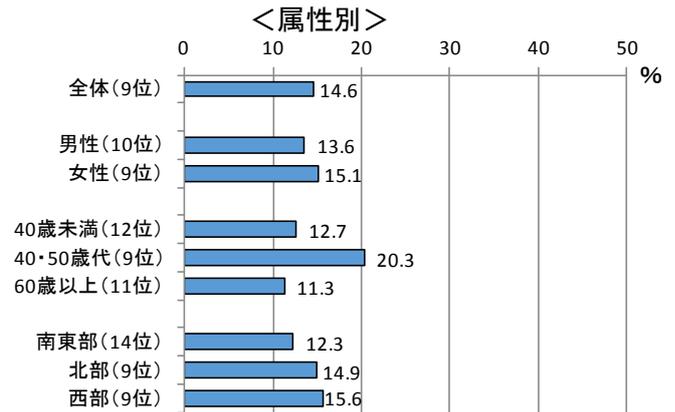


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「危機管理・減災」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

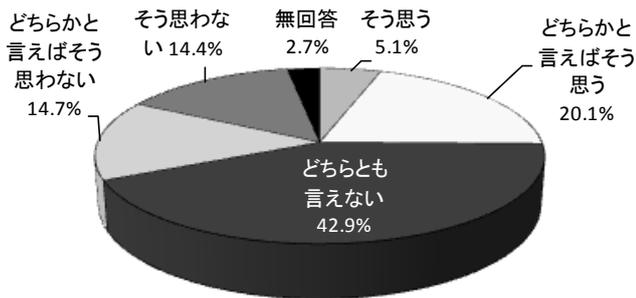
「危機管理・減災」53 施策中 9 位(14.6%)



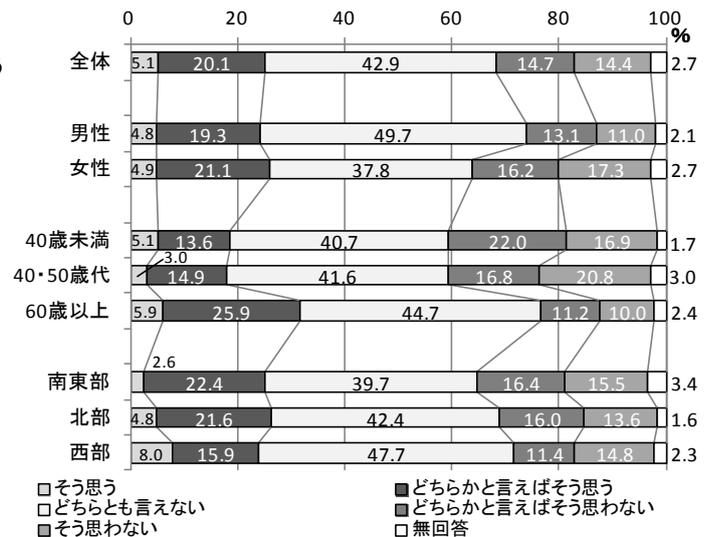
まちづくり指標の達成度

◇災害が起きたときに、自主防災組織をはじめとして住民同士が協力し合う体制づくりが進んできていると思う市民の割合

＜全 体＞



＜属性別＞



24. 消防

◆ 目指す姿 ◆

市民は、自主的な消防訓練を実施していることにより、火災等を未然に防ぐとともに、発生した時でも被害が最小限に抑えられる安心感を持って暮らしています。

市民は、高規格救急車や救急救命士の充実、強化により、的確で迅速な搬送を受けられ、安心感を持って暮らしています。

◆ 施策の方向 ◆

- 消防施設等の整備・充実
- 消防の広域化・共同化
- 職員の資質向上
- 火災予防対策の充実
- 水防対策の推進

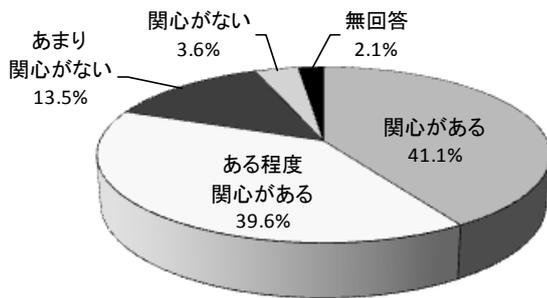
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数を超え、国・県が約2割となっています。

関心度

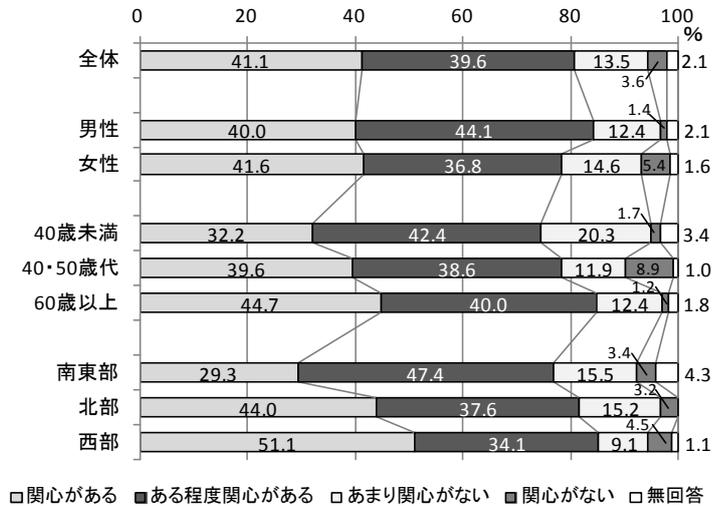
◇ 「消防」 への関心の有無

<全体>



「消防」53 施策中 17 位 (80.7%)

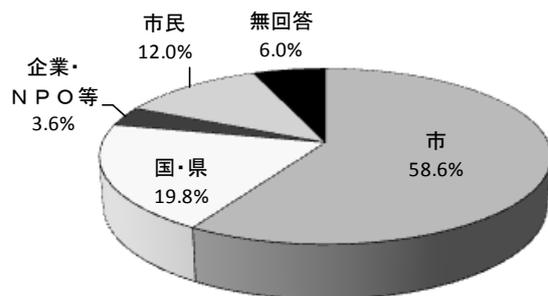
<属性別>



実現するための主体

◇ 「消防」 の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

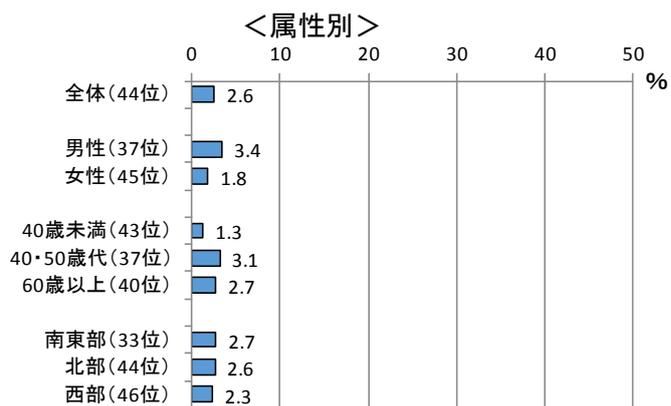


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「消防」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「消防」 53 施策中 44 位 (2.6%)



政策4 のびやかに 豊かな心 はぐくむまち

25. 教育環境

◆ 目指す姿 ◆

小・中学校では、安全で快適な施設環境の下で、児童、生徒が充実した教材を活用し、生き生きとして学習に取り組んでいます。また、各種の就学援助制度により、経済的に安心して就学できる体制が整っています。

◆ 施策の方向 ◆

- 安全・快適な教育施設環境の確保 ○情報機器等の整備 ○多面的な教育振興
- 教育センターの調査研究 ○教育委員会の運営

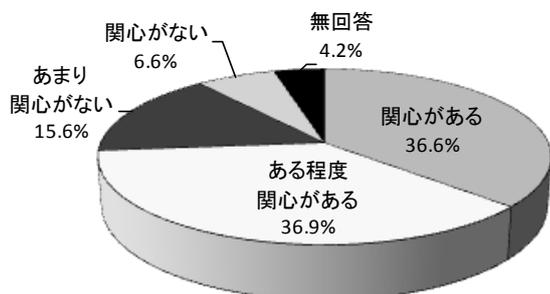
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割強、国・県が4割弱となっています。

関心度

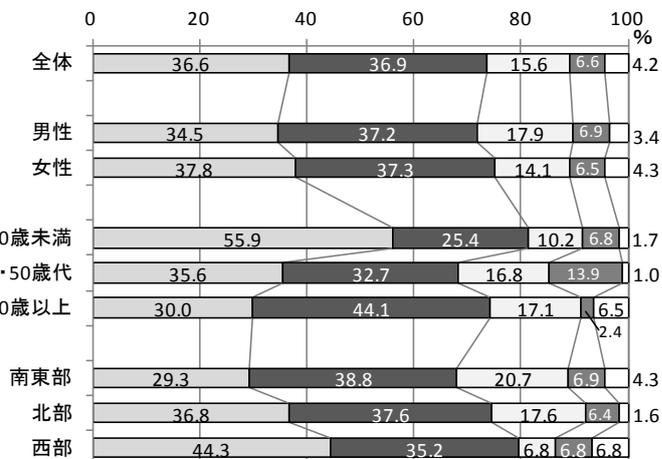
◇ 「教育環境」への関心の有無

<全体>



「教育環境」53 施策中 26 位 (73.5%)

<属性別>

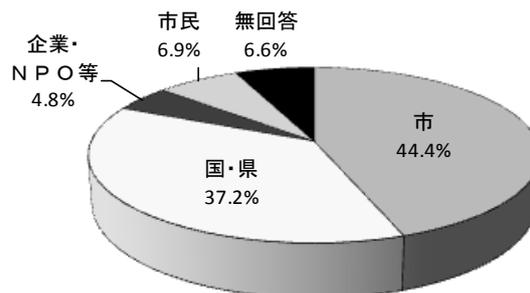


□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇ 「教育環境」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

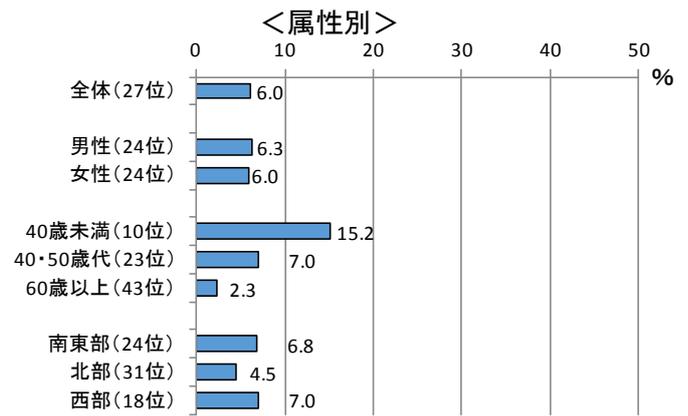


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「教育環境」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「教育環境」53 施策中 27 位 (6.0%)



26. 学校保健

◆ 目指す姿 ◆

子どもたちは、各種健康診断の実施や安全、安心で栄養バランスの取れたおいしい給食を食べることにより、健康保持、健康増進が図られ、衛生的な環境の下、心身ともに健康な学校生活を送っています。

◆ 施策の方向 ◆

- 健康管理の実施
- 環境衛生の維持・改善
- 給食の施設・設備の充実
- 教職員の福利厚生事業の支援
- 保護者の経済的負担軽減

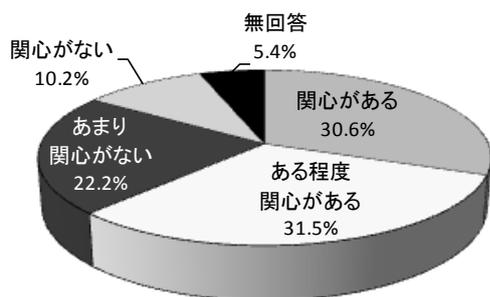
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市が5割弱、国・県が3割台となっています。

関心度

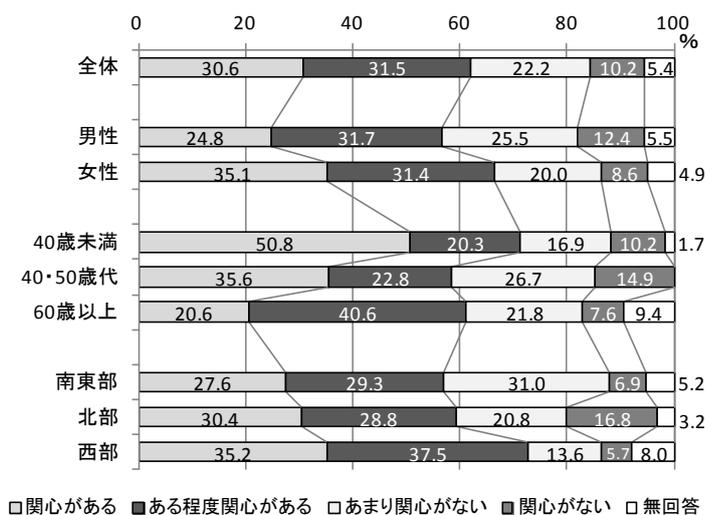
◇ 「学校保健」への関心の有無

<全体>



「学校保健」53 施策中 38 位 (62.1%)

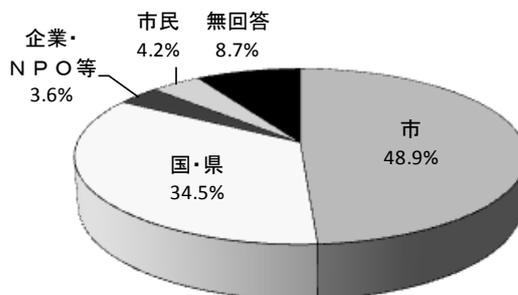
<属性別>



実現するための主体

◇ 「学校保健」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

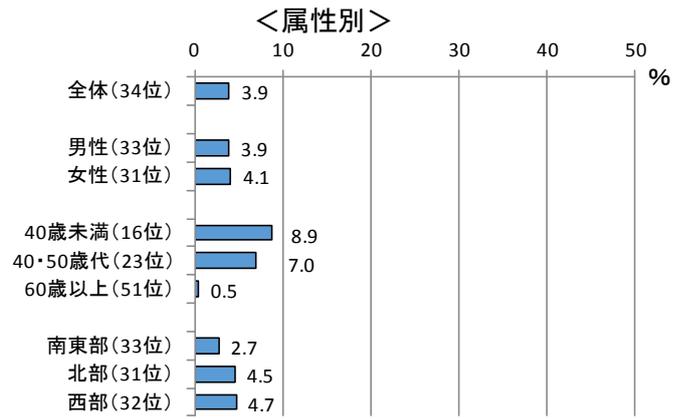


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「学校保健」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「学校保健」53 施策中 34 位 (3.9%)



27. 教育活動

◆ 目指す姿 ◆

子どもたちは、家庭・学校・地域の中で各々の個性を尊重し、ともに学び合うことを通して一人ひとりが豊かな心をはぐくみ、生きる力を培い、明るく元気な生活を送っています。

◆ 施策の方向 ◆

- 教育指導の計画的実施 ○地域連携による学校づくり ○児童生徒に適した指導・支援
- 情報化・国際化教育の推進 ○調査研究や研修講座の充実 ○教育相談体制の充実

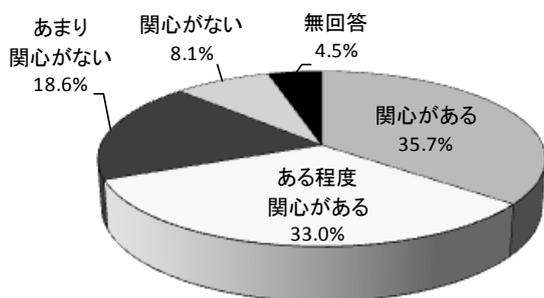
アンケート結果の概要

- ・施策の実現に最も重要とされる主体は、市が3割強、国・県が3割弱、市民（家族・地域を含む）が2割強となっています。
- ・社会の変化に対応した教育が進められてきていると思う人は2割弱となっています。

関心度

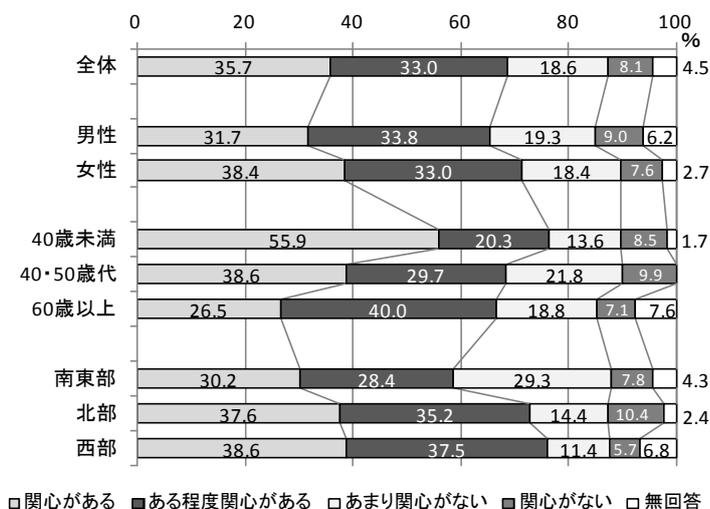
◇ 「教育活動」 への関心の有無

< 全 体 >



「教育活動」 53 施策中 31 位 (68.7%)

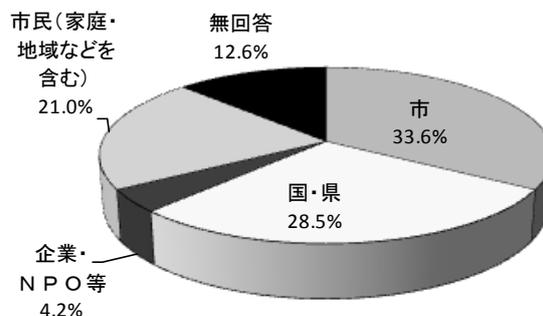
< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「教育活動」 の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

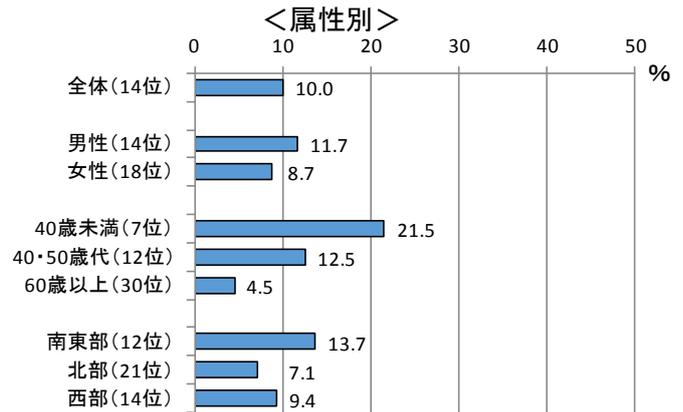


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「教育活動」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

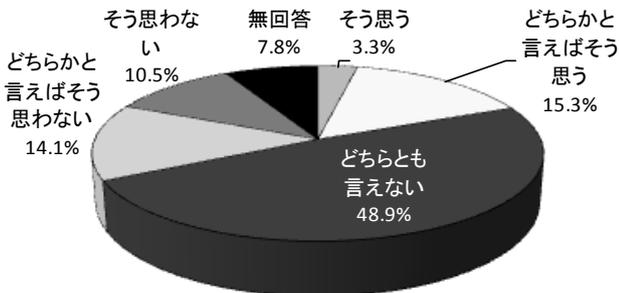
「教育活動」53 施策中 14 位 (10.0%)



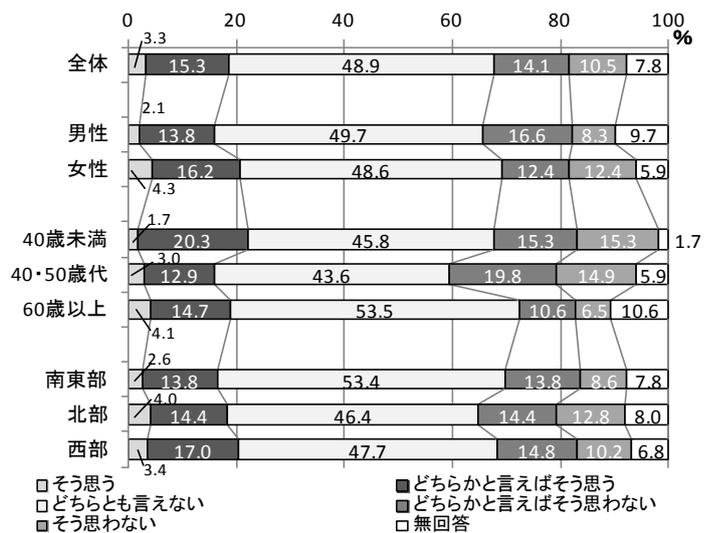
まちづくり指標の達成度

◇情報化社会、国際化社会など社会の変化に対応した教育が進められてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



28. 生涯学習

◆ 目指す姿 ◆

市民は、自ら関心のある生涯学習や社会の要請にこたえた学習に積極的に取り組み、その成果を生かした豊かな生活を送っています。

◆ 施策の方向 ◆

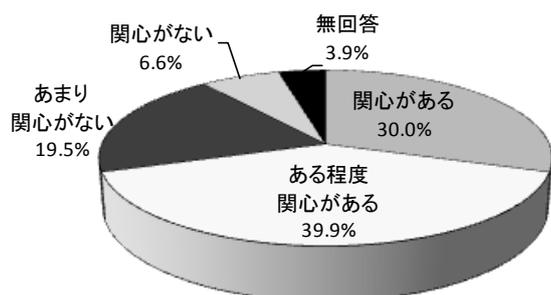
- 学習機会と拠点施設の充実 ○学習環境の整備 ○市民自主企画講座の支援
- 生涯学習活動指導者の養成 ○生涯学習施設運営への市民参加推進

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が5割強と半数以上を占めています。
- ・ 生涯学習の環境が整備されてきていると思う人は約2割となっています。

関心度

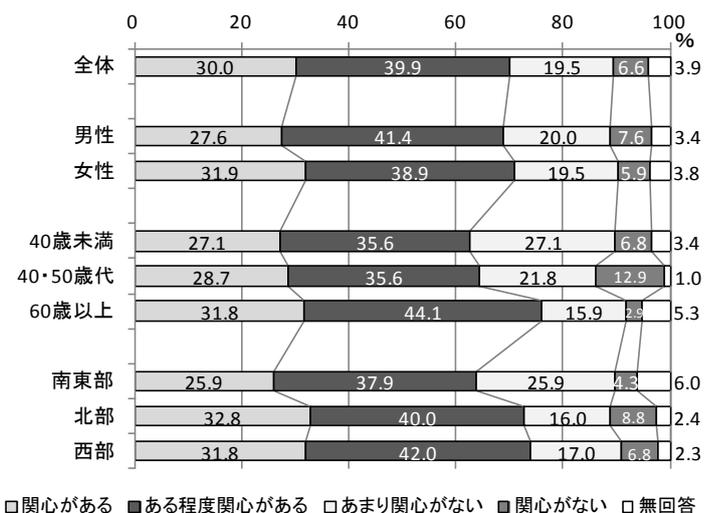
◇ 「生涯学習」への関心の有無

<全体>



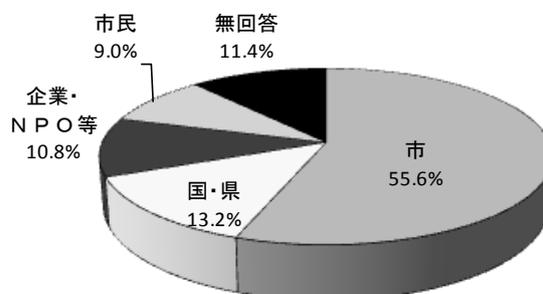
「生涯学習」53 施策中 29 位 (69.9%)

<属性別>



実現するための主体

- ◇ 「生涯学習」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

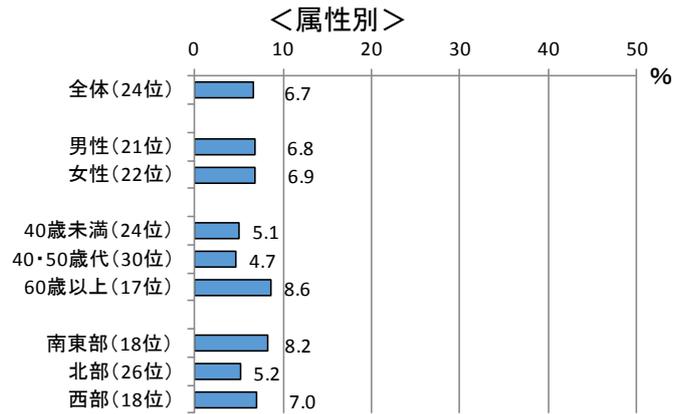


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「生涯学習」
を選んだ市民の割合

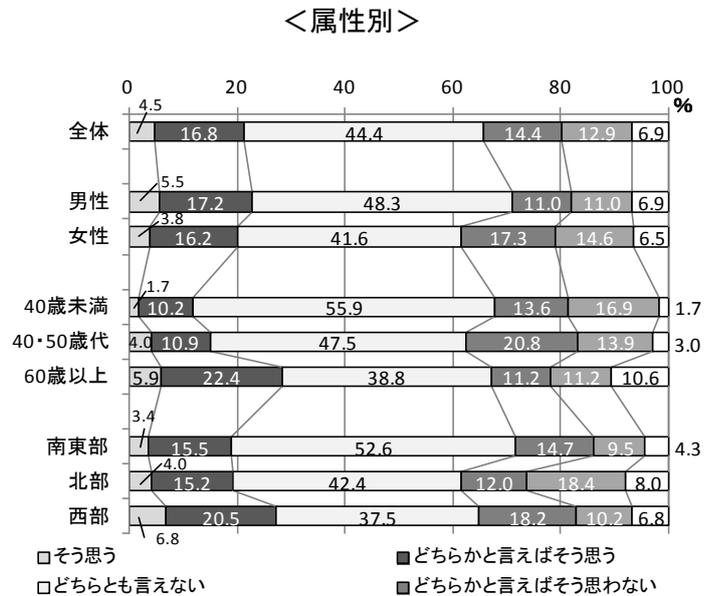
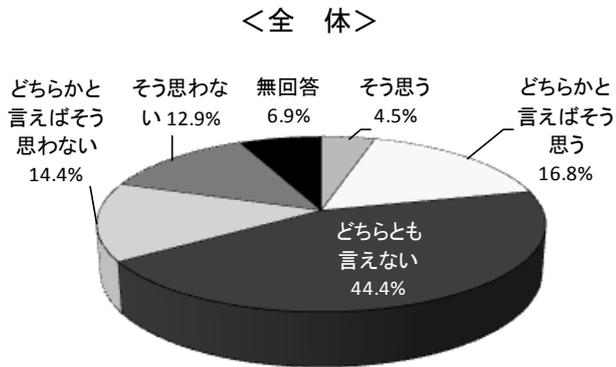
※53 の施策から 5 つまで選択

「生涯学習」53 施策中 24 位 (6.7%)



まちづくり指標の達成度

◇「いつでも、どこでも、だれでも学べる」という生涯学習の環境が整備されてきていると思う市民の割合



29. 市民文化

◆ 目指す姿 ◆

市民は、芸術文化を親しみ豊かな生活を営むとともに、地域の歴史や文化財への関心を高め、次世代に伝える活動に取り組んでいます。

◆ 施策の方向 ◆

- 文化施設の整備・維持管理及び運営
- 市民の文化活動支援
- 歴史・伝統文化の保存と継承

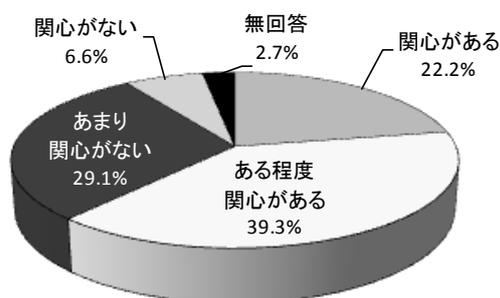
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が5割台、市民が2割台となっています。
- ・ 2割弱の人が、何らかの芸術文化活動を行っていると回答しています
- ・ 歴史・伝統文化が保存・継承されてきていると思う人は8割近くに達しています。

関心度

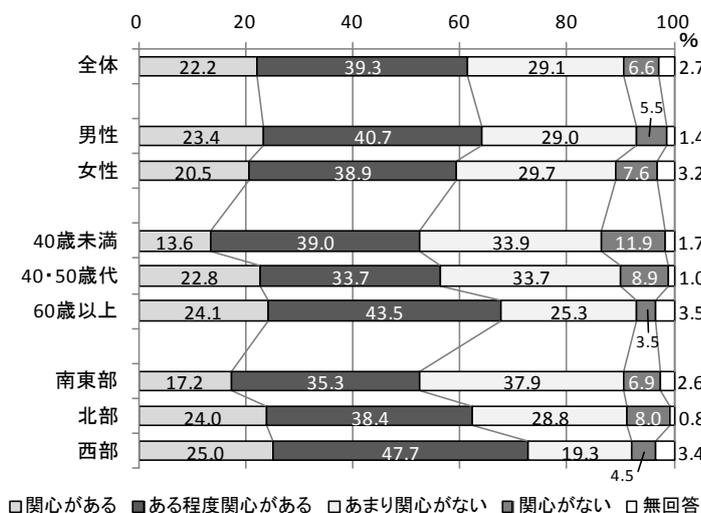
◇ 「市民文化」への関心の有無

<全体>



「市民文化」53 施策中 39 位 (61.5%)

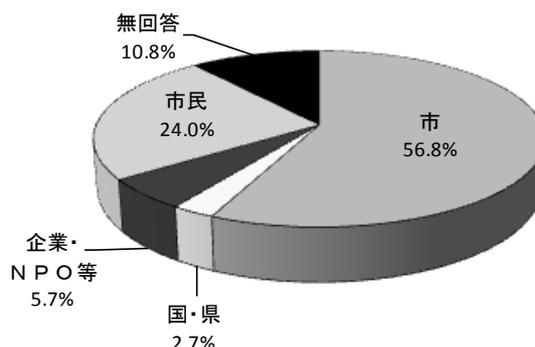
<属性別>



実現するための主体

◇ 「市民文化」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

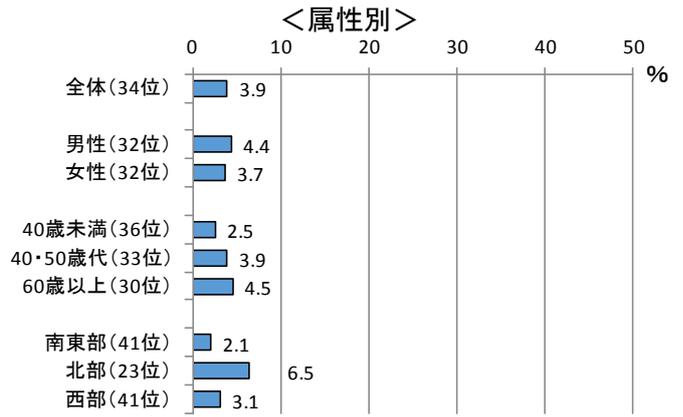


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「市民文化」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

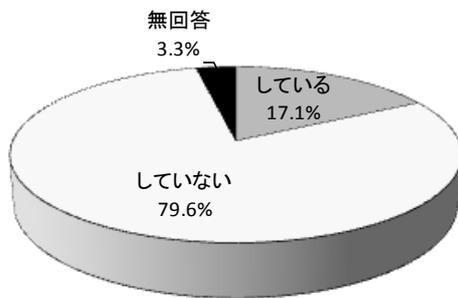
「市民文化」53 施策中 34 位 (3.9%)



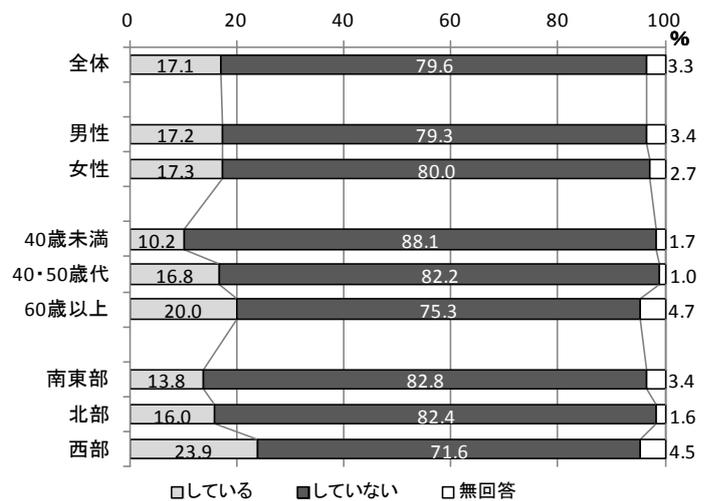
まちづくり指標の達成度

◇何らかの芸術文化活動を行っている市民の割合

<全 体>

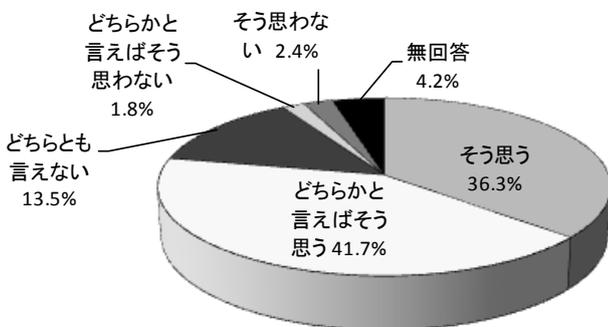


<属性別>

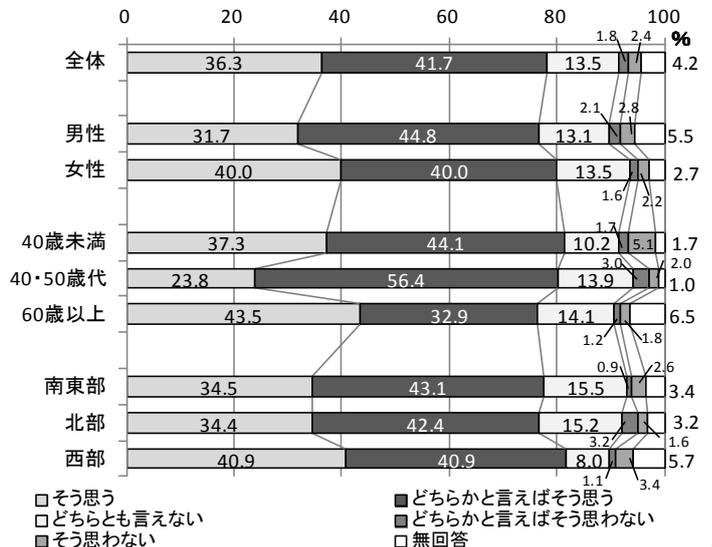


◇「大風揚げ」など歴史・伝統文化が保存・継承されてきていると思う市民の割合

<全 体>



<属性別>



30. 青少年育成

◆ 目指す姿 ◆

本市の青少年は、学校生活やスポーツ、文化活動を通じ、めまぐるしく変化する社会情勢にも対応して、夢や希望を抱いて積極的な社会生活を送ることのできる自立した大人になるよう成長しています。

◆ 施策の方向 ◆

- 青少年施設の充実
- ボランティアの育成等の支援
- 青少年健全育成諸団体との連携
- 青少年相談業務の充実
- 青少年の健全化活動

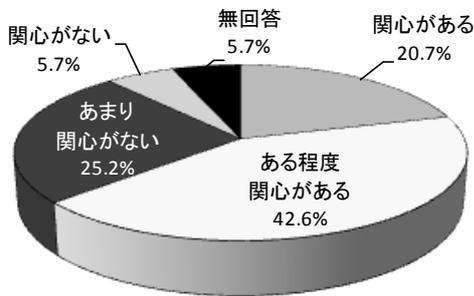
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割台、市民が2割弱となっています。
- ・ 過去1年間に青少年育成活動にかかわったことのない人が9割近くを占めています。
- ・ ボランティア活動などを通じた青少年の社会参加が増えてきていると思う人は1割台です。

関心度

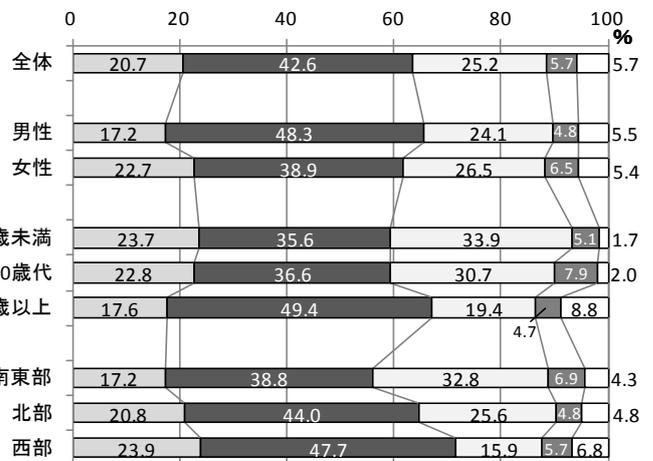
◇ 「青少年育成」への関心の有無

<全体>



「青少年育成」53 施策中 36 位 (63.3%)

<属性別>

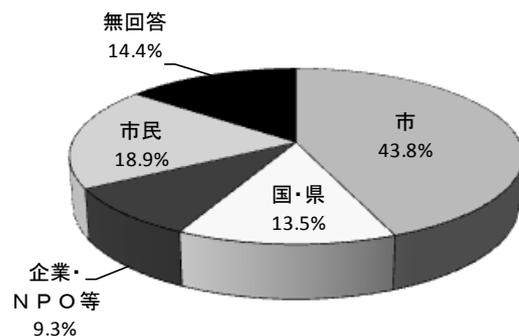


□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇ 「青少年育成」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



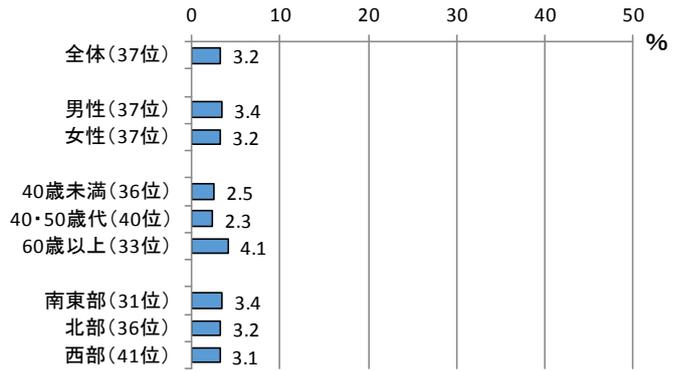
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「青少年育成」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「青少年育成」53 施策中 37 位 (3.2%)

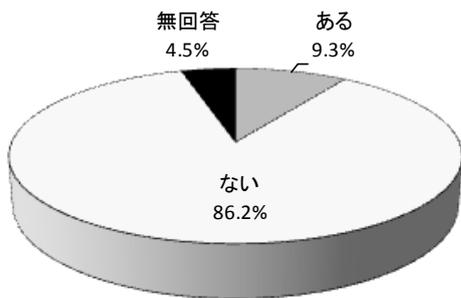
<属性別>



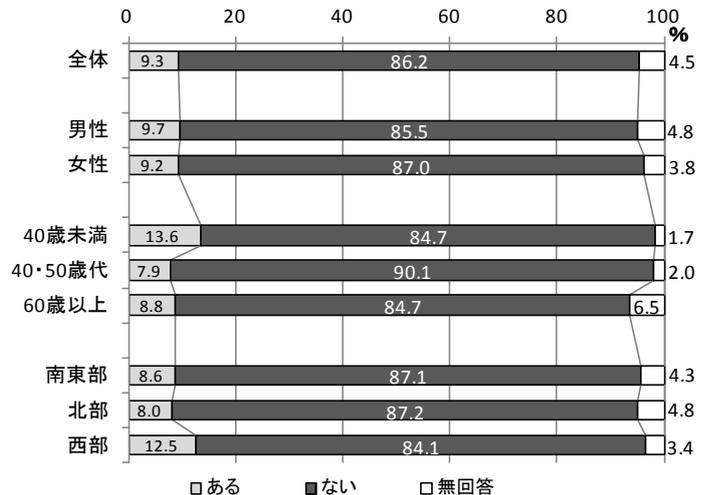
まちづくり指標の達成度

◇過去 1 年間に何らかの青少年育成活動にかかわったことのある市民の割合

<全体>

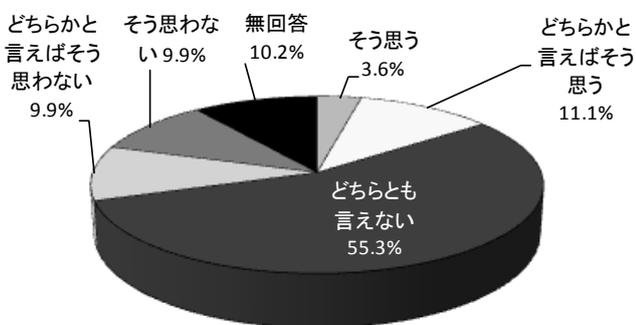


<属性別>

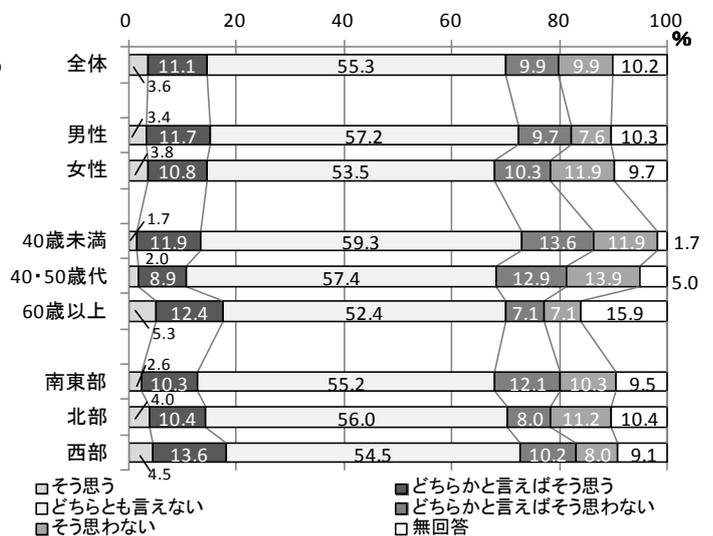


◇ボランティア活動などを通じた青少年の社会参加が増えてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



政策5 暮らし快適 魅力あるまち

31. 公共交通

◆ 目指す姿 ◆

市民が自家用車利用から公共交通へと交通手段を変更することで地域環境負荷の低減が進むとともに、高齢者をはじめ自家用車の運転が困難な市民も市内を円滑に移動できるまちになっています。

◆ 施策の方向 ◆

○輸送力強化の促進

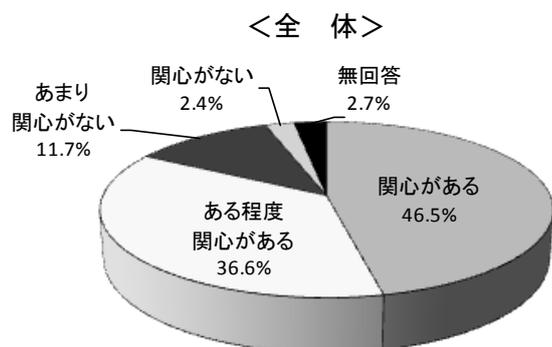
○総合交通体系の整備

アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割弱を占め、国・県、企業・NPO等が1割台となっています。
- ・ 半数以上の人々が、公共交通機関が発達し、市内、市外への移動が便利になってきていると思っています。

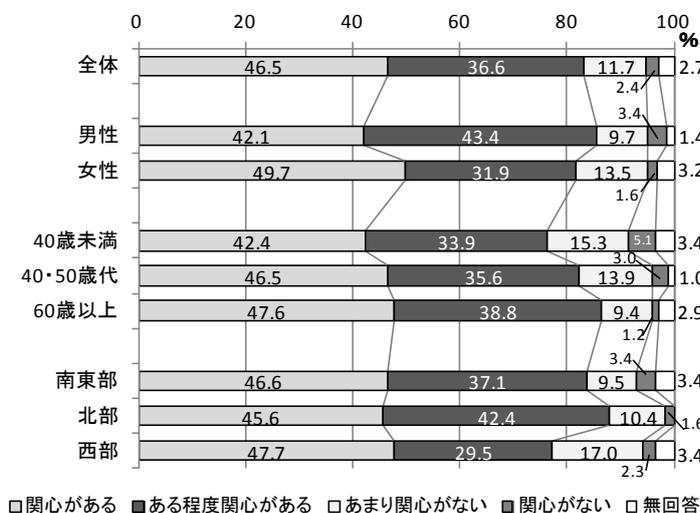
関心度

◇ 「公共交通」への関心の有無



「公共交通」53 施策中 10 位 (83.1%)

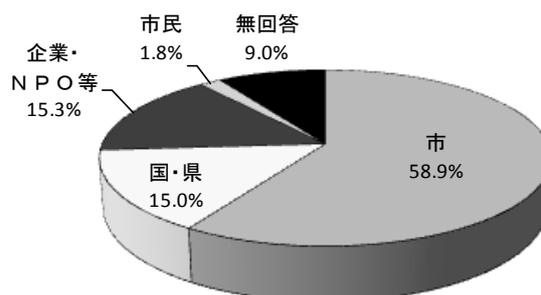
<属性別>



実現するための主体

◇ 「公共交通」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



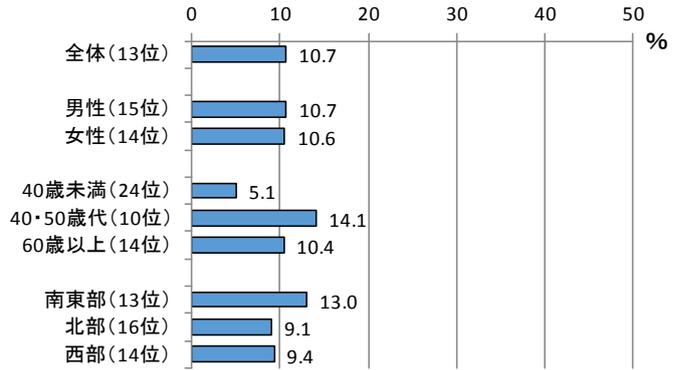
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「公共交通」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「公共交通」53 施策中 13 位 (10.7%)

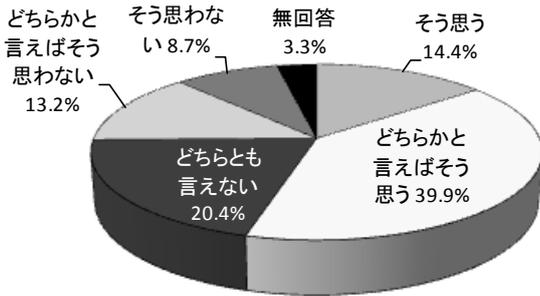
<属性別>



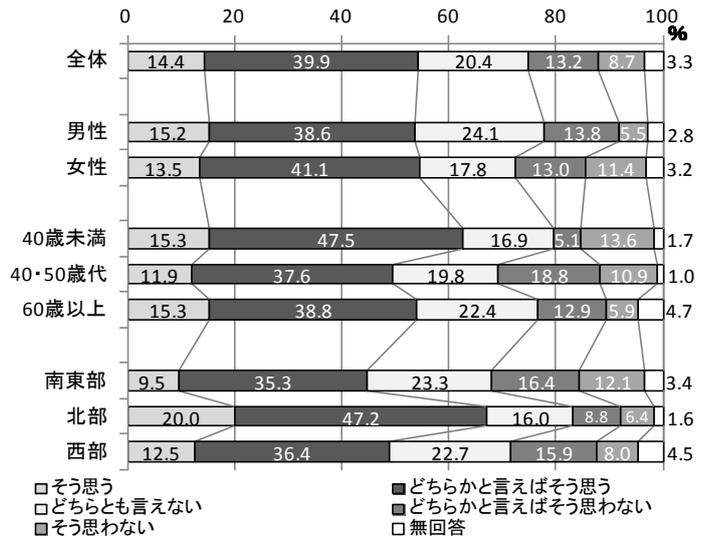
まちづくり指標の達成度

◇コミュニティバス、民間バス、そして鉄道などの公共交通機関が発達し、市内、市外への移動が便利になってきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



32. まちづくり

◆ 目指す姿 ◆

座間市内の駅周辺は、市民や来訪者にとって魅力ある地域拠点として機能しています。

また、市民、事業者相互の認識が深まり、市民の住環境、工場の事業環境などが適切に維持されています。

◆ 施策の方向 ◆

- 土地利用の規制・誘導 ○住居表示の推進 ○地域のまちづくりの推進
- 鉄道による市域分断解消 ○地域拠点計画づくりの推進
- 座間西部地域土地利用方針の具体化 ○栗原東部地域土地利用方針の策定

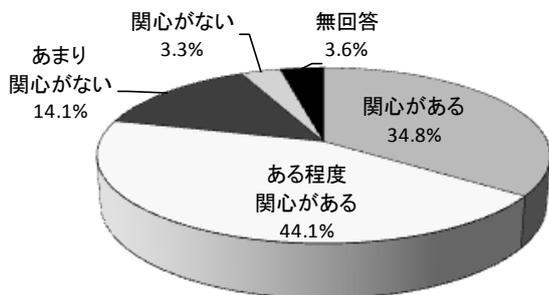
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が7割以上を占めています。
- ・ 3割強の人が自然・歴史・文化を身近に感じるまちづくりが進められてきていると回答しています。

関心度

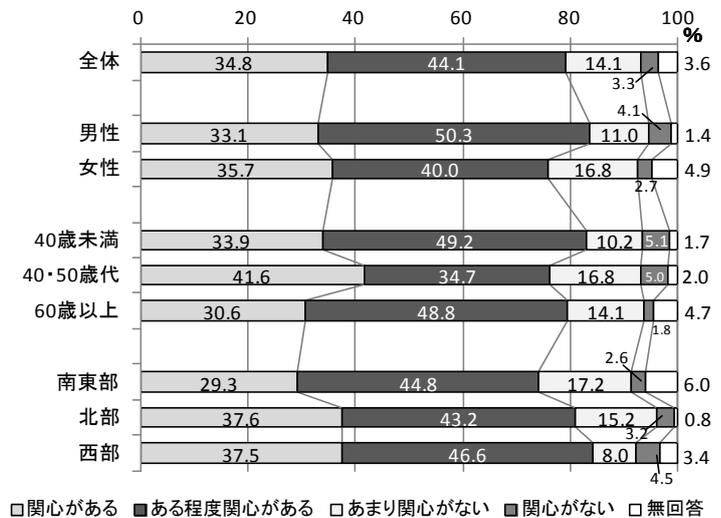
◇ 「まちづくり」への関心の有無

< 全体 >



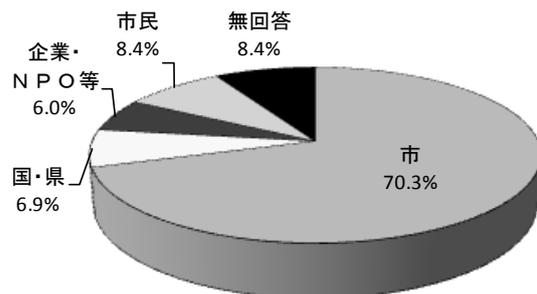
「まちづくり」53 施策中 19 位 (78.9%)

< 属性別 >



実現するための主体

- ◇ 「まちづくり」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

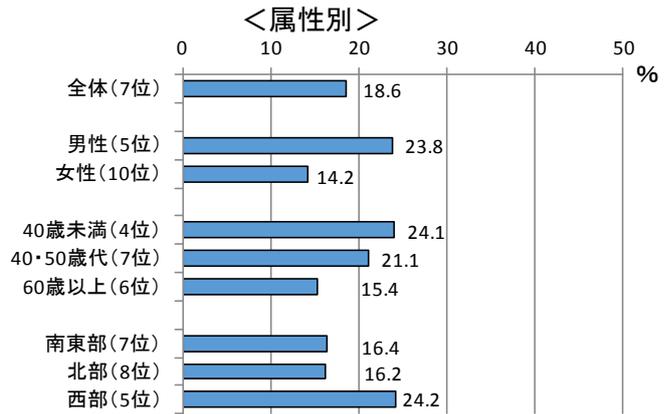


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「まちづくり」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「まちづくり」53 施策中 7 位 (18.6%)

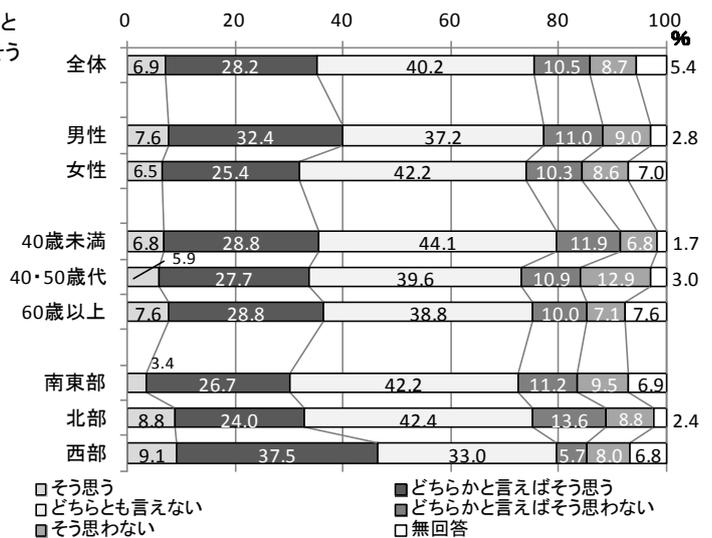
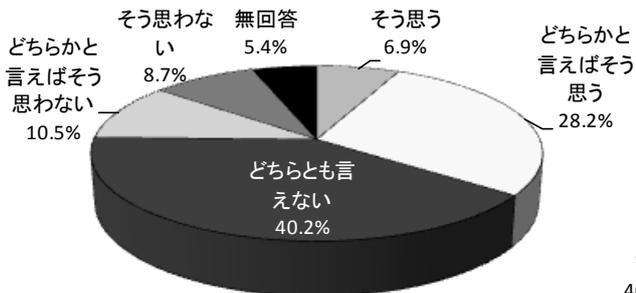


まちづくり指標の達成度

◇自然・歴史・文化を身近に感じるまちづくりが進められてきていると思う市民の割合

＜全 体＞

＜属性別＞



33. 景観形成

◆ 目指す姿 ◆

市民は、計画的に保全・育成された心に残る座間市らしい景観の中で、心地よく暮らしています。

◆ 施策の方向 ◆

○ 景観特性を生かしたまちづくり

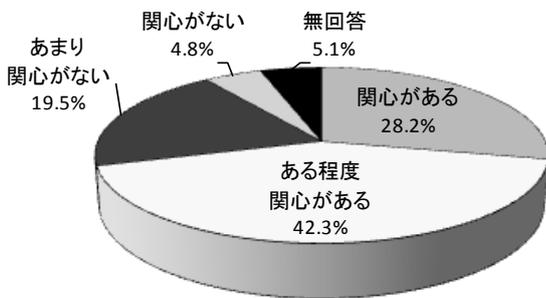
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市が半数以上を占めています。

関心度

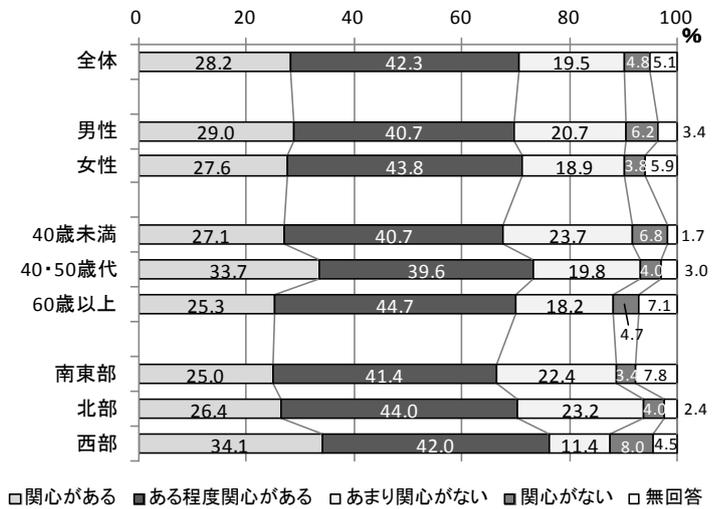
◇ 「景観形成」への関心の有無

<全体>



「景観形成」53 施策中 28 位 (70.5%)

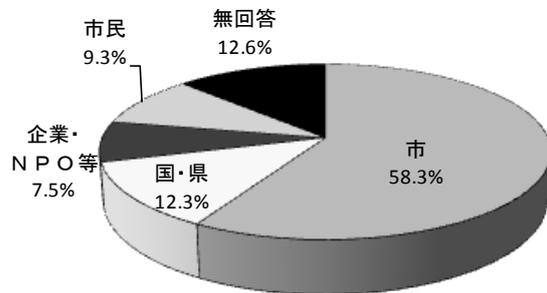
<属性別>



実現するための主体

◇ 「景観形成」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

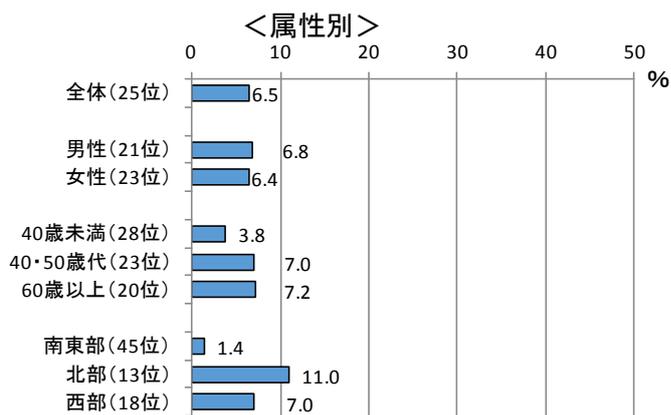


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「景観形成」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「景観形成」53 施策中 25 位 (6.5%)



34. 公園・広場・緑地

◆ 目指す姿 ◆

市民は、市内の公園、広場、緑地、水辺等において、集い、憩い、それぞれに適した活用を行い、健やかに暮らしています。また、自らも清掃やせん定などに積極的に取り組むなど、公園等が快適に維持管理されています。

◆ 施策の方向 ◆

- 公園・広場等の整備
- 協働による維持管理
- 緑地・樹木地等の確保と保全
- 緑化意識の高揚

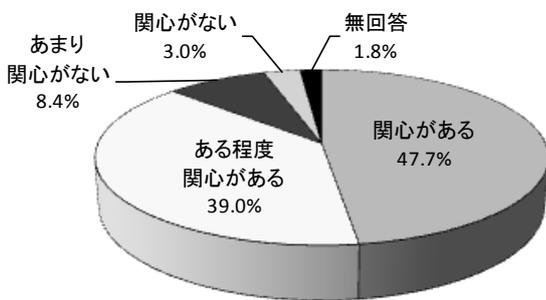
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割以上を占めています。
- ・ 地域で公園・広場が整備され、憩いの場となってきたと思う人は6割弱となっています。
- ・ 緑が保全され、緑化意識が高まってきていると思う人は5割を超えています。

関心度

◇ 「公園・広場・緑地」への関心の有無

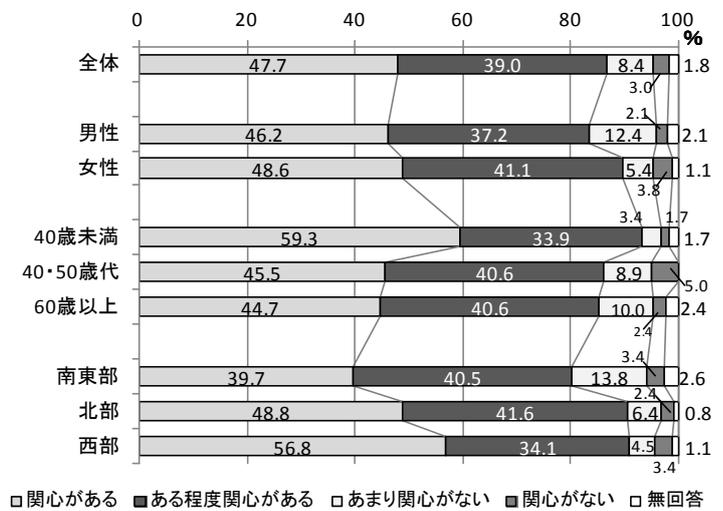
<全体>



「公園・広場・緑地」

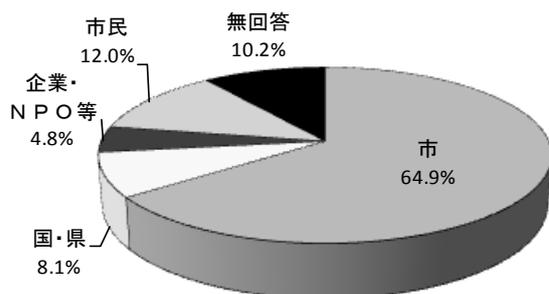
53 施策中 6 位 (86.7%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「公園・広場・緑地」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

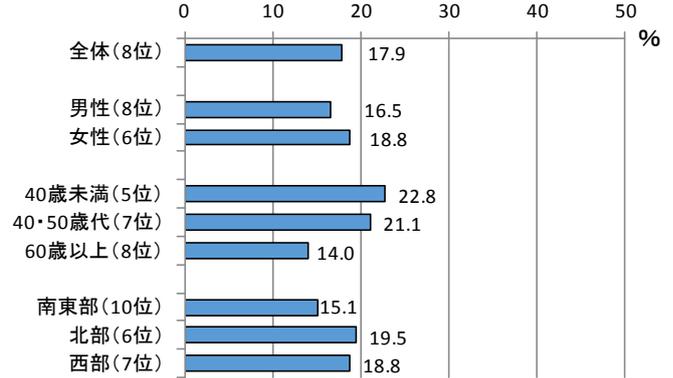
◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「公園・広場・緑地」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

「公園・広場・緑地」

53 施策中 8 位 (17.9%)

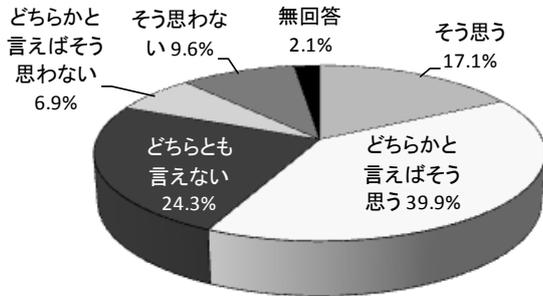
<属性別>



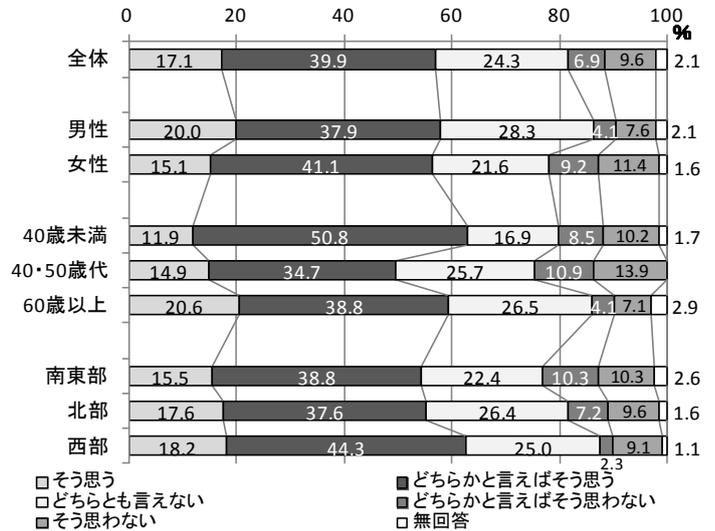
まちづくり指標の達成度

◇地域において、公園・広場が整備され、憩いの場となってきたと思う市民の割合

<全体>

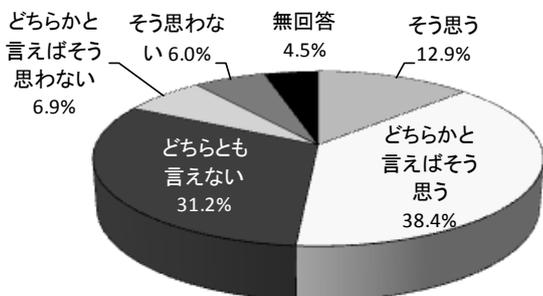


<属性別>

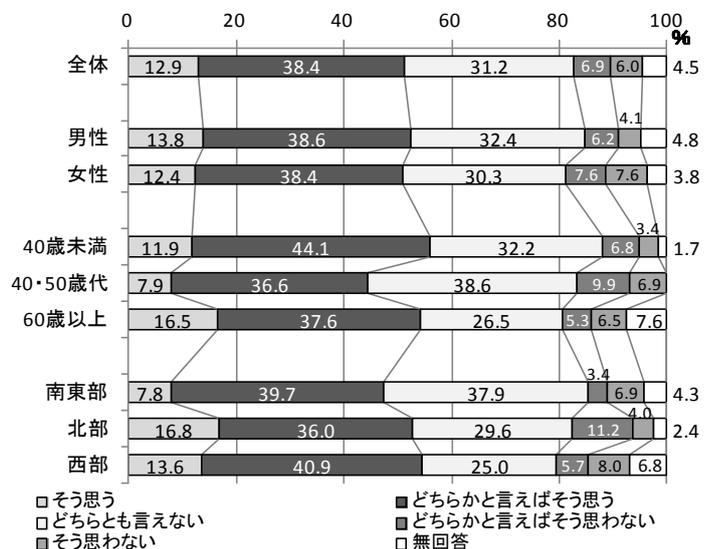


◇緑地の保全や「緑化祭り」の開催などにより、緑が保全され、緑化意識が高まってきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



35. 道路

◆ 目指す姿 ◆

市民は、日々の暮らしの中で利便性の高い快適な道路を使用しているとともに、それらは災害時にも道路としての機能を果たしています。

◆ 施策の方向 ◆

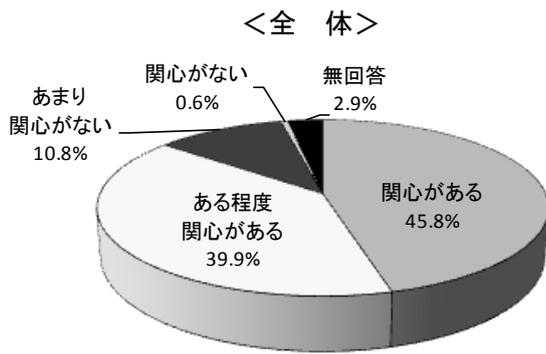
- 都市計画道路の整備 ○道路等の整備・維持管理 ○狭あい道路の解消
- うるおいのある道路空間創出 ○橋りょうの長寿命化対策
- 景観等に配慮した橋りょう整備

アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が過半数を占め、国・県が約3割となっています。
- ・ 安全、快適な道路になってきていると思う人は約3割となっています。

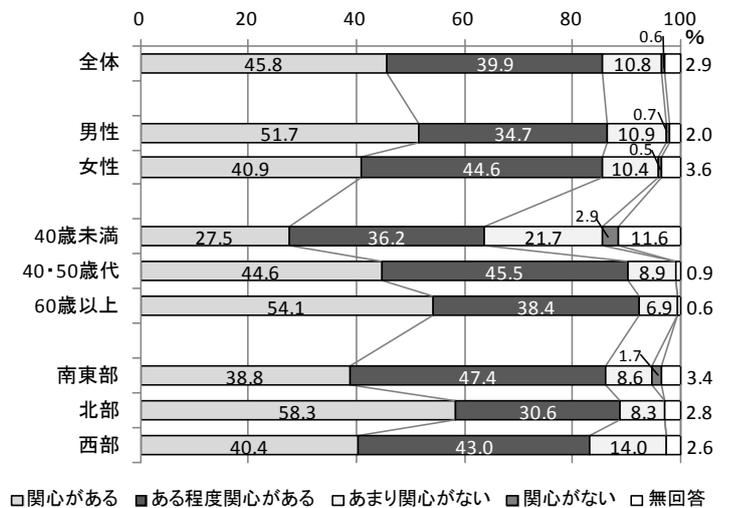
関心度

◇ 「道路」 への関心の有無



「道路」53 施策中 7 位 (85.7%)

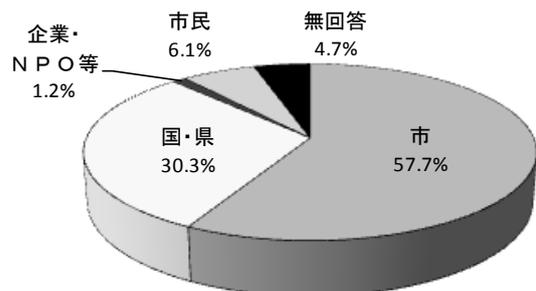
< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「道路」 の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



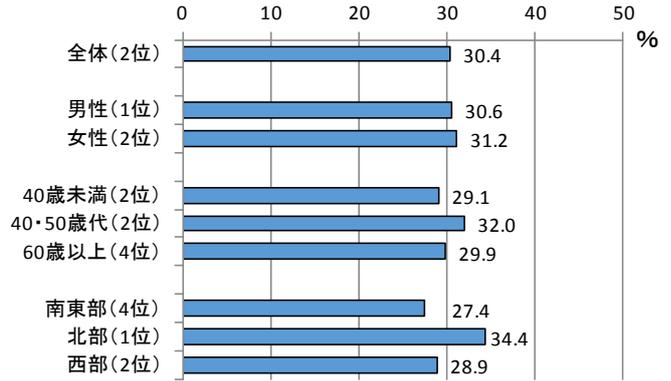
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「道路」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「道路」53 施策中 2 位 (30.4%)

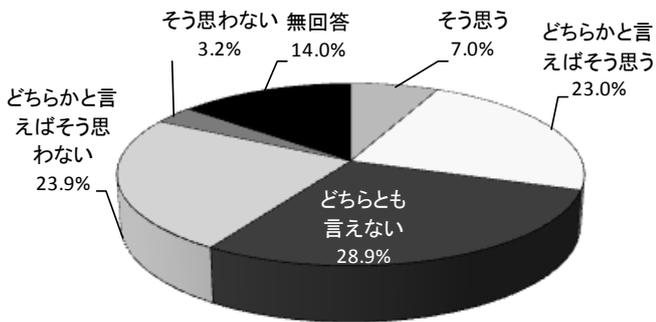
<属性別>



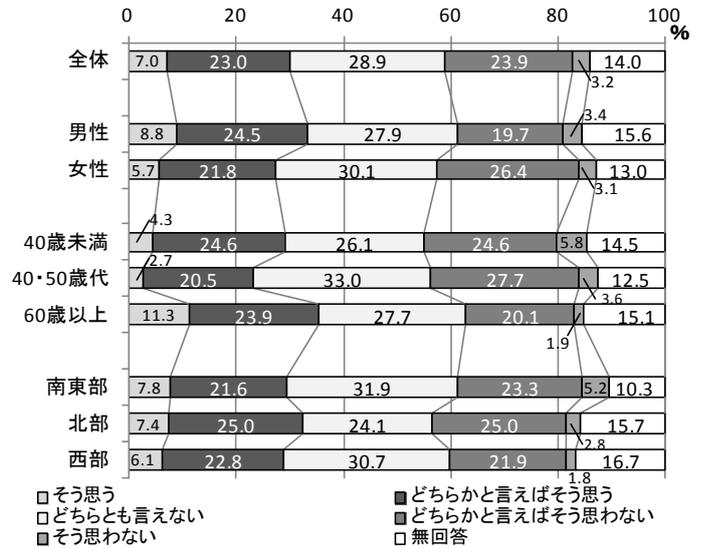
まちづくり指標の達成度

◇安全、快適な道路になってきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



そう思う
 どちらとも言えない
 そう思わない
 どちらかと言えばそう思う
 どちらかと言えばそう思わない
 無回答

36. 住宅環境

◆ 目指す姿 ◆

市民は、市有建築物をはじめ市内の建築物の安全性や快適な環境の確保により、安心して生活を営んでいます。

◆ 施策の方向 ◆

- 耐震診断・改修の普及啓発 ○建築指導の推進 ○市営住宅の居住環境確保
- 急斜面地パトロール事業の推進 ○営繕業務の事務効率化

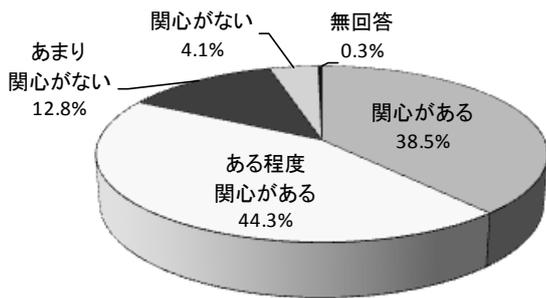
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市が5割以上を占め、国・県が2割台となっています。

関心度

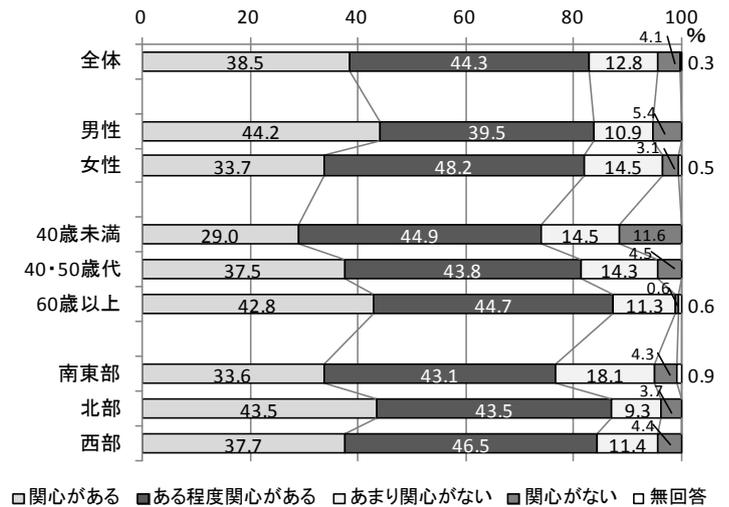
◇ 「住宅環境」 への関心の有無

< 全 体 >



「住宅環境」53 施策中 11 位 (82.8%)

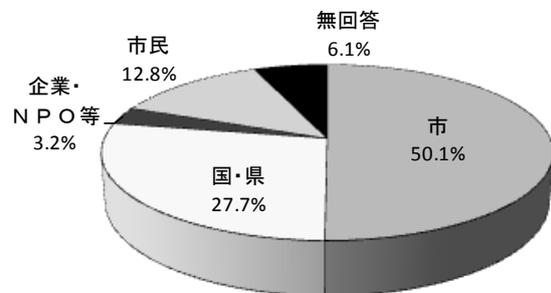
< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「住宅環境」 の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

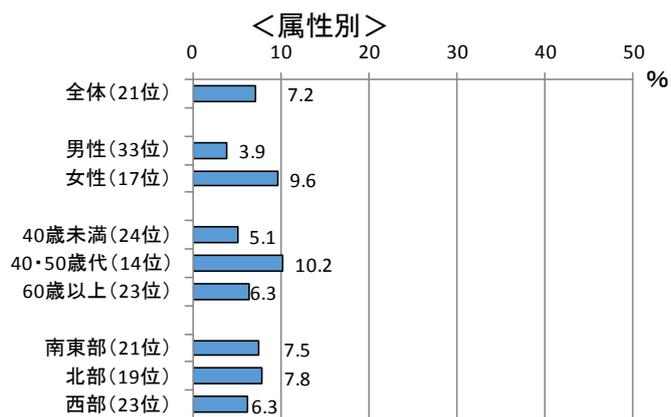


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「住宅環境」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「住宅環境」53 施策中 21 位 (7.2%)



37. 基地対策

◆ 目指す姿 ◆

キャンプ座間が存在することによる様々な負担が軽減され、部分返還された土地は、市民のために有効利用されています。また、厚木基地の航空機騒音の解消が図られ、市民は、不安のない静かな環境で暮らしています。

◆ 施策の方向 ◆

- 返還に関する取組
- 返還土地の有効利用検討
- 負担軽減策等の履行要請
- 基地周辺対策の充実強化

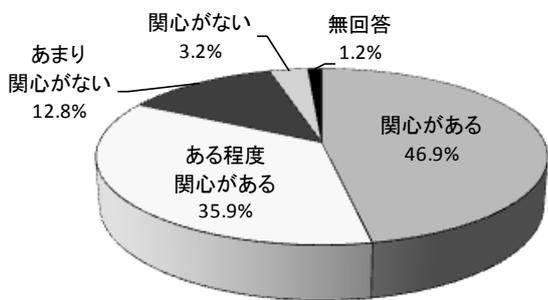
アンケート結果の概要

- ・施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が全体の4分の3を超えています。
- ・キャンプ座間の負担軽減への取組が十分に行われてきていると思う人は3割程度となっています。
- ・厚木基地の航空機騒音が軽減されてきたと思う人は全体の約3分の1にとどまっており、そう思わない人は約4割となっています。

関心度

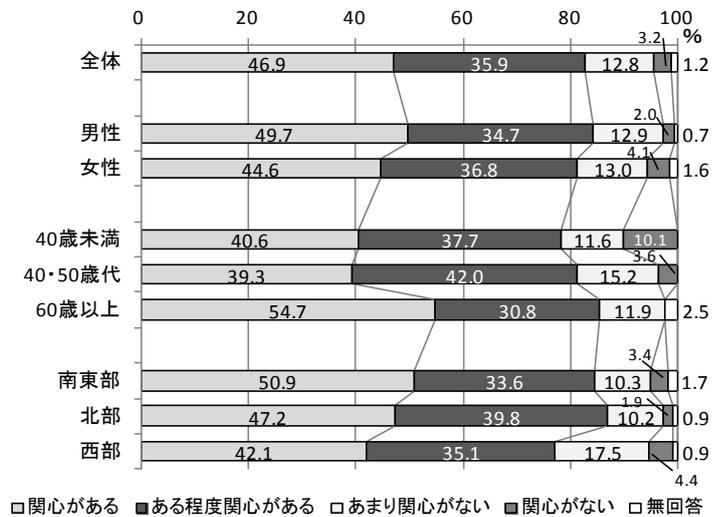
◇ 「基地対策」への関心の有無

<全体>



「基地対策」53 施策中 11 位 (82.8%)

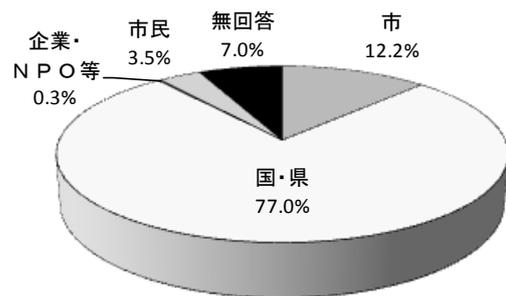
<属性別>



実現するための主体

◇ 「基地対策」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

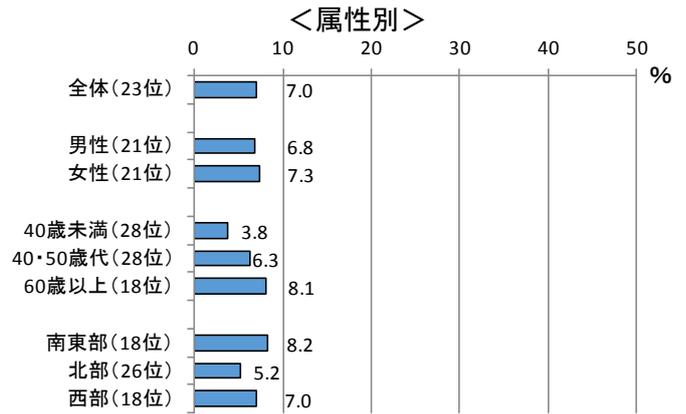


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「基地対策」
を選んだ市民の割合

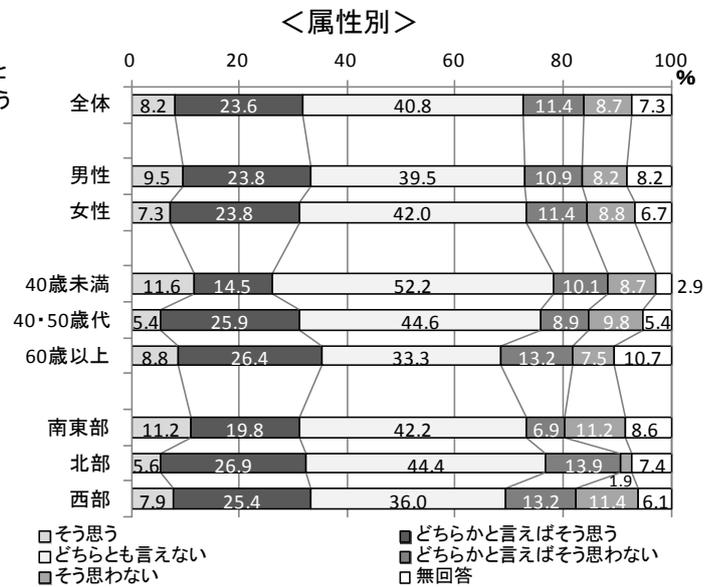
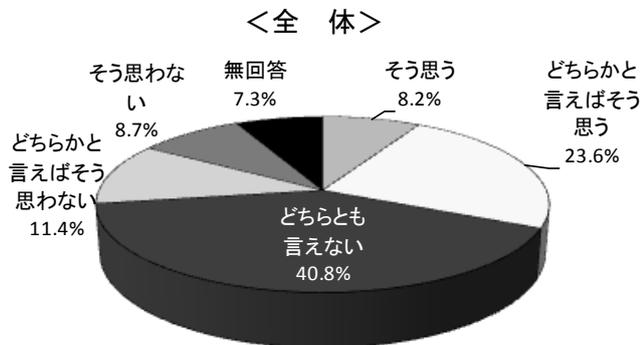
※53 の施策から 5 つまで選択

「基地対策」53 施策中 23 位 (7.0%)

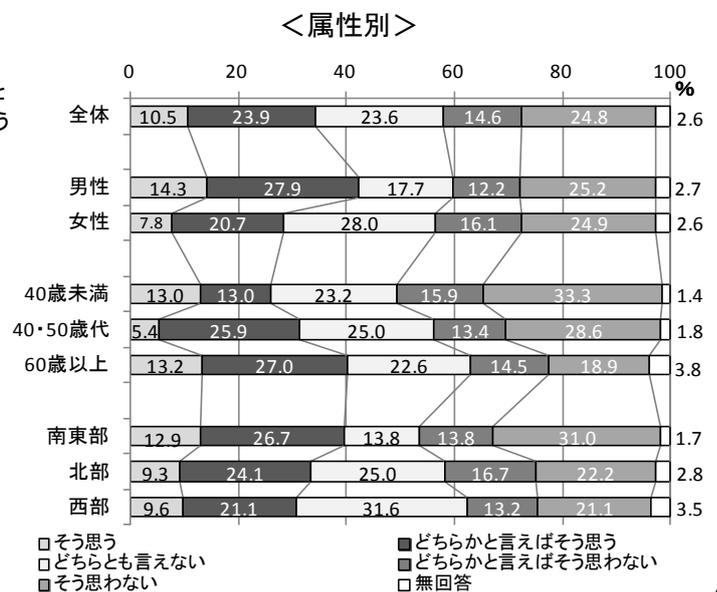
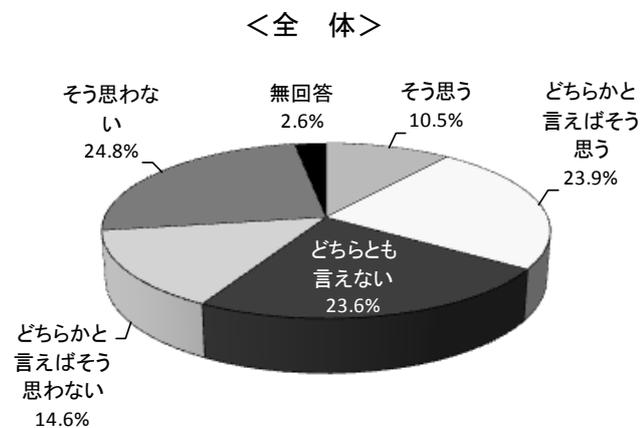


まちづくり指標の達成度

◇キャンプ座間の負担軽減への取組が十分に行われてきていると思う市民の割合



◇厚木基地の航空機騒音が軽減されてきたと思う市民の割合



政策 6 きよらかな水 大切に守るまち

38. 上水道

◆ 目指す姿 ◆

市民は、市内において、いつでもどこでも安定的に水道を使用でき、安全でおいしい水を飲むことができます。

◆ 施策の方向 ◆

○上水道事業の健全運営

○環境保全への貢献

○水道水の安定供給

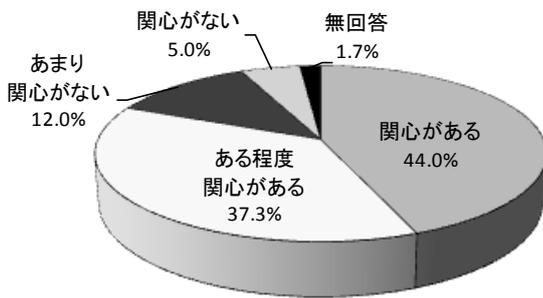
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が全体の約7割を占めています。
- ・ 座間市の水道水を安心して飲むことができると思う人は8割を超えています。

関心度

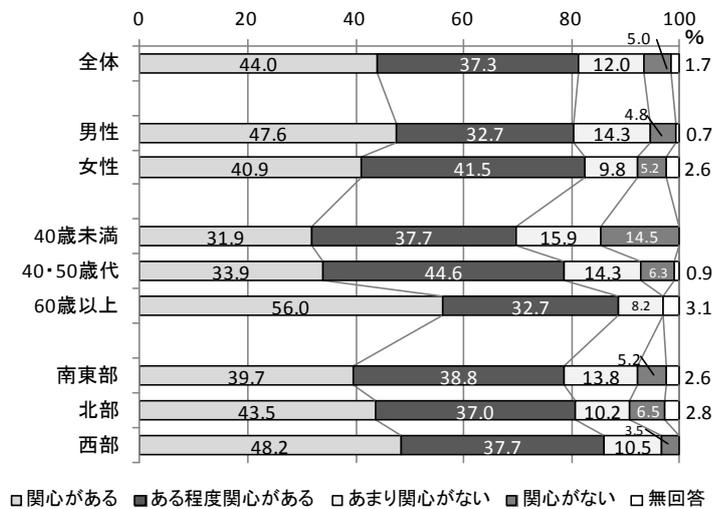
◇ 「上水道」 への関心の有無

< 全 体 >



「上水道」 53 施策中 16 位 (81.3%)

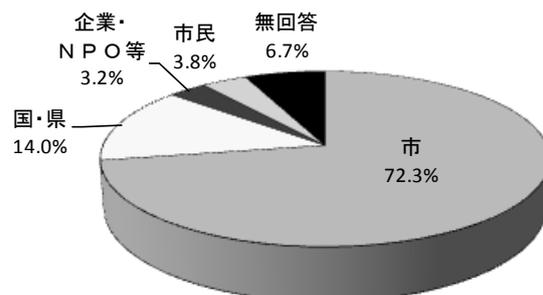
< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「上水道」 の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

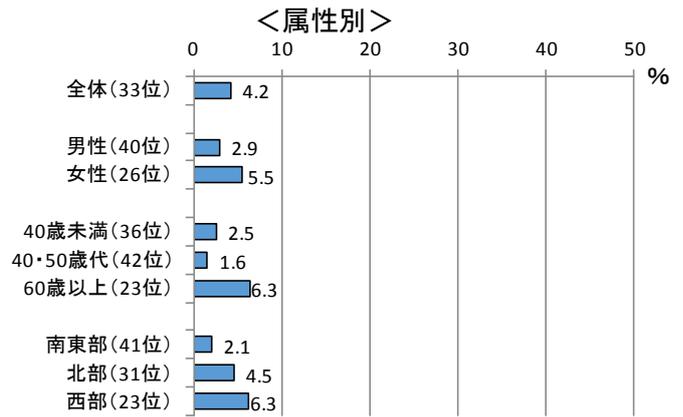


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「上水道」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

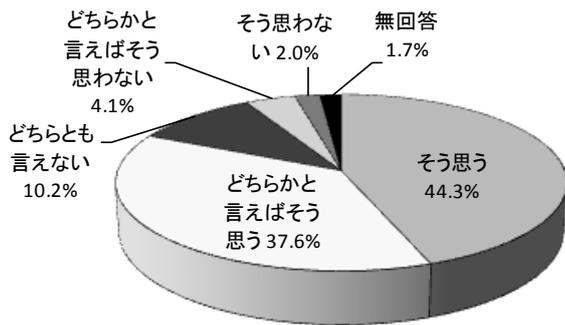
「上水道」53 施策中 33 位 (4.2%)



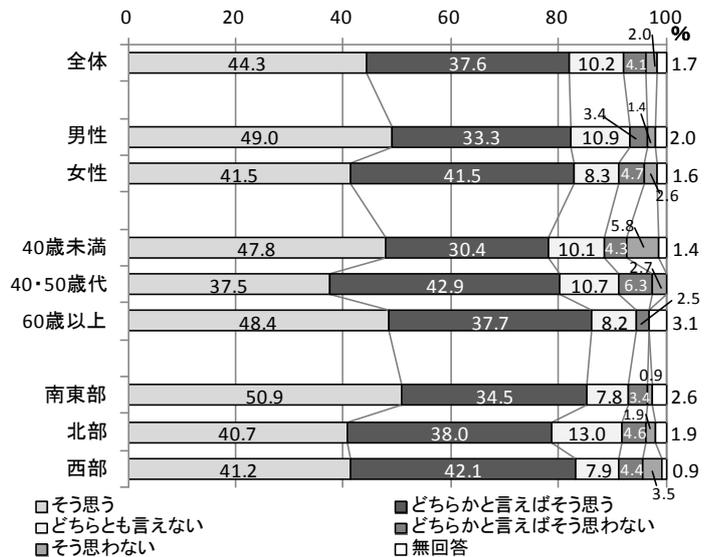
まちづくり指標の達成度

◇地下水を水源とした座間市の水道水を安心して飲むことができると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



39. 下水道

◆ 目指す姿 ◆

市民は、公共下水道の污水整備がされた区域において各家庭で水洗化が進み、快適に公共下水道を利用しています。

また、雨水対策が進み、集中豪雨等による被害が少ないまちになっています。

◆ 施策の方向 ◆

- 雨水対策事業の推進
- 下水道施設の整備・維持管理
- 下水道事業の健全経営

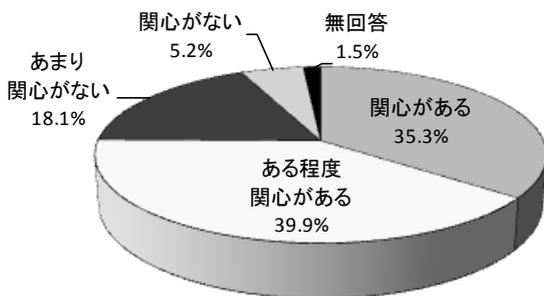
アンケート結果の概要

- ・施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割弱、国・県が約2割となっています。
- ・下水道の整備が進み、身近な川の水がきれいになってきていると思う人は5割台となっており、とくに60歳以上で高い割合となっています。

関心度

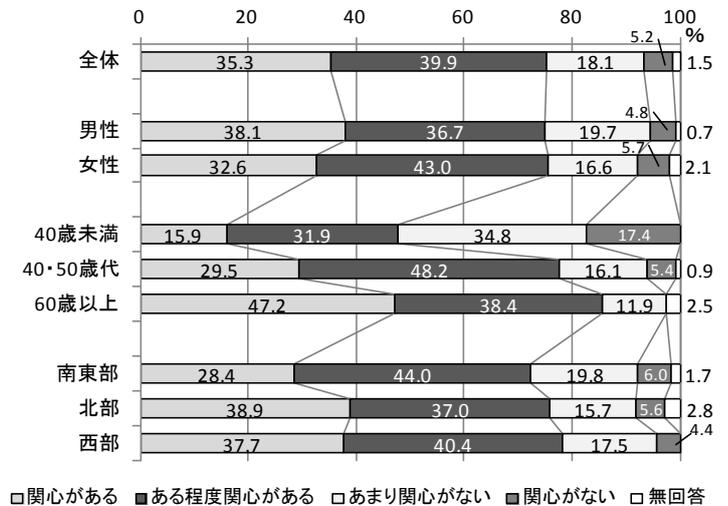
◇ 「下水道」への関心の有無

<全体>



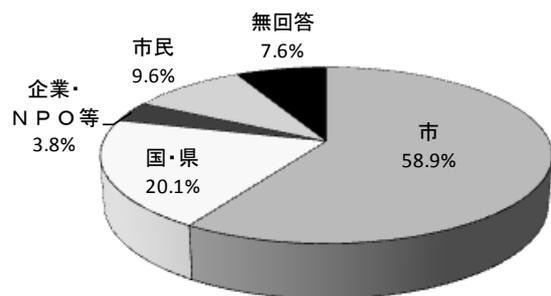
「下水道」53 施策中 24 位 (75.2%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「下水道」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

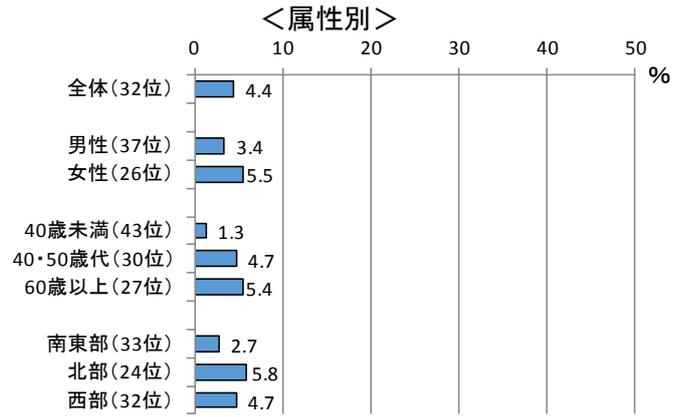


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「下水道」
を選んだ市民の割合

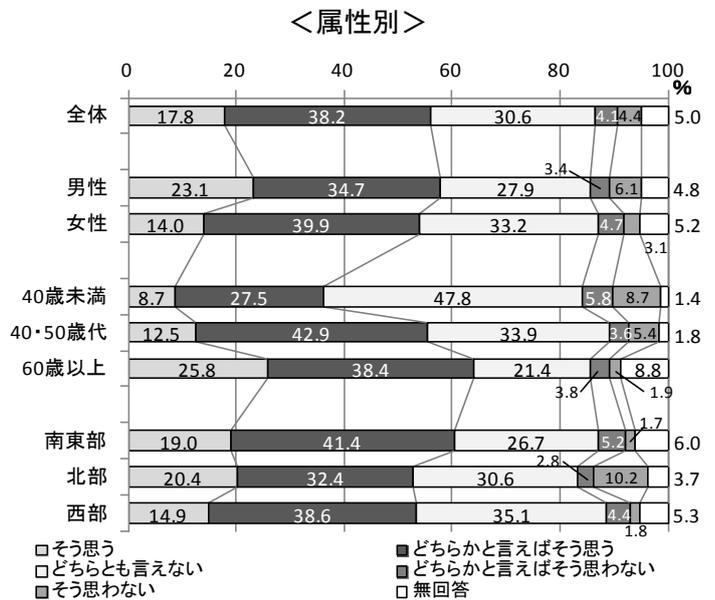
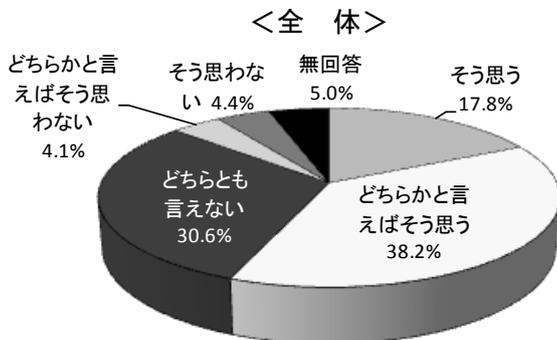
※53 の施策から5つまで選択

「下水道」53 施策中 32 位 (4.4%)



まちづくり指標の達成度

◇下水道の整備が進み、身近な川の水がきれいになってきていると思う市民の割合



政策7 地球にやさしい 活力あるまち

40. 環境保全

◆ 目指す姿 ◆

市民や事業者は、人と自然が共生する静かでやすらぎのあるまちを目指し、地球環境への負荷の少ない生活を営んでいます。

◆ 施策の方向 ◆

○協働による環境保全

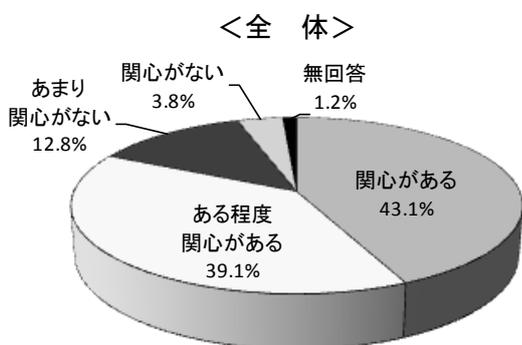
○公害防止対策の推進

アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、国・県が3割台、市、市民が2割台となっています。
- ・ 6割程度の方が家庭や地域、職場等で地球温暖化防止（温室効果ガス削減）に取り組んでいます。また、市が率先して環境保全に努めていると思う人は3割程度です。
- ・ 環境のために、今後とも気を付けて実行したいと思っていることとして、7割以上の方が「ごみの分別の徹底」と「電気や水道水の無駄づかいをしない」を選択しています。

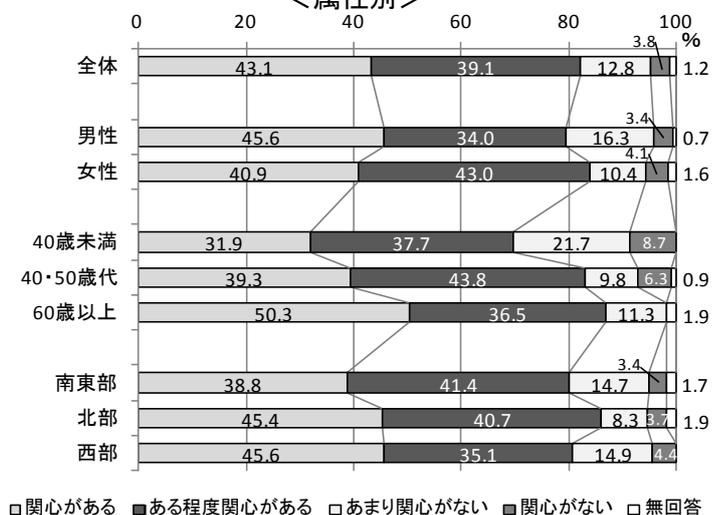
関心度

◇ 「環境保全」への関心の有無



「環境保全」53 施策中 15 位 (82.2%)

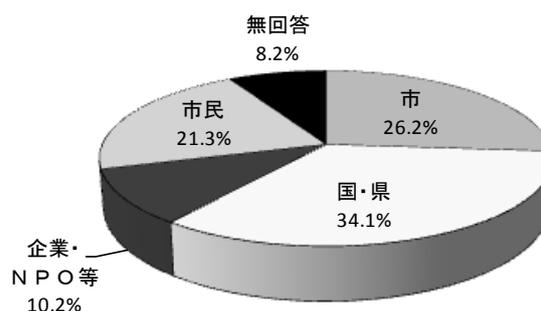
<属性別>



実現するための主体

◇ 「環境保全」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



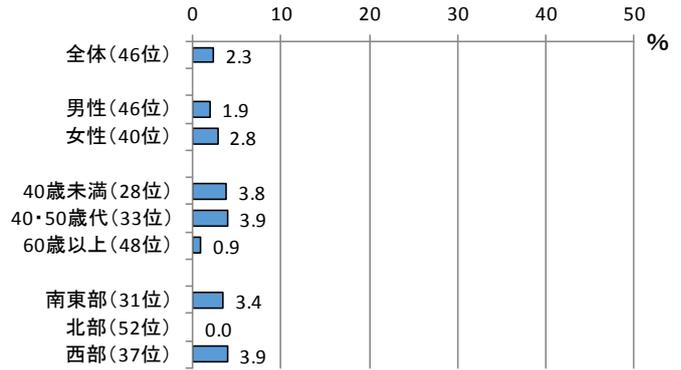
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「環境保全」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「環境保全」53 施策中 46 位 (2.3%)

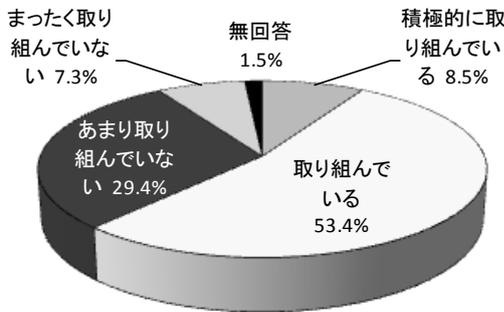
<属性別>



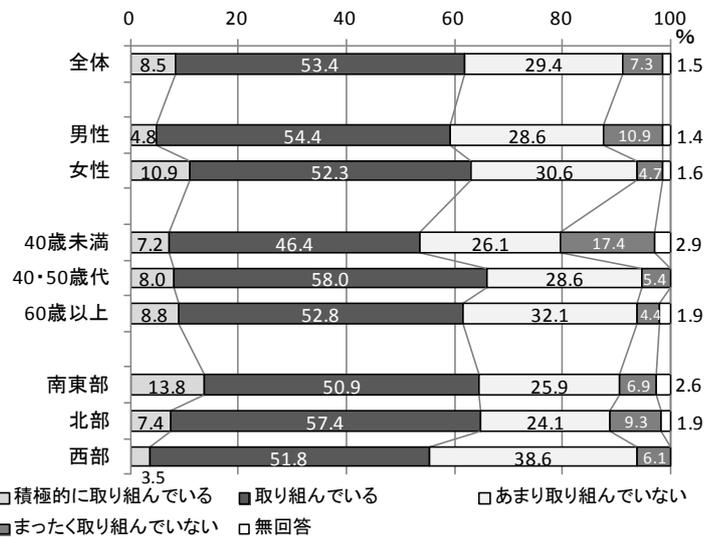
まちづくり指標の達成度

◇家庭や地域、職場等で地球温暖化防止（温室効果ガス削減）に取り組んでいる市民の割合

<全 体>

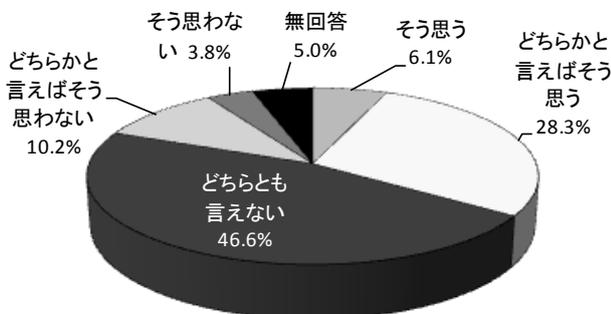


<属性別>

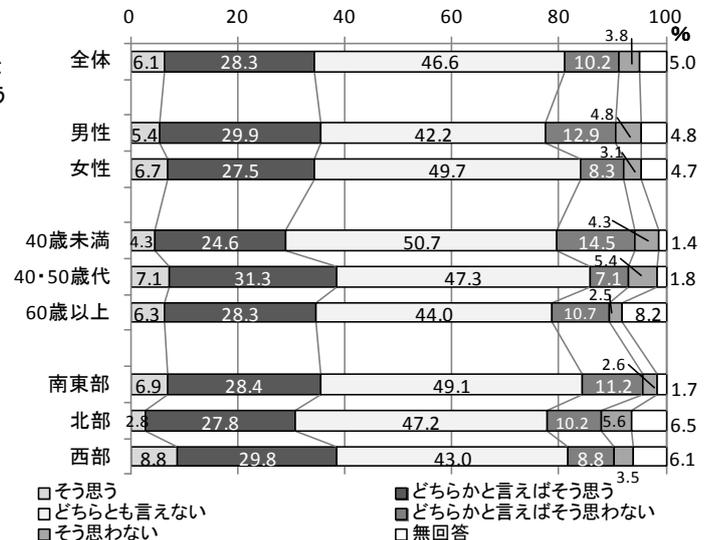


◇市が率先して環境保全に努めていると思う市民の割合

<全 体>

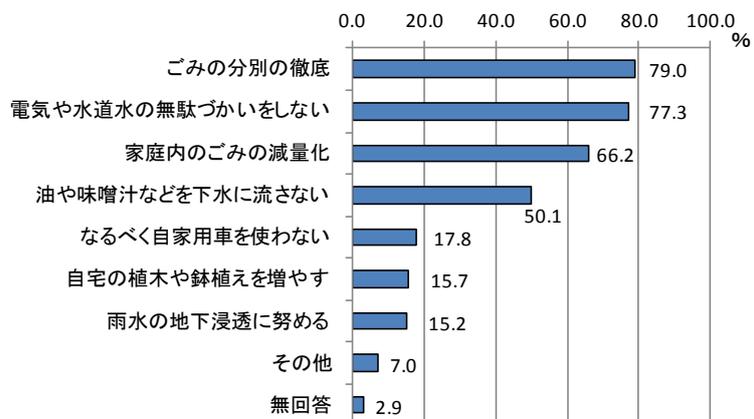


<属性別>



今後の取組について

◇環境のために、今後とも気を付けて実行したいと思っていること



※この設問は複数回答を可としていますので、選択肢の合計が 100 %以上となります。



41. 湧水・地下水保全

◆ 目指す姿 ◆

市民は、湧水・地下水の水質及び水量の保全により市民生活に必要な水が確保され、うるおいのある生活を送っています。

◆ 施策の方向 ◆

○地下水のかん養と管理

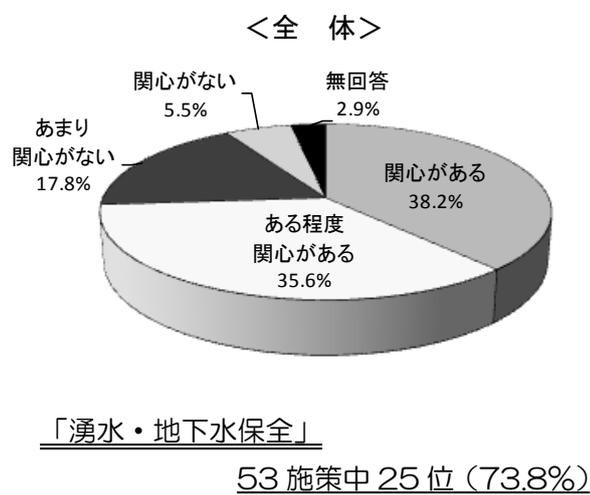
○地下水・土壌の汚染防止

アンケート結果の概要

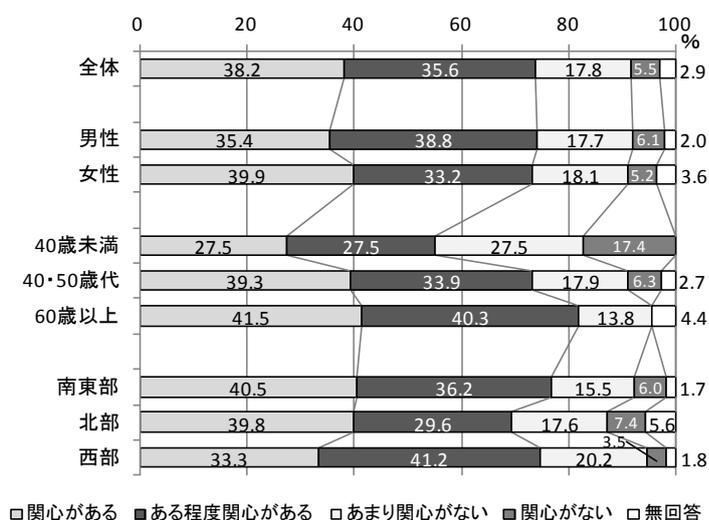
施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割近くになっています。

関心度

◇ 「湧水・地下水保全」への関心の有無

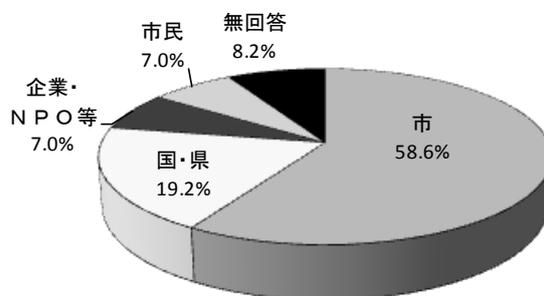


<属性別>



実現するための主体

◇ 「湧水・地下水保全」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



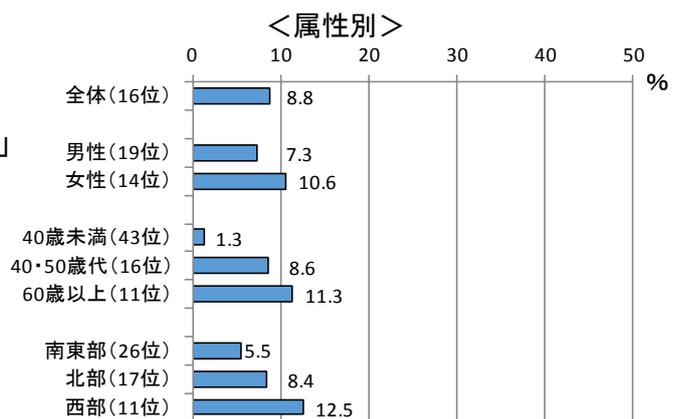
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「湧水・地下水保全」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「湧水・地下水保全」

53 施策中 16 位 (8.8%)



42. 資源循環社会

◆ 目指す姿 ◆

ごみの分別や減量化・資源化に対して、市民や事業者の意識が高く、確実に行われています。

◆ 施策の方向 ◆

○ごみ減量・分別等の啓発

○資源物の有効利用

○収集体制の整備

○不法投棄対策

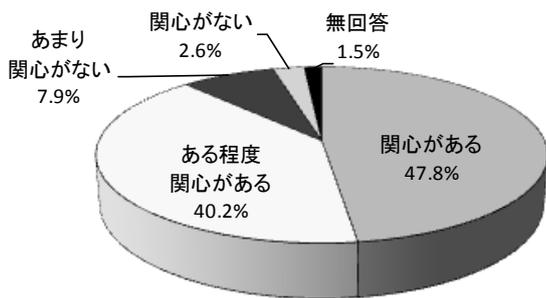
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市民が4割台、市が3割台となっています。
- ・ 8割を超える人が、意識的にごみを減らそうとしていると回答しています。
- ・ 半数近くの人が分別収集や資源物回収などによりごみの減量化が進んできていると思っており、年齢層が高いほどその割合も高くなっています。

関心度

◇ 「資源循環社会」への関心の有無

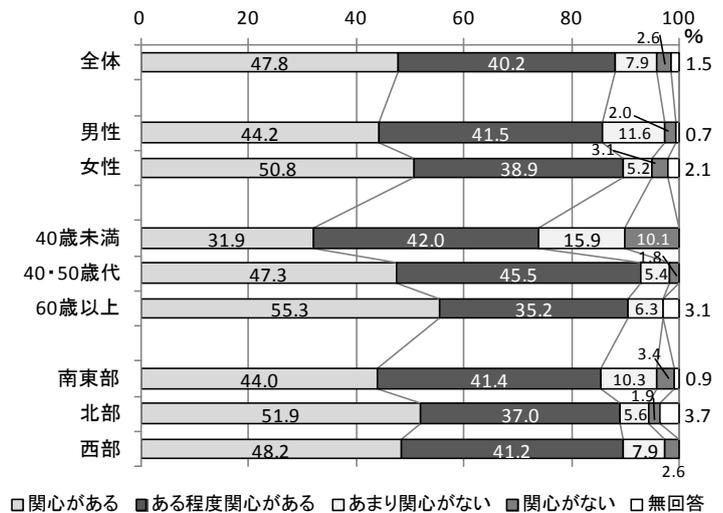
<全体>



「資源循環社会」

53 施策中 5 位 (88.0%)

<属性別>

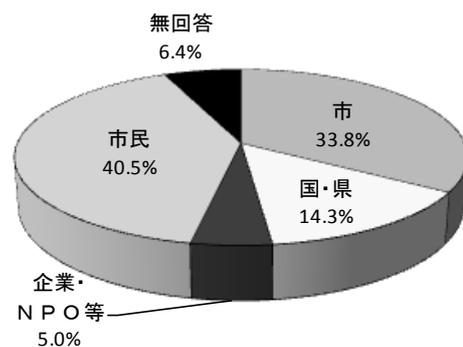


□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇ 「資源循環社会」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



重要性

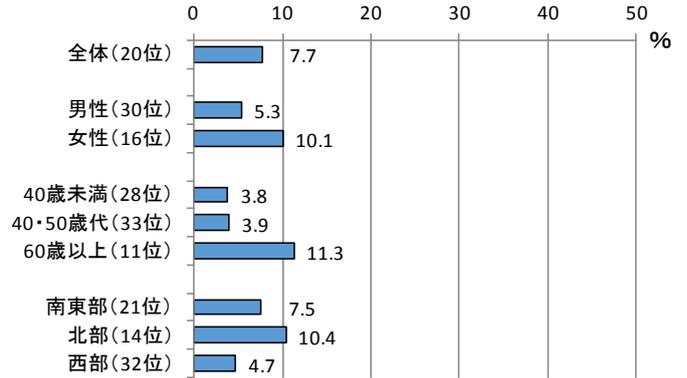
◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「資源循環社会」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

「資源循環社会」

53 施策中 20 位 (7.7%)

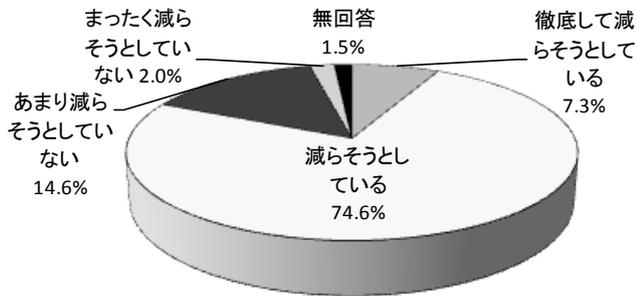
<属性別>



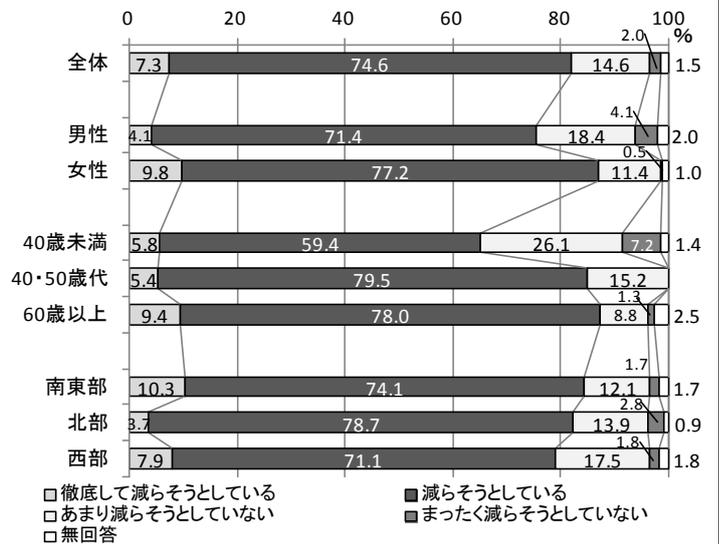
まちづくり指標の達成度

◇意識的にごみを減らそうとしている市民の割合

<全体>

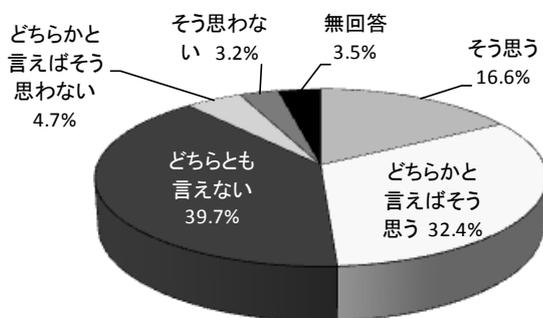


<属性別>

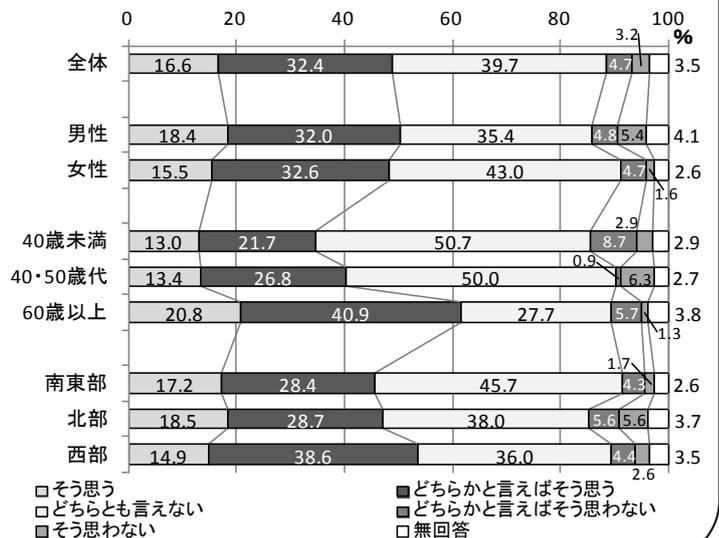


◇分別収集や資源物回収などによりごみの減量化が進んできていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



43. 農業

◆ 目指す姿 ◆

農業の担い手は、意欲を持って規模拡大など経営の安定に努力しており、安全で安心な食料の供給をはじめ環境の保全にも大きく貢献しています。また、市民は、農地が果たす多面的な機能の重要性を認識しており、都市と調和した農業の維持が図られています。

◆ 施策の方向 ◆

○農地の有効利用・規模拡大 ○経営改善・地産地消の支援 ○農業生産基盤の整備

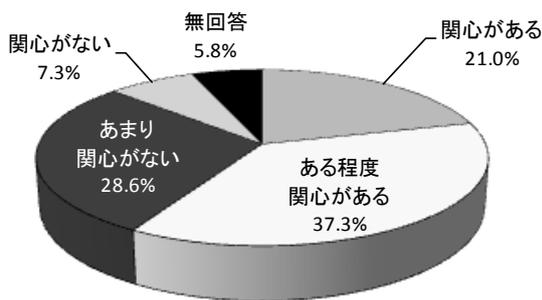
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が4割台、国・県が2割台となっています。
- ・ 朝市などを通して地産地消が進められてきていると思う人は3割を超えています。

関心度

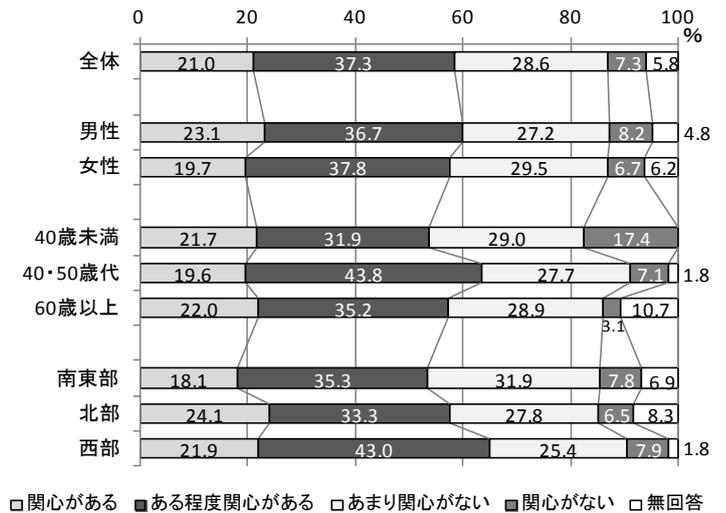
◇ 「農業」 への関心の有無

< 全体 >



「農業」53 施策中 43 位 (58.3%)

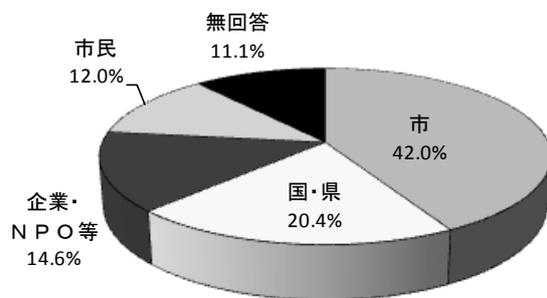
< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「農業」 の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



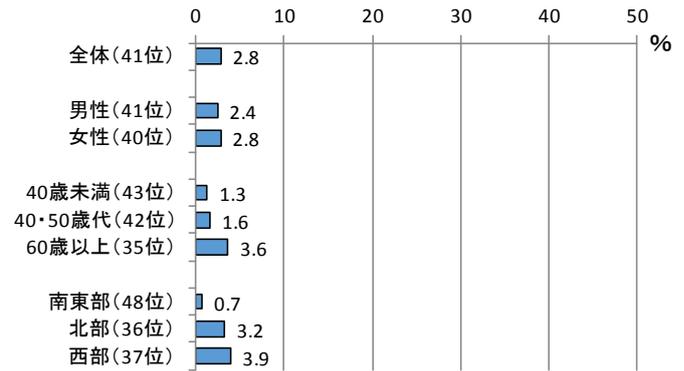
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「農業」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

「農業」53 施策中 41 位 (2.8%)

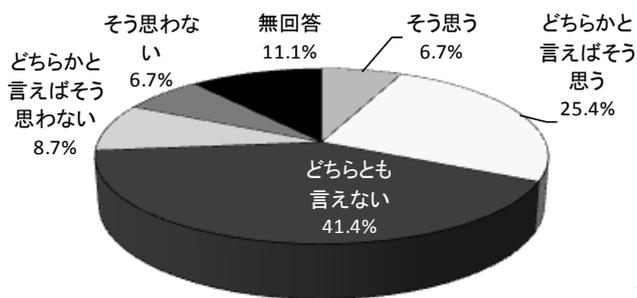
<属性別>



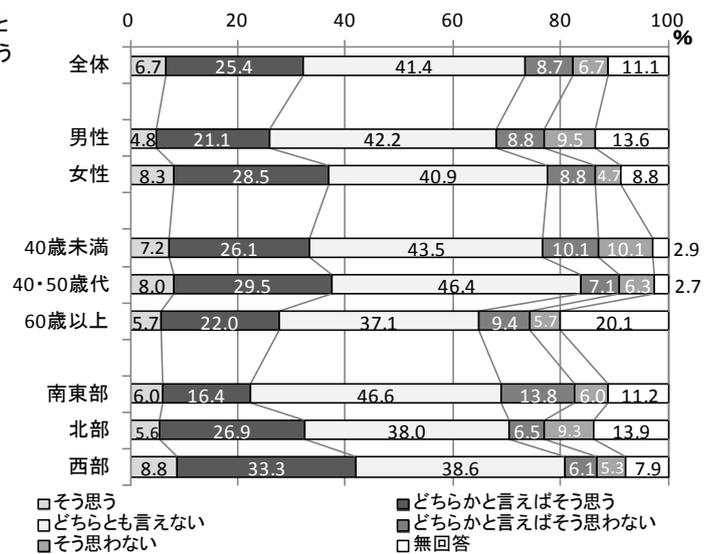
まちづくり指標の達成度

◇朝市などを通して地産地消が進められてきていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



44. 商・工業

◆ 目指す姿 ◆

商業では、特産品などのブランド化や地産地消を定着させて商店街や個店が活気づいており、工業では、低炭素社会に対応した先端技術の導入を図りながら、製造品出荷額等も増加しています。

◆ 施策の方向 ◆

- 商工業の活性化促進
- 事業者間の連携促進
- 雇用・福利厚生への支援

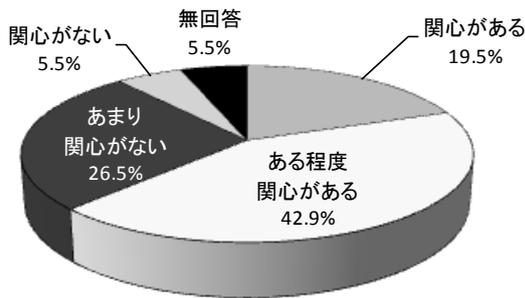
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が5割台、企業・NPO等が2割程度となっています。
- ・ 地元商店街を利用している人は6割近くを占めており、年齢が高いほど利用率も高くなっています。
- ・ 市内の産業振興への取組が積極的に行われていると思う人は約2割にとどまっています。

関心度

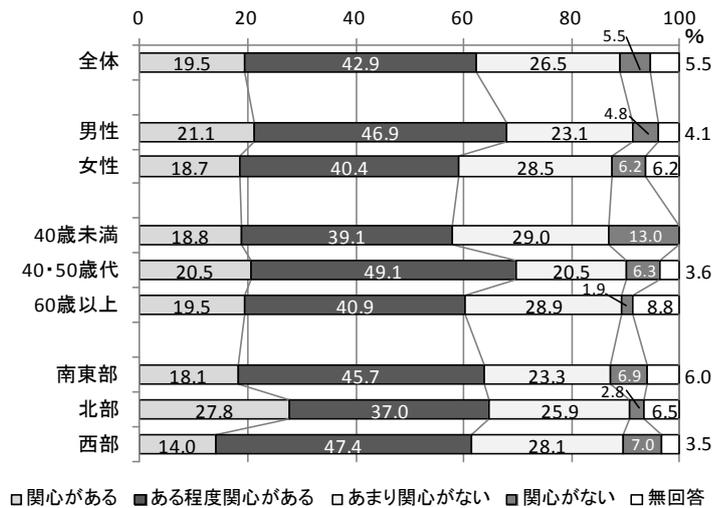
◇ 「商・工業」 への関心の有無

< 全体 >



「商・工業」53施策中37位 (62.4%)

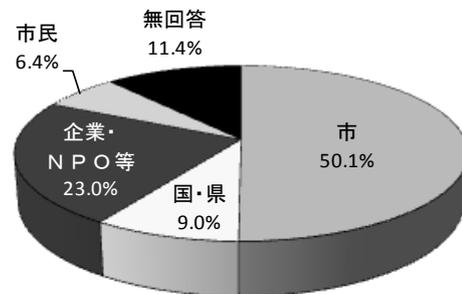
< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「商・工業」 の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

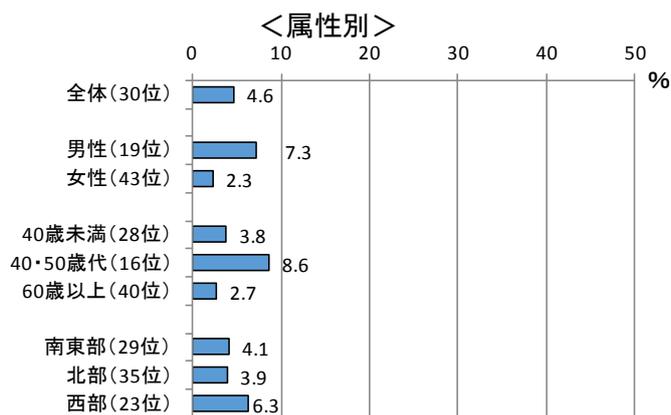


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「商・工業」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

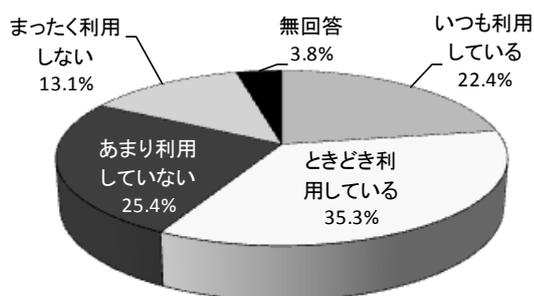
「商・工業」53 施策中 30 位 (4.6%)



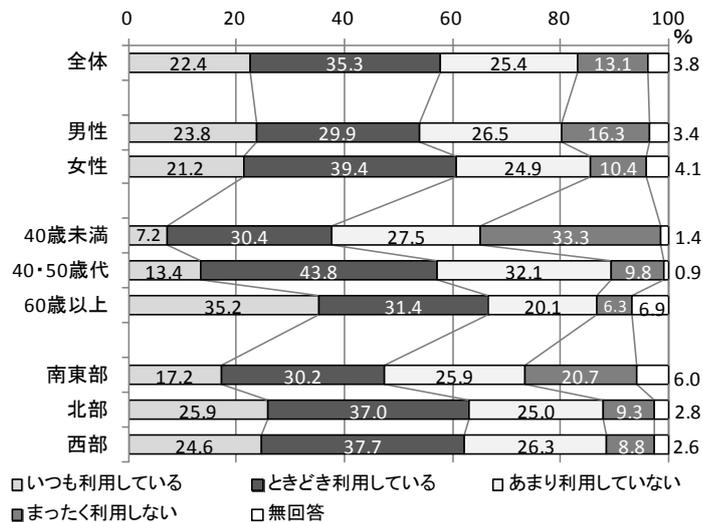
まちづくり指標の達成度

◇地元商店街を利用している市民の割合

＜全 体＞

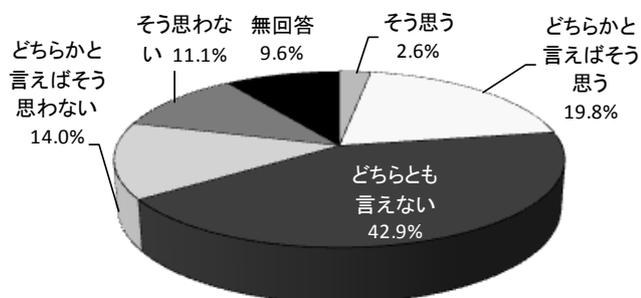


＜属性別＞

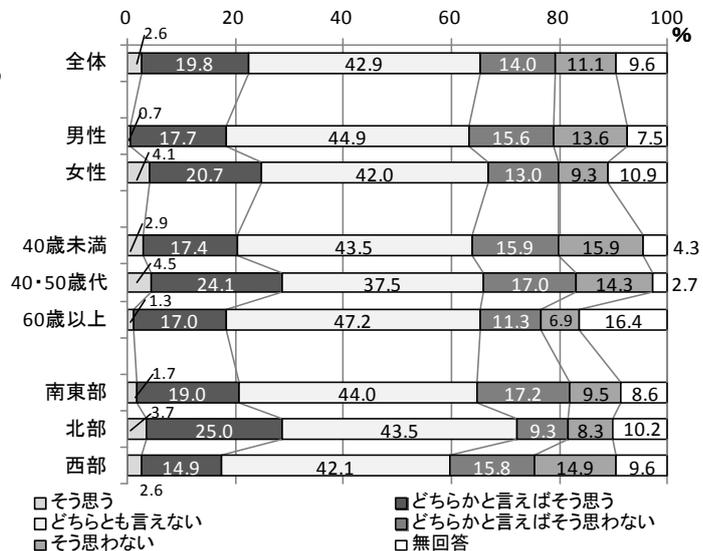


◇市内の産業振興への取組が積極的に行われていると思う市民の割合

＜全 体＞



＜属性別＞



45. 観光

◆ 目指す姿 ◆

市に固有の自然、歴史、文化、伝統行事、伝統芸能、産業などの地域資源を活用した観光イベントに参加した市民や来訪者は、座間市に愛着と好感を持つとともに、地域経済の活性化に寄与しています。

◆ 施策の方向 ◆

○地域資源を生かした観光振興

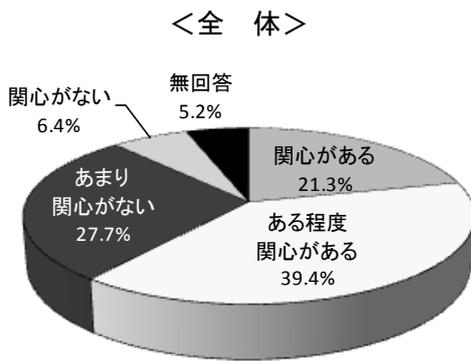
○観光協会等の支援

アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が7割近くとなっています。
- ・ 6割近くの方が、市固有の地域資源に触れ、座間市に好感を持っています。

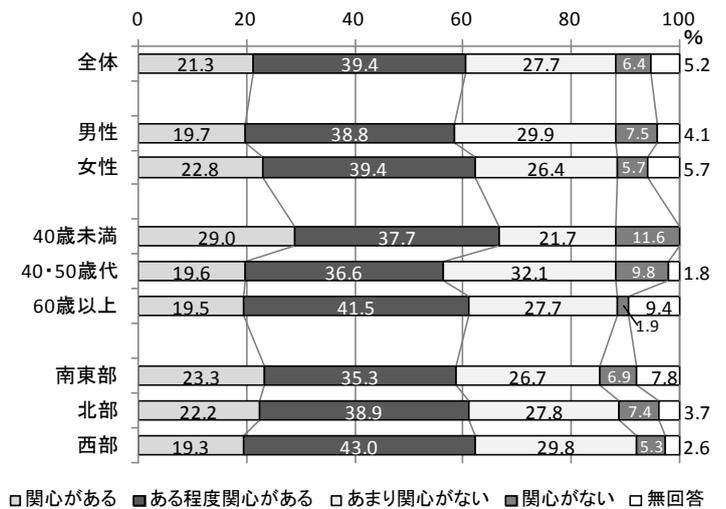
関心度

◇ 「観光」 への関心の有無



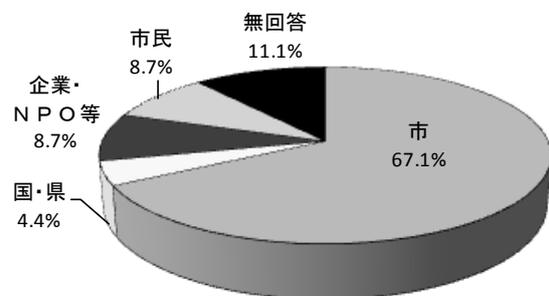
「観光」53 施策中 41 位 (60.7%)

< 属性別 >



実現するための主体

- ◇ 「観光」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

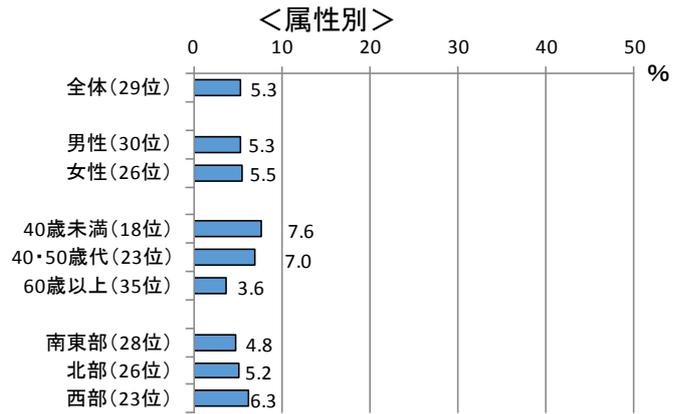


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「観光」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

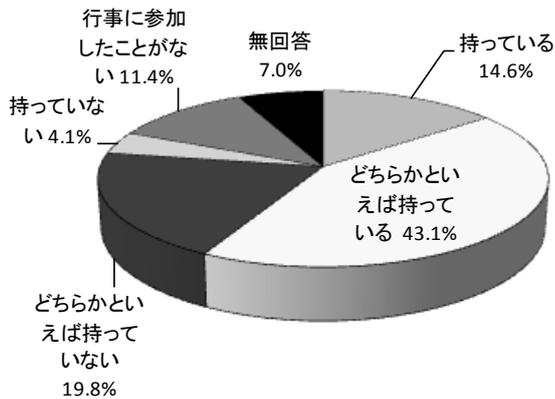
「観光」53 施策中 29 位 (5.3%)



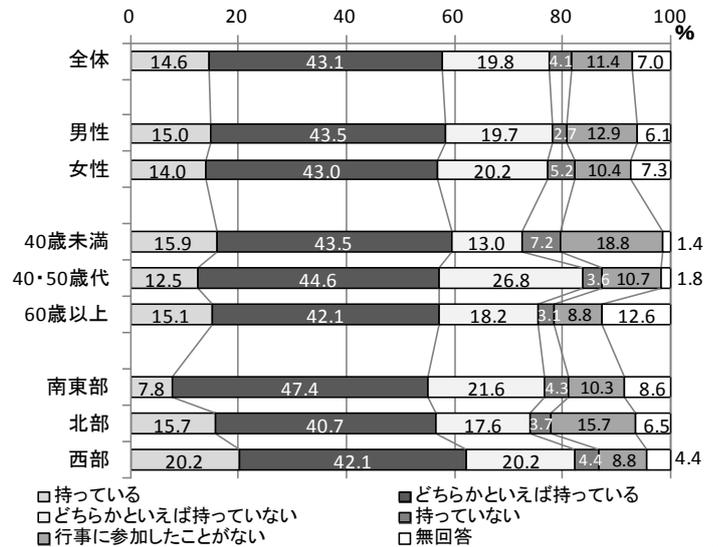
まちづくり指標の達成度

◇市固有の地域資源に触れ、座間市に好感を持つ市民の割合

<全体>



<属性別>



政策 8 未来志向 柔軟な発想 確かな行政経営

46. 戦略経営

◆ 目指す姿 ◆

本市では、総合計画を中心として行政評価、予算編成、組織編成及び定員管理が連動し、時代の変化に対応した柔軟で機動性の高い意思決定と実践力の下、経営資源を有効にかつ総合的に活用した行政経営を行い、最少の経費で最大の市民サービスを提供しています。

◆ 施策の方向 ◆

- 政策課題への機動的対応 ○行政評価の活用 ○行政改革の推進
- 広域行政の推進 ○ファシリティマネジメント（持続可能な公共施設の維持管理）の推進

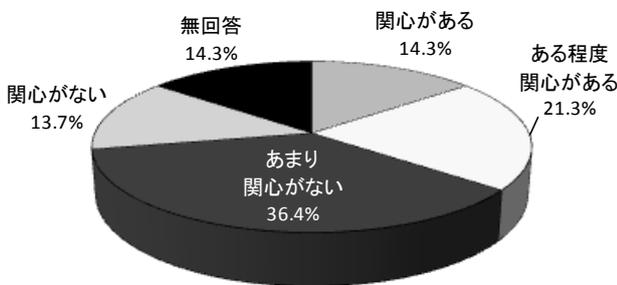
アンケート結果の概要

- ・施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割台となっています。
- ・簡素で効率的な行政運営が行われていると思う人は1割台です。

関心度

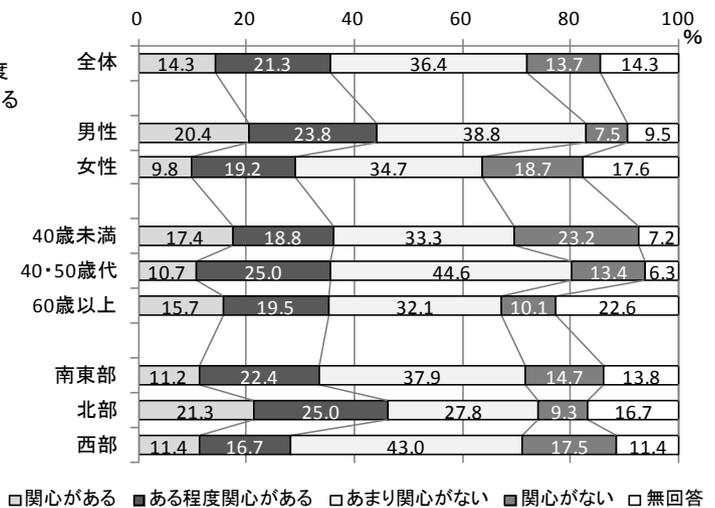
◇ 「戦略経営」 への関心の有無

< 全 体 >



「戦略経営」53 施策中 53 位 (35.6%)

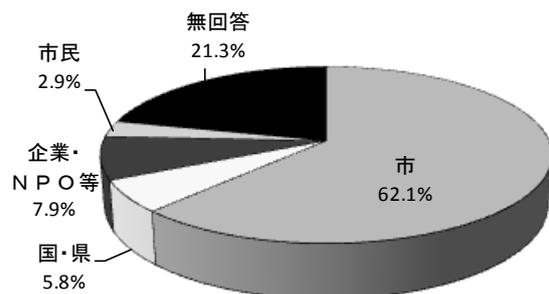
< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「戦略経営」 の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

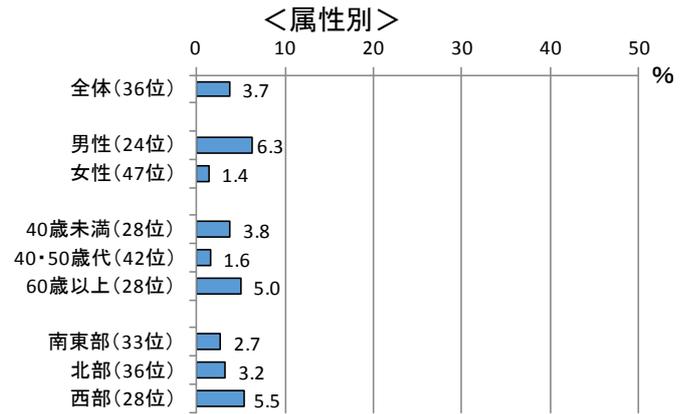


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「戦略経営」
を選んだ市民の割合

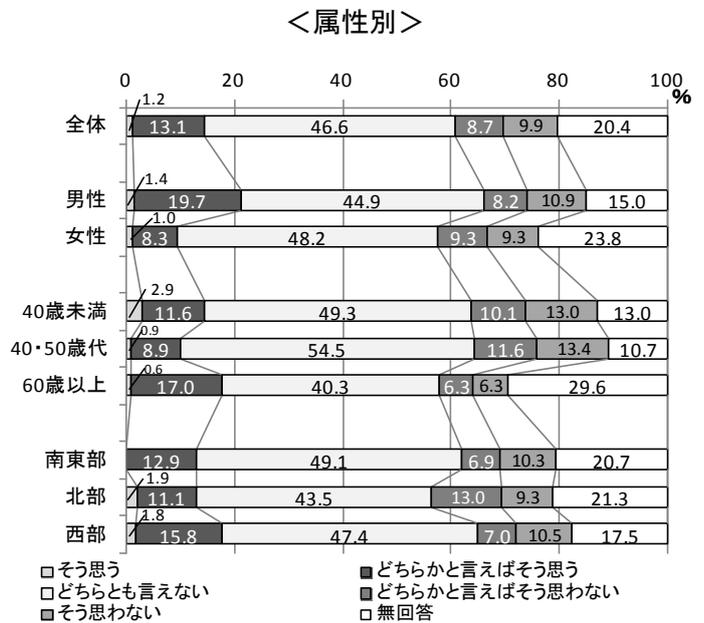
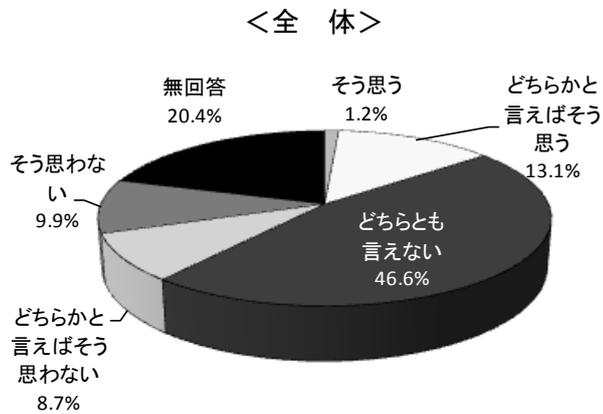
※53 の施策から 5 つまで選択

「戦略経営」53 施策中 36 位 (3.7%)



まちづくり指標の達成度

◇簡素で効率的な行政運営が行われていると思う市民の割合



46の2. シティプロモーション

◆ 目指す姿 ◆

「大凧まつり」や「ひまわりまつり」には、市内外から多くの来訪者があり、地域資源などの情報が効果的に発信されています。市の知名度も向上し、座間に住んでみたい、住み続けたいという人が増えています。

◆ 施策の方向 ◆

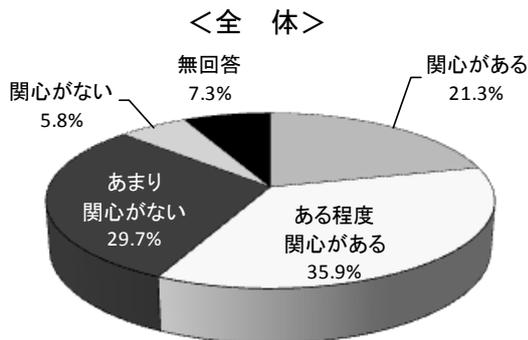
- 地域資源の積極的、効果的発信
- 「ざまりん」を活用したシティプロモーション
- 新たな地域資源の発掘
- ロケーションサービスの積極的な推進

アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が7割台を占めています。
- ・ 「ざまりん」の認知度は約9割で、年齢が若いほど認知度が高い割合となっています。
- ・ シティプロモーションが積極的に行われていると思う人は4割台で、年齢が若いほど高い割合となっています。

関心度

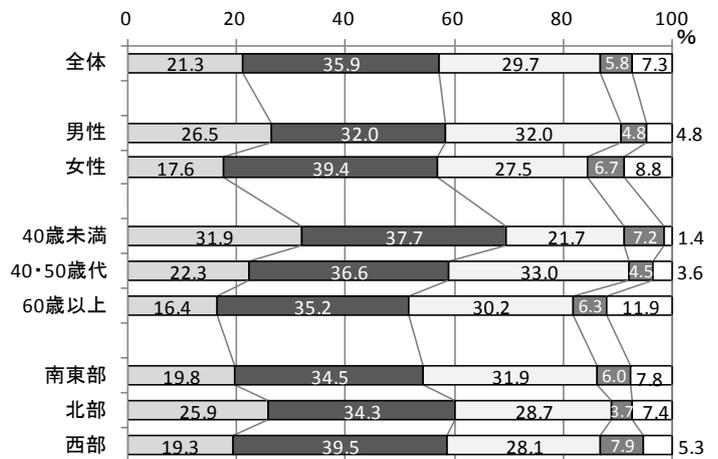
◇ 「シティプロモーション」への関心の有無



「シティプロモーション」

53 施策中 49 位 (57.2%)

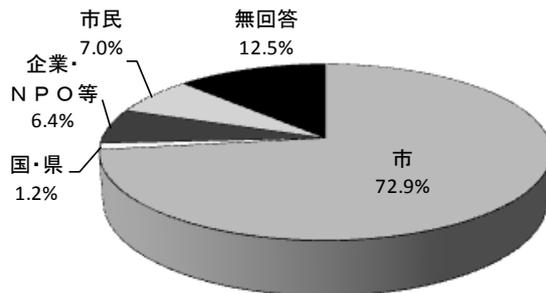
＜属性別＞



□ 関心がある ■ ある程度関心がある □ あまり関心がない ■ 関心がない □ 無回答

実現するための主体

◇ 「シティプロモーション」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



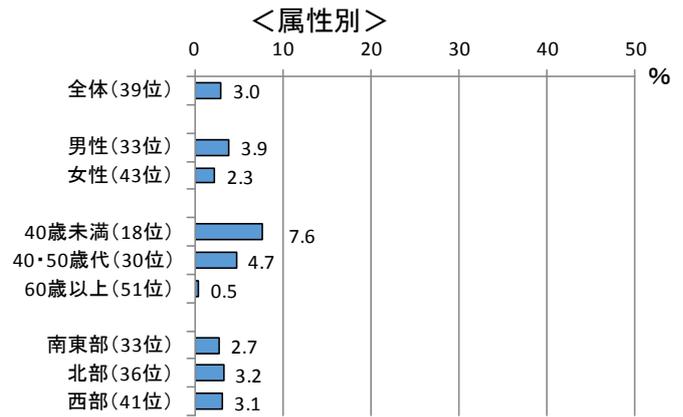
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「シティプロモーション」を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

「シティプロモーション」

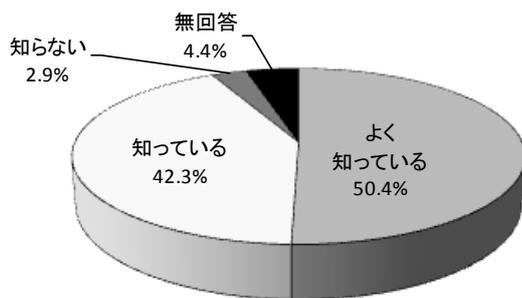
53 施策中 39 位 (3.0%)



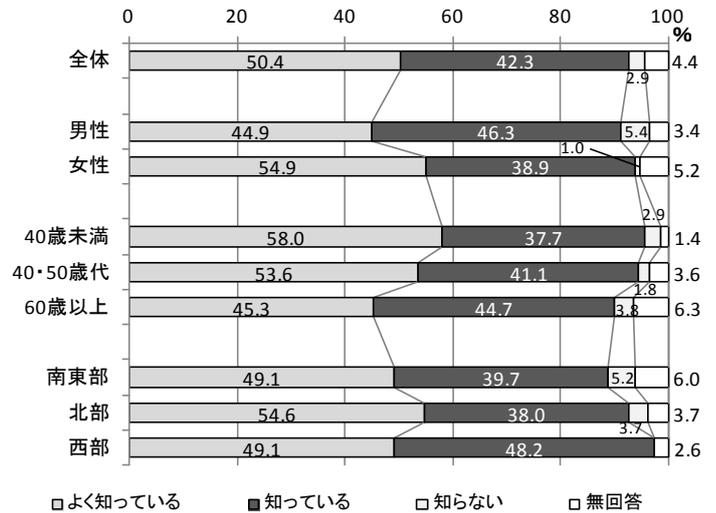
まちづくり指標の達成度

◇市マスコットキャラクター「ざまりん」を知っている市民の割合

<全体>

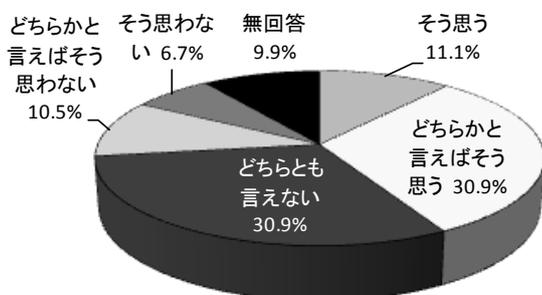


<属性別>

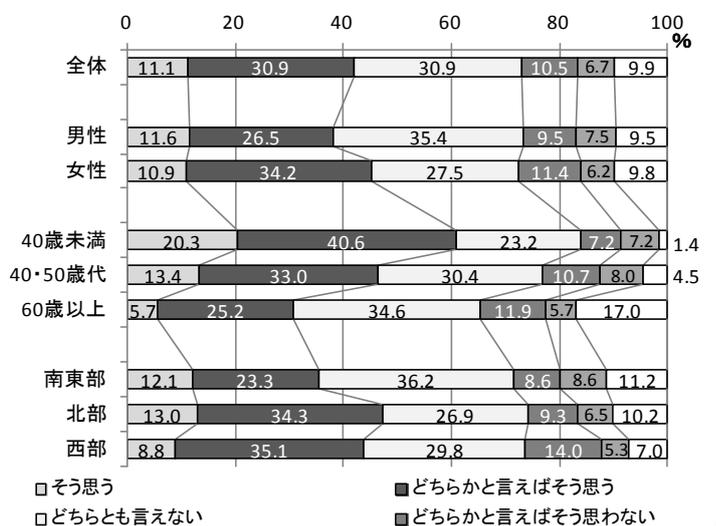


◇座間市のシティプロモーションが積極的に行われていると思う市民の割合

<全体>



<属性別>



47. 財政運営

◆ 目指す姿 ◆

将来にわたる財政基盤の強化及び効率的な財政運営を図るため、自主財源及び依存財源の確保はもとより、経常経費の抑制、財源の有効配分や債務の解消を確実にを行い、所有する財産の適切な管理を行う中で経営資源の有効な活用を図り、常に次世代に説明責任を果たすことができます。

◆ 施策の方向 ◆

- 効率的・機動的予算事務
- 財政情報の公表

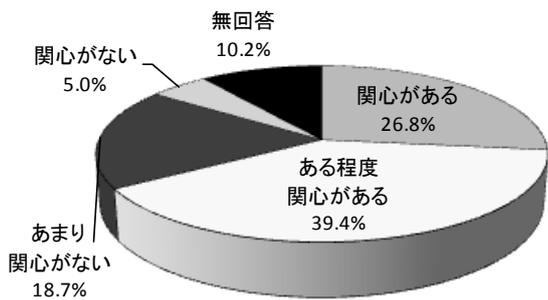
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が7割台を占めています。
- ・ 健全な財政運営に向けて取り組んでいると思う人は2割台となっており、とくに60歳以上で高い割合となっています。

関心度

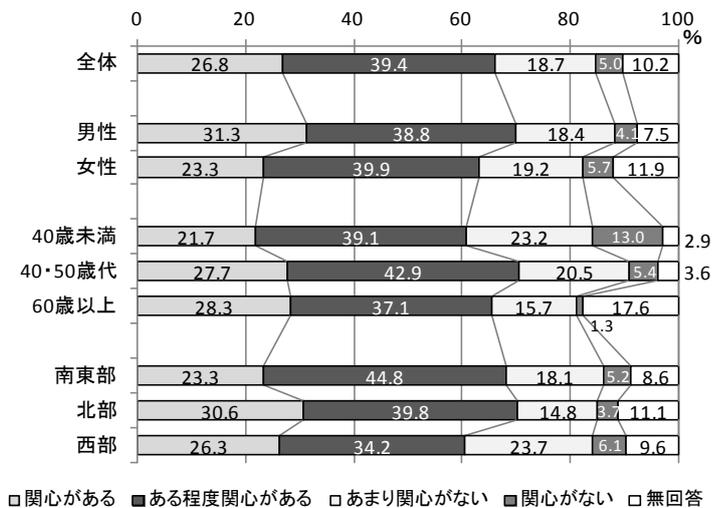
◇ 「財政運営」への関心の有無

<全体>



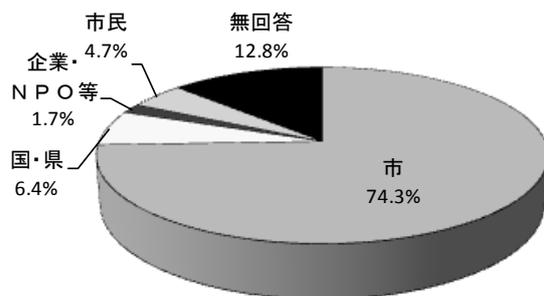
「財政運営」53 施策中 33 位 (66.2%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「財政運営」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

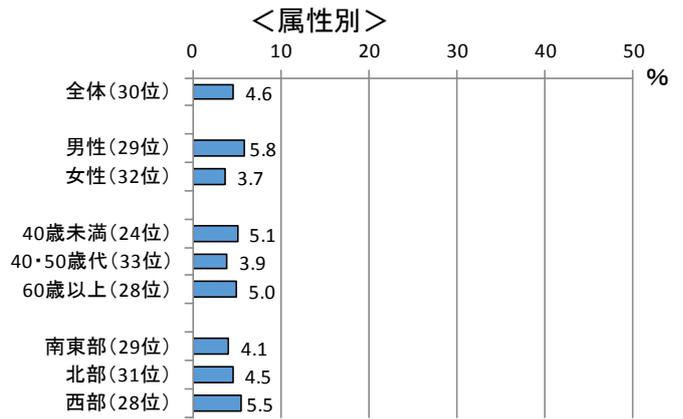


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「財政運営」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

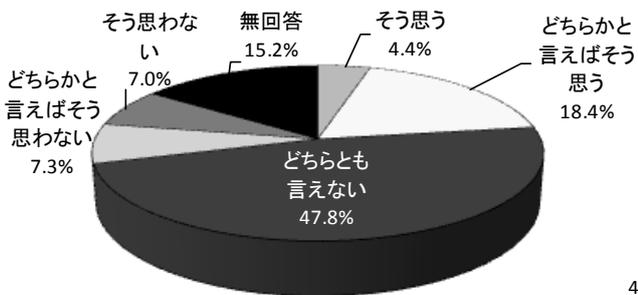
「財政運営」53 施策中 30 位 (4.6%)



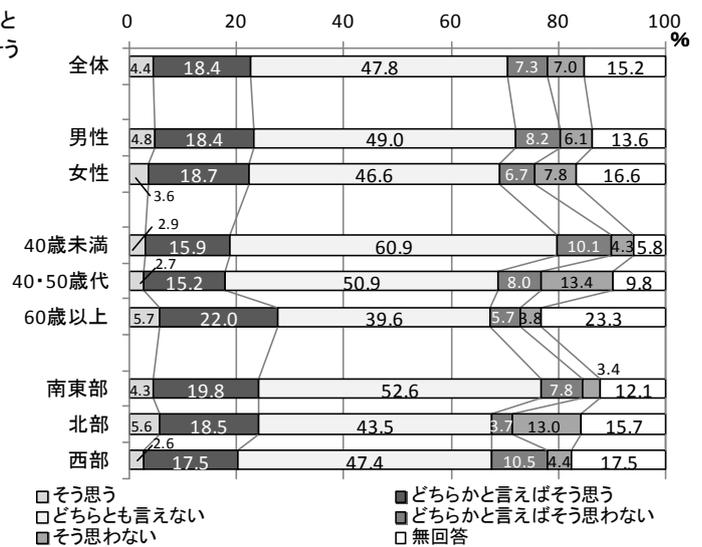
まちづくり指標の達成度

◇健全な財政運営に向けて取り組んでいると思う市民の割合

<全 体>



<属性別>



48. 賦課・徴収

◆ 目指す姿 ◆

市民は、市が公平かつ的確な賦課、徴収を行っていると感じています。

◆ 施策の方向 ◆

○公平かつ適正な課税

○市税徴収

○市税申告・納税環境の充実

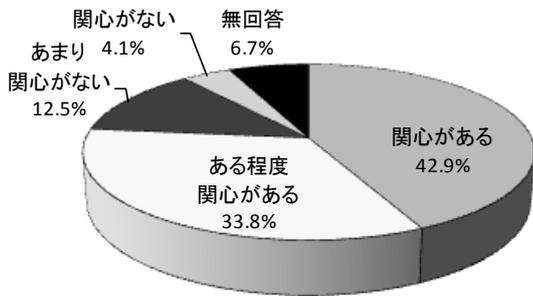
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市が6割以上を占めています。

関心度

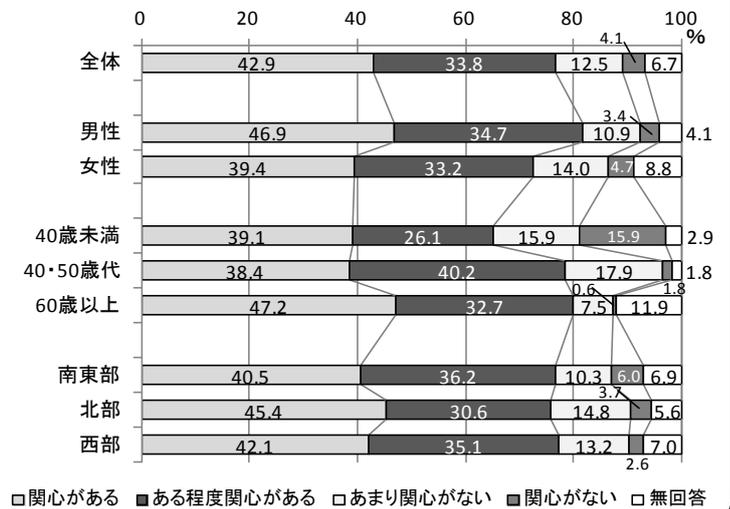
◇ 「賦課・徴収」 への関心の有無

< 全 体 >



「賦課・徴収」53 施策中 22 位 (76.7%)

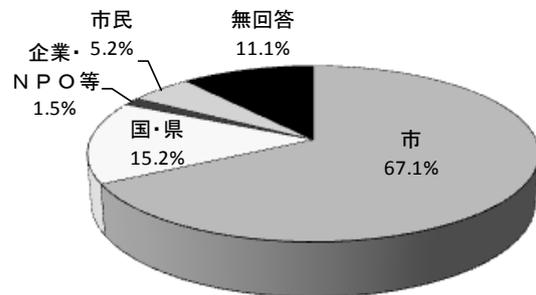
< 属性別 >



実現するための主体

◇ 「賦課・徴収」 の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている
主体の割合

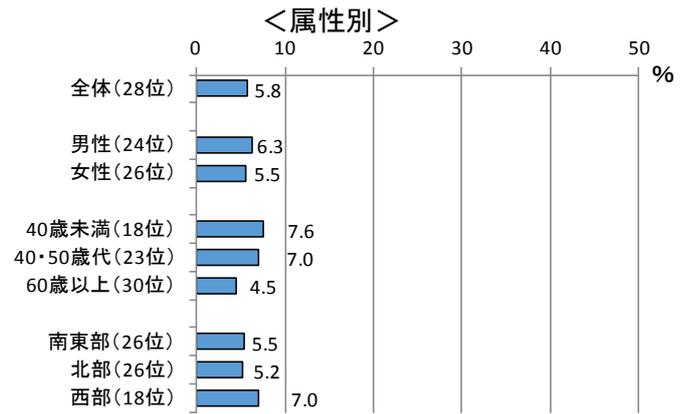


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「賦課・徴収」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「賦課・徴収」53 施策中 28 位 (5.8%)



政策 9 市民起点 的確な判断と行動 信頼される行政運営

49. 職員育成

◆ 目指す姿 ◆

座間市の職員は、地域主権社会において、中長期的展望を踏まえた行動目標を持ち、直面する課題解決に対し自ら考え、自ら行動しています。また、協働社会において、ニーズを的確に把握する中で、快適な市民サービスの提供を実践しています。

◆ 施策の方向 ◆

- 職員研修の充実
- 適正な人事配置
- 服務規律の遵守徹底
- 職員の健康管理
- 職員給与の適正管理

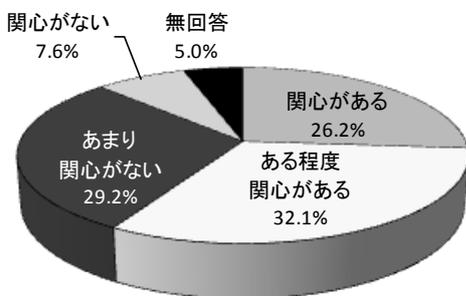
アンケート結果の概要

- ・ 施策の実現に最も重要とされる主体は、市が8割を超えています。
- ・ 市職員の接遇には、約4割の人がよい印象を持っています。

関心度

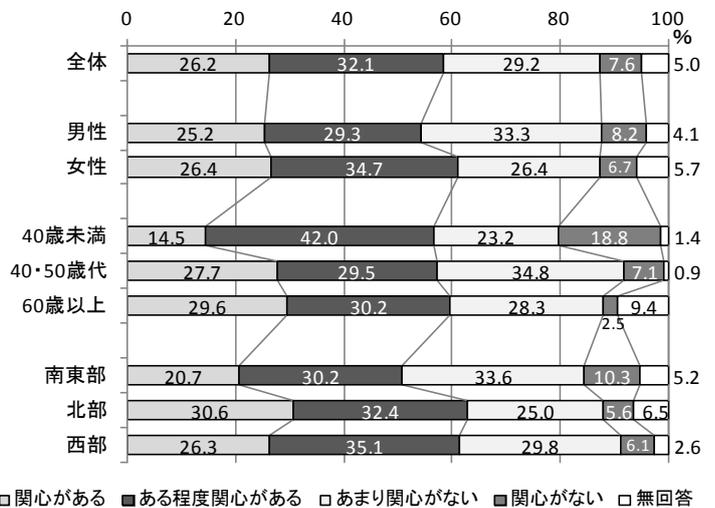
◇ 「職員育成」への関心の有無

<全体>



「職員育成」53 施策中 43 位 (58.3%)

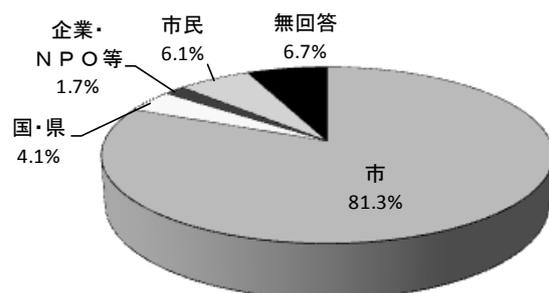
<属性別>



実現するための主体

◇ 「職員育成」の実現において

最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



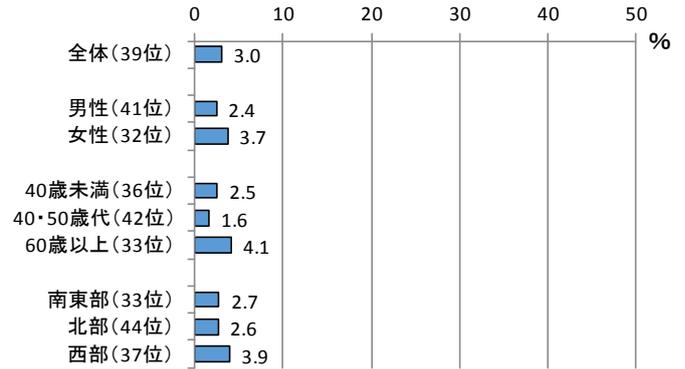
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「職員育成」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から5つまで選択

「職員育成」53 施策中 39 位 (3.0%)

<属性別>

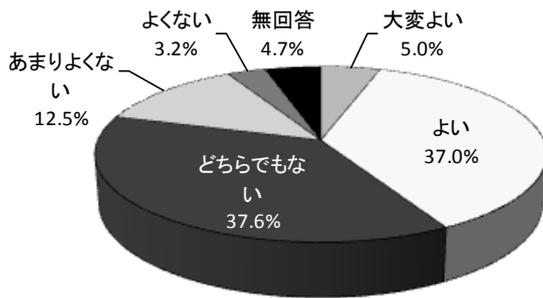


まちづくり指標の達成度

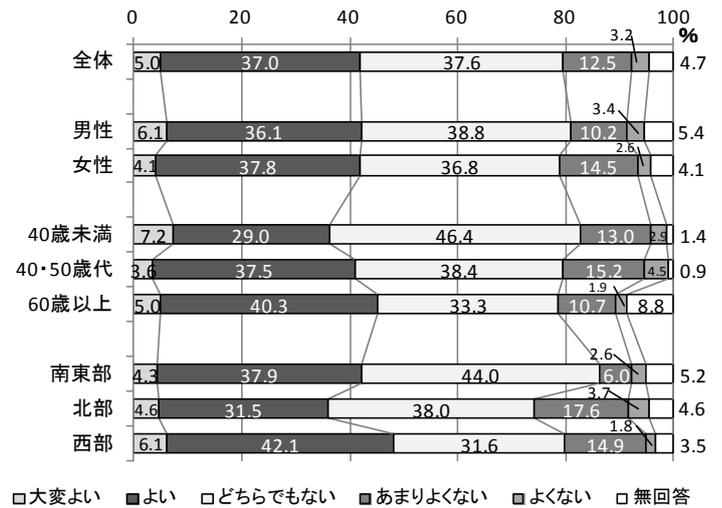
◇市職員の待遇（対応）に満足できる市民の割合

(あなたは、市職員の待遇（対応）にどのような印象を持ちますか?)

<全体>



<属性別>



□大変よい ■よい □どちらでもない ■あまりよくない ■よくない □無回答

50. 法務・情報公開

◆ 目指す姿 ◆

本市では、条例や規則などが整備され、適切で透明性の高い行政経営が行われており、市民から信頼されています。

市民は、行政が保有する様々な情報の中から必要となる情報をより簡単に入手し、活用しています。

◆ 施策の方向 ◆

- 体制整備と情報提供の推進
- 人材育成
- 適切な文書管理
- 個人情報保護の取組
- 情報公開条例等の適正運用

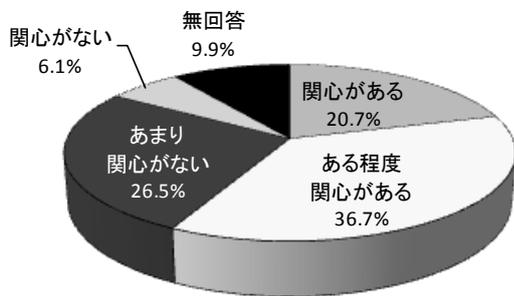
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市が5割台、国・県が2割強となっています。

関心度

◇ 「法務・情報公開」への関心の有無

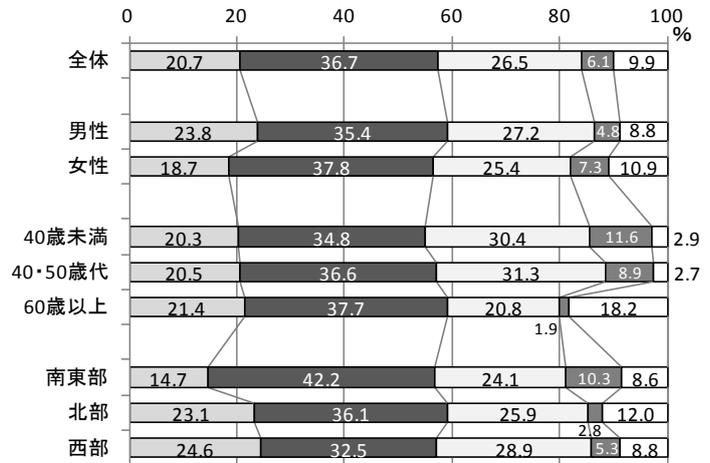
<全体>



「法務・情報公開」

53 施策中 48 位 (57.4%)

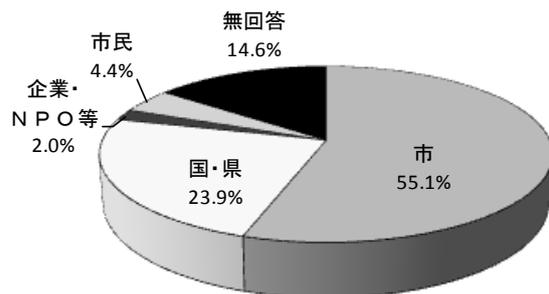
<属性別>



□関心がある ■ある程度関心がある □あまり関心がない ■関心がない □無回答

実現するための主体

◇ 「法務・情報公開」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合



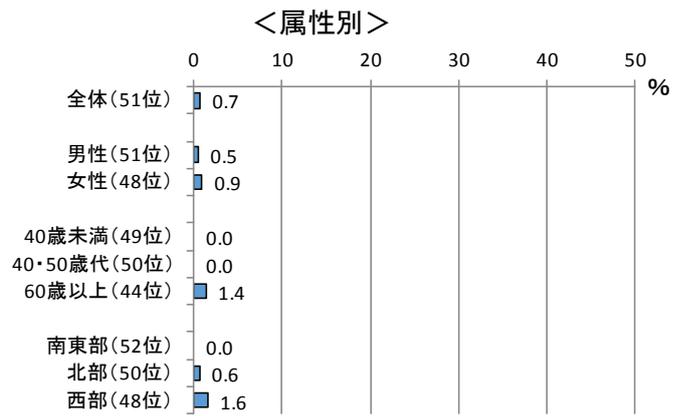
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「法務・情報公開」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「法務・情報公開」

53 施策中 51 位 (0.7%)



51. 電子自治体

◆ 目指す姿 ◆

本市では、ICT（情報通信技術）と情報機器を活用し、情報システムの最適化が図られ、市民サービスの向上や行政事務の効率化を進める一方で、情報セキュリティが厳格に守られています。

◆ 施策の方向 ◆

- 電子自治体化計画の推進
- 情報機器等の維持管理及びシステムの開発保守
- 情報セキュリティ対策の実施

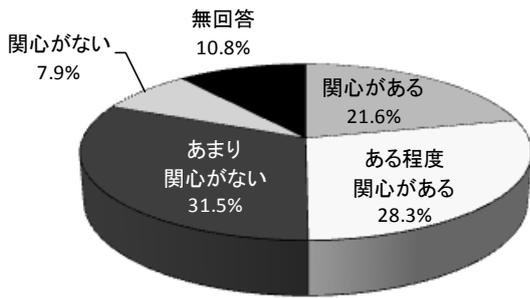
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市が5割台、国・県が2割強となっています。

関心度

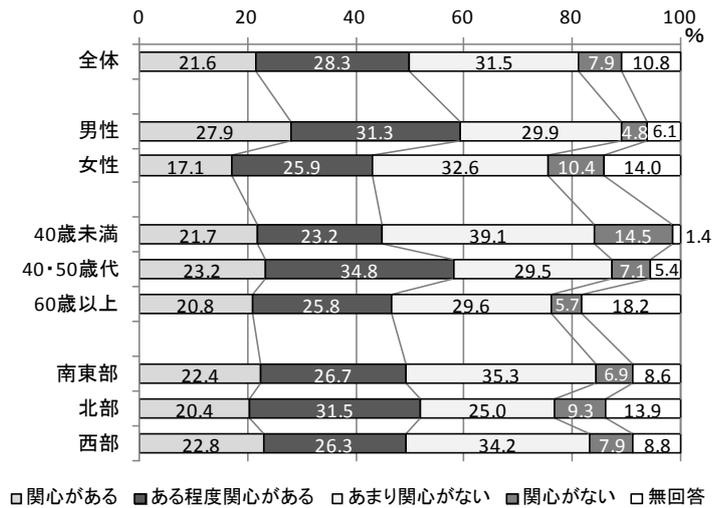
◇ 「電子自治体」への関心の有無

<全体>



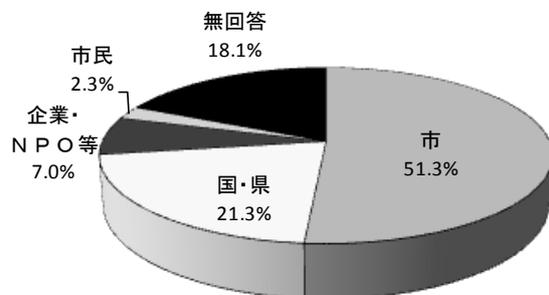
「電子自治体」53 施策中 52 位 (49.9%)

<属性別>



実現するための主体

◇ 「電子自治体」の実現において最も重要な役割を果たすべきと考えられている主体の割合

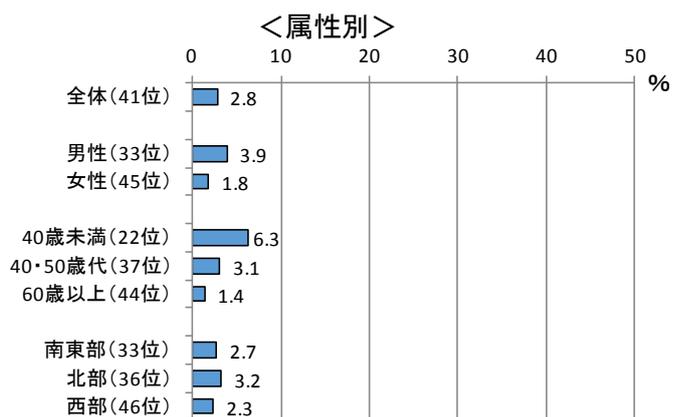


重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「電子自治体」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「電子自治体」53 施策中 41 位 (2.8%)



52. 財務・財産管理

◆ 目指す姿 ◆

市有財産を利用者の視点に立ち適切に維持管理するとともに、効率的で的確な会計処理、契約や検査を行っていることで、市民に信頼されています。

◆ 施策の方向 ◆

- 公有財産管理システムの構築 ○ 市庁舎設備等の計画的更新 ○ 公用車の適正管理
- エネルギー使用量の削減対策 ○ 適正な審査出納 ○ 契約事務

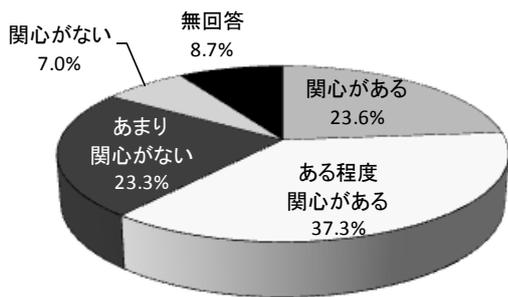
アンケート結果の概要

施策の実現に最も重要とされる主体は、市が7割近くになっています。

関心度

◇ 「財務・財産管理」 への関心の有無

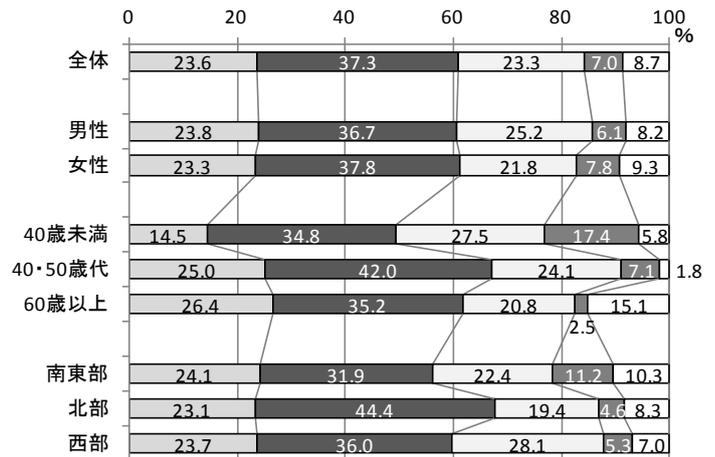
< 全体 >



「財務・財産管理」

53 施策中 40 位 (60.9%)

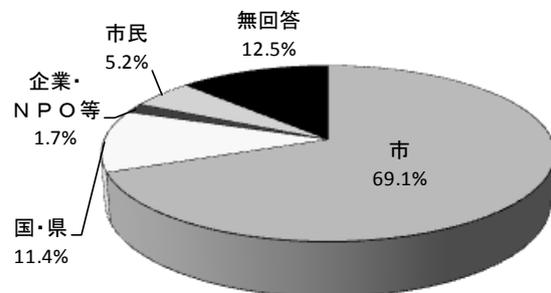
< 属性別 >



□ 関心がある ■ ある程度関心がある □ あまり関心がない ■ 関心がない □ 無回答

実現するための主体

◇ 「財務・財産管理」 の実現において 最も重要な役割を果たすべきと考えられている 主体の割合



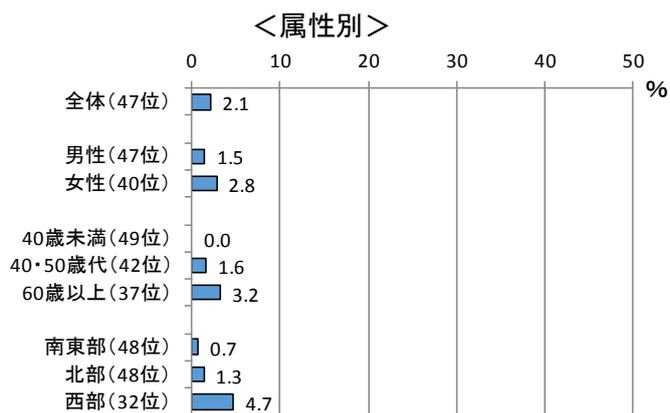
重要性

◇座間市が取り組んでいる 53 の施策の中で、
充実してほしい施策として「財務・財産管理」
を選んだ市民の割合

※53 の施策から 5 つまで選択

「財務・財産管理」

53 施策中 47 位 (2.1%)



5 アンケート調査票



市のシンボルマーク(平成3年4月1日制定)

座間の頭文字Zをモチーフに、中央のラインは市内を流れる3つの川を、だ円は太陽と豊かな自然を表したものです。

平成30年度

「まちづくりのための市民アンケート調査」報告書

平成30年9月発行

編集・発行 座間市企画財政部企画政策課事務管理係
〒252-8566

座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

TEL 046(255)1111 (代表)

FAX 046(255)3550
